

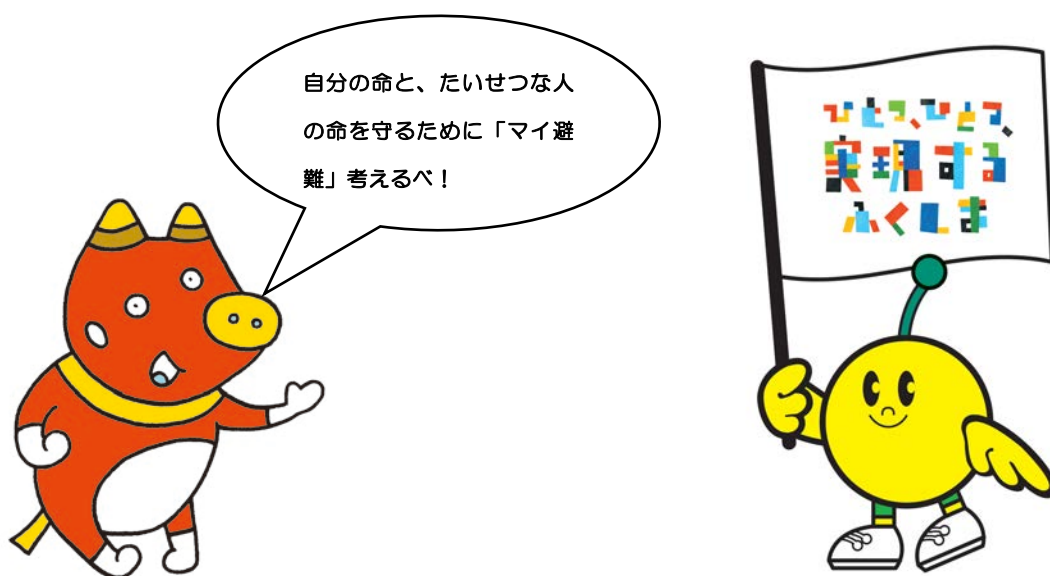
令和6年度福島県自主防災組織
リーダー研修会
実施報告書

開催日：令和6年7月20日（土曜日）

令和6年12月20日（土曜日）

会場：郡山市役所正庁

南相馬市小高区浮舟会館ホール



一般財団法人日本防火・防災協会
福 島 県

《 目 次 》

＜実施内容＞

実施概要	1
日程表	3
受講者名簿	5
アンケート用紙	9
アンケート集計結果	11
実施状況の写真	15
新聞記事	17

＜研修資料＞

- 「福祉防災について」 1、2
- 「マイ避難について」 1、2
- 「災害図上訓練（DIG）」 1、2
- 「災害に備えた要支援者支援について」 1、2

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

令和6年7月20日（土）10:00～16:00

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー
(町内会長、防火クラブ会員、防災士、社協職員) など
(最大80名程度)

4 会場

郡山市役所2階 正庁（郡山市朝日一丁目23-7）

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県
共催：郡山市
後援：総務省消防庁

6 研修内容

(1) 講話

- 「マイ避難について」（講師：福島県マイ避難推進員 川島 博充）
- 「福祉防災について」（講師：跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏）
- 「地域の要支援者への支援について」（講師：災害対策課 戸倉 毅）

(2) 演習

災害図上訓練 DIG（講師：災害対策課 馬場）

7 タイムスケジュール

別紙のとおり

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

令和6年12月21日（土）10:00～16:00

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー
(町内会長、防火クラブ会員、防災士、社協職員) など
(最大80名程度)

4 会場

南相馬市小高区浮舟文化会館 ホール（南相馬市小高区本町二丁目89-1）

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県
後援：総務省消防庁

6 研修内容

(1) 講話

- 「マイ避難について」（講師：福島県マイ避難推進員 川島 博充）
- 「福祉防災について」（講師：跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏）
- 「地域の要支援者への支援について」（講師：災害対策課 戸倉 毅）

(2) 演習

災害図上訓練 DIG（講師：災害対策課 馬場）

7 タイムスケジュール

別紙のとおり

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会
日 程 表

開催日：令和6年7月20日（土） 会場：郡山市役所2階 正庁

時 間	内 容
9:45	○ 受 付
10:00	○ 開 会 ○ 主催者あいさつ ・福島県災害対策課主任主査
10:05	○ 講 話① 「福祉防災について」 ・講 師 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏
11:35	5分間休憩
11:45	○ 講 話② 「地域の要支援者への支援について」 ・講 師 福島県災害対策課 戸倉 毅
12:00	昼 食
13:00	○ 講 話③ 「マイ避難について」 ・講 師 福島県マイ避難推進員 川島 博充
14:00	5分間休憩
14:05	○ 演習 「災害図上訓練DIG」 ・講 師 福島県災害対策課 馬場 大輔
15:35	○ 火山防災シンポジウム、福島県地域防災サポーター、地区防災計画策定支援及び、自主防災組織補助金について
15:55	○ 閉 会、アンケート記入

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会
日 程 表

開催日：令和6年12月21日（土） 会場：南相馬市小高区 浮舟文化会館 ホール

時 間	内 容
9:45	○ 受 付
10:00	○ 開 会 ○ 主催者あいさつ ・福島県災害対策課主任主査
10:05	○ 講 話① 「福祉防災について」 ・講 師 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏
11:35	5分間休憩
11:45	○ 講 話② 「地域の要支援者への支援について」 ・講 師 福島県災害対策課 戸倉 毅
12:00	昼 食
13:00	○ 講 話③ 「マイ避難について」 ・講 師 福島県マイ避難推進員 川島 博充
14:00	○ 演習 「災害図上訓練DIG」 ・講 師 福島県災害対策課 馬場 大輔
15:30	○ 福島県地域防災サポーター、地区防災計画策定支援及び、自主防災組織補助金について
15:55	○ 閉 会、アンケート記入

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

郡山市会場

受講者106人中アンケート回答98人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	87	88.8%
やや役に立った	11	11.2%
ふつう	0	0.0%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	98	100.0%

Q2 研修スケジュールについて

ちょうどよい	74	80.4%
もう少し長いほうがよい	6	6.5%
もう少し短いほうがよい	11	12.0%
その他	1	1.1%
・長い		
無回答	0	0.0%
計	92	100.0%

Q3 今後の活かし方について(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・地域で活かしていきたい。
- ・今以上の組織にしていきたい。
- ・DIGを地域で実施したい
- ・要支援者対策や分散避難方法を確立したい。
- ・地域で防災を教えながら行動していきたい。
- ・自治組織や町内会で防災研修を提案していきたい。
- ・防災組織作りに役立てたい。
- ・地区で共有したい。等

Q4 研修科目について

(1) 参考になった講義・演習について(複数可)

講話「福祉防災について」	81	82.7%
講話「災害に備えた地域の『要支援者』への支援について」	53	54.1%
講話「マイ避難について」	57	58.2%
演習「災害図上訓練DIG」	65	66.3%

(2) 今後研修に取り入れて欲しい科目・実技(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・ 自主防災組織の設立の仕方
- ・ HUG
- ・ AED講習
- ・ 地区防災計画策定の実践
- ・ 個別避難計画作成の実践

Q5 「特に印象に残った内容」「お気づきの点」「その他ご意見」などについて(自由記述)

※回答を一部抜粋して記載

- ・ 図上訓練で焦りが出て難しかった。日常の訓練の必要性を感じた
- ・ 他地区の方と話し合いながらできたのが良かった。
- ・ DIGが良かった。
- ・ マイ避難を広めたいと思った。
- ・ DIGが難しい、もっと説明が欲しかった。
- ・ 近所で研修会を実施してほしい。
- ・ 全部良かった。
- ・ 人と人がつながるのが大切
- ・ 各種訓練要領が欲しい。
- ・ 要支援者名簿を自治会任せにしてるのは問題だ。

令和6年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

南相馬市会場

受講者61人中アンケート回答52人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	47	90.4%
やや役に立った	4	7.7%
ふつう	1	1.9%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	52	100.0%

Q2 研修スケジュールについて

ちょうどよい	42	80.8%
もう少し長いほうがよい	1	1.9%
もう少し短いほうがよい	6	11.5%
その他	3	5.8%
・時期の見直し・休憩時間を10分程度多くしてほしい・何回かに分けて開催		
無回答	0	0.0%
計	52	100.0%

Q3 今後の活かし方について(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・行政や地区の防災会と連携したい
- ・地域・隣近所とのつながりを大事にしていきたい
- ・地区防災計画に役立てたい
- ・要支援者の情報共有
- ・行政区長と民生委員との連携の確認
- ・自主防災組織の形成
- ・マイ避難推進を図る
- ・地区、学校で共有したい 等

Q4 研修科目について

(1) 参考になった講義・演習について(複数可)

講話「福祉防災について」	47	90.4%
講話「災害に備えた地域の『要支援者』への支援について」	39	75.0%
講話「マイ避難について」	36	69.2%
演習「災害図上訓練DIG」	35	67.3%

(2) 今後研修に取り入れて欲しい科目・実技(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・ 気象台等の職員が講師となり福島県内の最近の気候についての講座
- ・ 原子力災害・防災
- ・ 語り部の講話
- ・ 科学的知見に基づく防災、避難について
- ・ トイレの設置

Q5 「特に印象に残った内容」「お気づきの点」「その他ご意見」などについて(自由記述)

※回答を一部抜粋して記載

- ・ 福祉防災について、支援者の支援度が低いという現状、地域の人とのつながりと地域外の人とのつながりを上手に連携させるステークホルダーが重要
- ・ 福祉防災について、今後町での訓練や研修に取り入れていきたいと思った
- ・ 価値向上型の防災へ、災害時にも役立つコミュニティづくりが印象に残った
- ・ ご近所力の向上
- ・ 地震・津波・原発による災害の経験、体験を今後も継続して若い人に教えていきたい
- ・ 若い人が防災士として努力している姿が素晴らしい
- ・ 地域での熱量の違いを感じた
- ・ DIGがスムーズにできなかった、日々の訓練の大切さを学んだ





経営ビジョンを示す池本会長
 永年勤続社員や社内貢献者らを表彰した。「伝え方が9割」の著者でウゴカス(東京都)の佐々木圭一代表による講演会も開いた。

贈る 民報教育 福祉事業

目録を手渡した。民報
 目指す進路をそれぞれ語り「奨学生として恥じないよう文武両道で頑張りたい」などと抱負を述べた。選考委員も励まし言葉を贈った。

43回目、県内の高校から推薦を受けた13人が応募した。奨学生は大学などの履修年限の間、1人当たり年20万円を受ける。奨学生は今回の6人を含め401人、支給総額は2億3280万円となる。

奨学生は次の通り。(カッコ内は出身高と進学先)
 仲宗根琉希(相馬農、酪農学園大農食環境学群循環農学類) 渡辺葵(福島成蹊、宇都宮大データサイエンス経営学部) 山口ありす(白大東北、駿河台大法学部) 佐藤隆人(福島明成、酪農学園大農食環境学群循環農学類) 大森智輝(平工、神奈川工科大情報学部) 野崎

真由美(学法石川、公立岩瀬病院 付属高等看護学院)

県内

県自主防災組織リーダー研修会 20日、郡山市役所で開いた。県内各地から町内会長や防炎士ら約110人が参加した。跡見学園女子大の鍵屋一教授や県災害対策課の職員が講演し、福祉防災の在り方や要支援者への対応、マイ避難の取り組みに理解を深めた。大雨災害を想定した図上訓練を行い、被害状況の悪化を受けてリアルタイムの対応を協議した。写真。



きょうの知事日程

▽Retthinkフォーラム 福島 午後2時25分、福島市。

福島空港から「ありのまま」の富士山を見に行き！

FDA チャーターフライト

特別限定企画

絶景富士山ぐるっと道

2024

9/29日・10/5土



おひとり様 29,800円(税込) ~ 59,800円(税込)

※燃料サーチャージ(2,000円/席)は含まれます。
 ※大人・小人同額となります。座席を使用されない幼児(0~2才)は2,000円となります。

旅行代金(おひとり様) ※大人・小人同料金です。

4名参加	29,800円	3名参加	39,800円
2名参加	29,800円	1名参加	59,800円

グループ毎に必ず窓側を1席以上準備します。

- 1名様でのご参加の場合 → 2席ご準備
- 3名様でのご参加の場合 → 4席ご準備

※航空座席は、中央通路で「2席+2席」です。

[最少催行人員] 70名 [添乗員] 同行しません [食事] なし

[利用予定航空会社] フジドリームエアラインズ

※当日の天候などにより飛行ルートが変更になる場合がございます。※視界不良などにより富士山をご覧になれない場合もあります。※天候により行程変更もしくは中止する場合がございますので予めご了承ください。※座席については当日のご回答となります。指定およびご希望は承れません。翼の上の席となる場合もございます。予めご了承ください。※チャーター便のため、時間が前後する可能性があります。お時間に関しては最終日程表が確定となります。※チャーター便のため、手荷物預かりができませんので、機内手荷物以上のお荷物は、空港のコインロッカー等にお預け願います。

[スケジュール]

集合 福島空港(福島空港集合・解散)
 各日出発予定の1時間前(予定)
 フジドリームエアラインズ特別チャーター便にて約2時間の富士山周遊フライトをお楽しみください。

9/29日

- 福島空港 10:05 出発予定
- 福島空港 12:05 到着予定

10/5土

- 福島空港 8:50 出発予定
- 福島空港 10:50 到着予定

参加者全員に
 素敵なフレ
 FDA オリジナルLE
 キーホルダー
 (色は選べません)
 &
 搭乗証明書付

SUNCH
 旅だけ
 TRAVE

大俵引き

れ、下拵姿の引き子たち約110人が2組に分かれて両側から高さ2・5メートル、長さ4メートル、重さ5トンの大俵をロープで引き合う。3回実施し、東側が勝つとコマの直が上がり、西側が勝つと

加者400人を目指す。福を授かる福豆俵は400個まく(例年は365個)。町内の子どもたちによる東西対抗小俵引きや約130店が出店する初市(露店開設)なども予定される。古川庄平町長と町観光物産協会の内海淳一理事長は25日、福島民友新聞社の取材に「坂下の『元日』は1



の「#今どき#乗りどき#磐越東線」が輝いた。磐越東線と沿線地域の認知度の向上、鉄道を利用した観光客の増加などを目的に募集し、272件

20日、Jヴィレッジで開かれており、出場チームが熱戦を繰り広げている=写真。ジュニアユース世代の競技力の向上などを目的に開催。本県のJヴィレッジSC、SHOSHI FC、会津サントスFCのほか近県から計8チームが出場し、日頃の練習成果を発揮した。

勿来の「なっくる」営業終了

いわき市勿来町のカフェ「交流スペース勿来(なっくる)」が、26日をもって現在の場所での営業を終える。運営するNPO法人勿来まちづくりサポートセンターの理事長で同店オーナーの館敬さんは「たくさんの方々のおかげでここまでやってこれた」と感謝を口にする。

なっくるは2019年10月、地域の交流促進などを目的に、勿来県立自然公園内の旧国民宿舎「勿来の関荘」を活用し開業。発酵食品をふんだんに取り入れた健康・美容志向のランチや、宿泊設備のある施設が話題を集め、地域の憩いの場として親しまれてきた。また同店スタッフで、発酵食品ソムリエ

の資格を持つ栗林麻美さんによる発酵調味料作りのワークショップなども好評を博した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、老朽化した施設の維持・補修も限界に達し、営業終了を決断。今後は移転を含め新たな形での再出発を模索しており、館さんは「来年の春頃を目安に、地元であるこの勿来の地で必ず再開を果たしたい」と決意を語った。

26日に閉店する「なっくる」オーナーの館さん(中央)とスタッフ



信夫山ユズ 発信

東稜高生が加工品販売



販売会 発信す

民友

12/26

10面

販売会は福島、伊達の両市のハシドラッグ計3店で開かれ、2年生計31人が特設ブースで11月に収穫したユズの焼き菓子やマーマレード、フルーツソースなど8点を販売した。生徒は利用者で紹介パネルで、ユズ

住民、避難所や浸水区域確認

県は21日、南相馬市小高区の浮舟文化会館で自主防災組織リーダー研修会を開き、参加者が防災への意識を新たにしました。自主防災組織で指導的立場にある行政区長や防災士ら約60人が参加。参加者は小高区の地図を使い、水害や地震発生時の避難所や浸水区域を確認したほか、取るべき行動を考えた=写真。跡見学園女子大教授の鍵屋一さんによる福祉防災につい



ての講話なども行われた。

消費者トラブル注意 電子看板

県は25日までに、消費者トラブルに注意を促す動画を放映するデジタルサイネージ(電子看板)を福島市の県自治会館に設置した一写真。消費行動が盛んになる年末年始を前に、注意を呼びかけようと設けた。悪質な商法や消費者ホットライン「188」などについて知らせる3~10分程度の動画約20本を視聴できる。



参加費

無料

開催情報のご確認、お申し込みは「適正取引支援サイト」から <https://tekitorisupport.go.jp>



開催 間近!

日時 2025年1月23日(木) 17:00~18:40 開催場所 いわき産業創造館企画展示ホールB いわき市平字田町120 ラト6階

内容 価格交渉に関する講習会の実施

情報 全国で活躍する現役の中小企業診断士等が講師として指導します。

主催 福島県中小企業家同友会いわき支部

福祉防災について

令和6年度 福島県自主防災組織 リーダー研修会

2024年7月20日（土）

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事

内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長

鍵屋 一

祝！男鹿のナマハゲら来訪神 ユネスコ 無形文化遺産！ 2018年11月29日



ナマハゲは自主防災リーダー！

- 平時は五穀豊穰、家内安全を祈る来訪神
- 災害時は、**要配慮者情報（ナマハゲ台帳）**に基づいて避難支援



- 避難場所（神社）を日頃から使う
- 避難場所までの参道を整備
- 確実な避難方法（同行避難）

個別避難計画は現代のナマハゲ台帳

- 平時はコミュニティと医療・福祉関係者による支援
- 災害時は、個別避難計画（ナマハゲ台帳）に基づいて避難支援



- 避難場所（福祉施設、公民館等）を決定
- 避難場所までの安全な避難路を確認
- 確実な避難方法（車や徒歩で同行避難）

個別避難計画とは？

- **いつ**⇒高年齢者**等**避難
(警戒レベル3)
- **どこに**⇒避難場所、知人、
ホテル・旅館、福祉避難所
- **誰と**⇒主に家族、近所の人
- **どうやって**⇒車、徒歩

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、**個別避難計画の作成**について**市町村の努力義務**という形で規定された。
⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**について、**地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度**で取り組んでいただきたい。



1月4日 金沢市

震災がつなぐ全国ネットワーク 松山文紀氏提供



七尾市 道の駅 立入禁止のトイレ

2024年1月24日 鍵屋撮影



輪島市 朝市通りの火災現場

2024年1月24日 鍵屋撮影

令和6年 能登半島地震

2024年1月1日 16時10分頃 M7.6
地震、津波による死者222名（1月31日）

能登半島地震 亡くなった人の死因（暫定値）1月30日時点

死因	輪島市	珠洲市	その他	計
圧死	32	40	20	92
窒息・呼吸不全	20	25	4	49
低体温症・凍死	15	15	2	32
外傷性ショックなど	12	13	3	28
焼死	3	0	0	3
その他	4	2	0	6
不詳	12	0	0	12
計	98	95	29	222

出典：NHK 2024年1月31日16時13分「令和6年能登半島地震」

避難所からの搬送者数

	1月	2月	3月	4月	合計
輪島市	288	18	11	7	324
珠洲市	119	4	3	2	128
穴水町	71	9	2	2	84
能登町	66	6	1	1	74
七尾市	79	15	0	0	94
中能登町	3	2	0	0	5
志賀町	44	7	1	4	56
羽咋市	6	0	0	0	6
合計	676	61	18	16	771

※各地元消防への取材に基づく

避難所からの搬送者数

出典：高知新聞 2024年5月15日現在

なぜ、被害が厳しいのか

- 地震の揺れの強さ、耐震性の弱さ、道路ネットワークの寸断
- ライフラインの停止、超高齢社会、寒冷期、医療・福祉の脆弱性



- 直接死（住宅の下敷き）が多い
- 過酷な避難生活（トイレ、薬、ベッド、食事）
- 栄養不足、体力低下により感染症、循環器系疾患がまん延→関連死が危惧される

能登半島地震関連死の状況例

・80代女性 震災によるショックやストレスに加え、断水の入所施設から市外避難所への避難による生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じた結果、多発性脳梗塞を原因とした肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。

能登半島地震関連死の状況例

・80代男性

軽度の認知症でもあり、避難中に転倒後、自力で動けない状態で発見。救急搬送できず家族が病院へ搬送したが、低体温症のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。

能登半島地震関連死の状況例

・60代男性 避難所への避難による生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じ、専門的な医療を受けることができない状況で基礎疾患が悪化した結果、肝不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。

災害被害の方程式

自然の外力

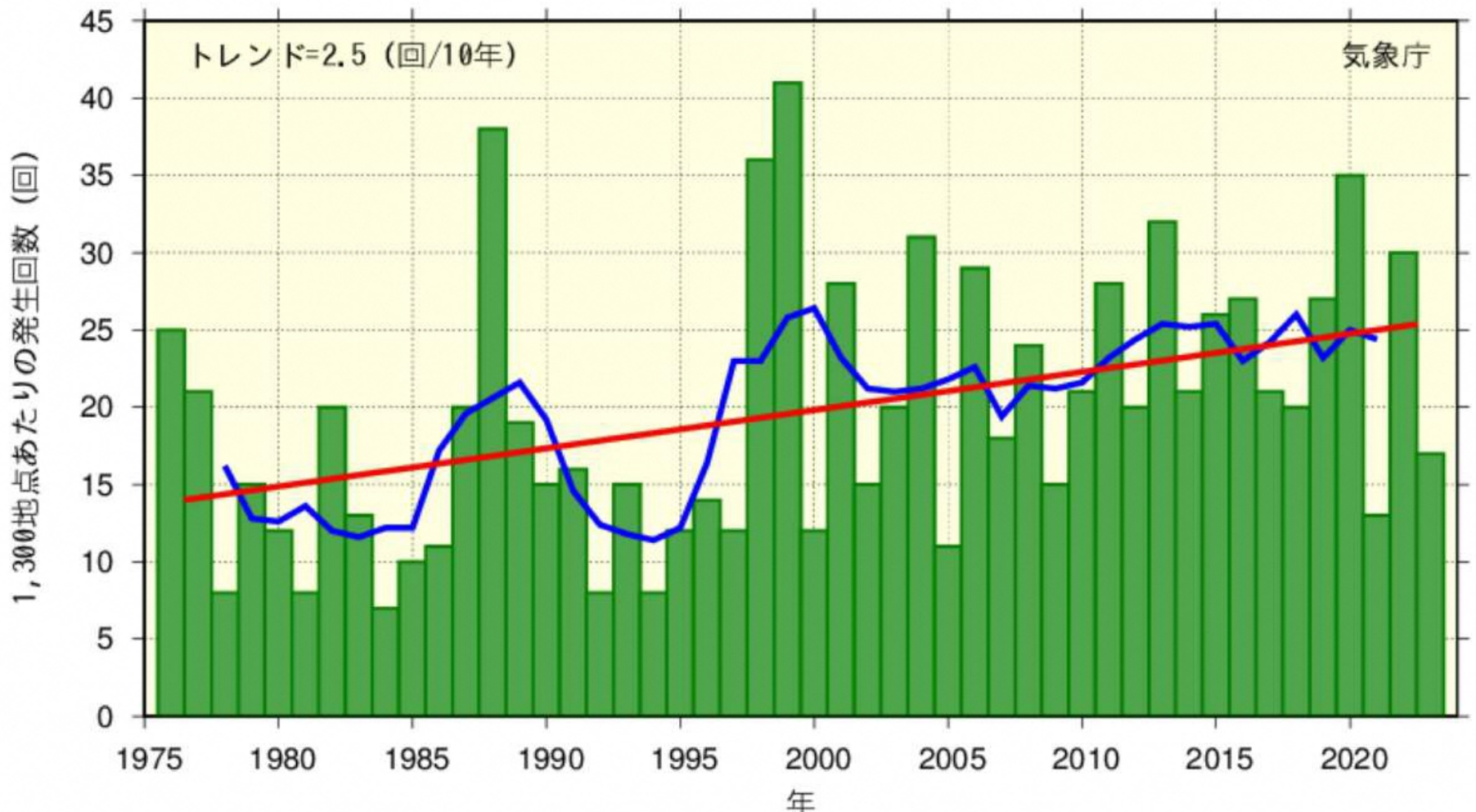
×人口(被害を受ける範囲)

×社会の脆弱性

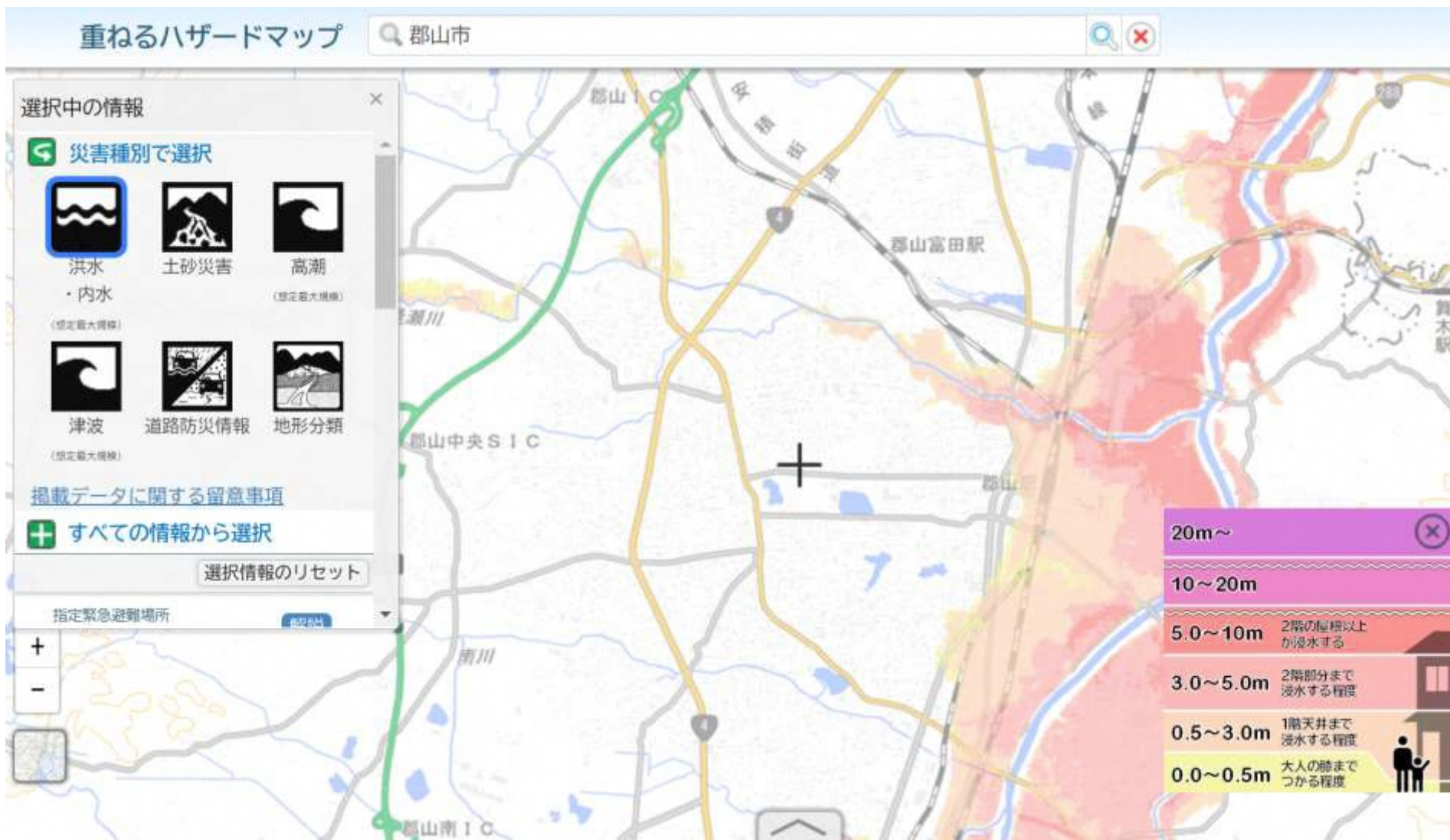
降水量は増えている

1時間降水量80mm以上、日降水量300mm以上など強い雨は、1980年頃と比較して、おおむね2倍程度に頻度が増加（気象庁HP）

〔全国アメダス〕 1時間降水量80mm以上の年間発生回数



重ねるハザードマップで災害危険度を調べましょう！（郡山市）



浸水深の目安

河川のはん濫による浸水発生が想定される区域の水深を4段階で表示しています。

浸水想定深



職場だけでなく、自宅、利用者宅、通勤経路も確認！

屋外に避難

**念のため
2Fに避難**

逃げ遅れゼロへ!

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの?

警戒レベル 4 で全員避難!!

[警戒レベル]で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
[警戒レベル]を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から[警戒レベル③、④]が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



[警戒レベル③] (市町村が発令) は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!

例

警戒
レベル
4

■緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。

■こちらは、〇〇市です。

■〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を

警戒レベルととるべき行動を端的に伝えます

避難勧告の発生を伝えます

○なぜ、人は逃げ遅れるのか？

**○なぜ、行政、福祉、
企業等の災害対策の
優先順位は低いのか？**

正常化の偏見

「自分は大丈夫！」

…自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex)逃げない非常ベル

…初着のリスク情報の無視

大地震発生直後、あなたは家族と家にいました。何をしますか？

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

災害被害の方程式

自然の外力×人口(暴露量)

×社会の脆弱性

命を守る防災のコツ

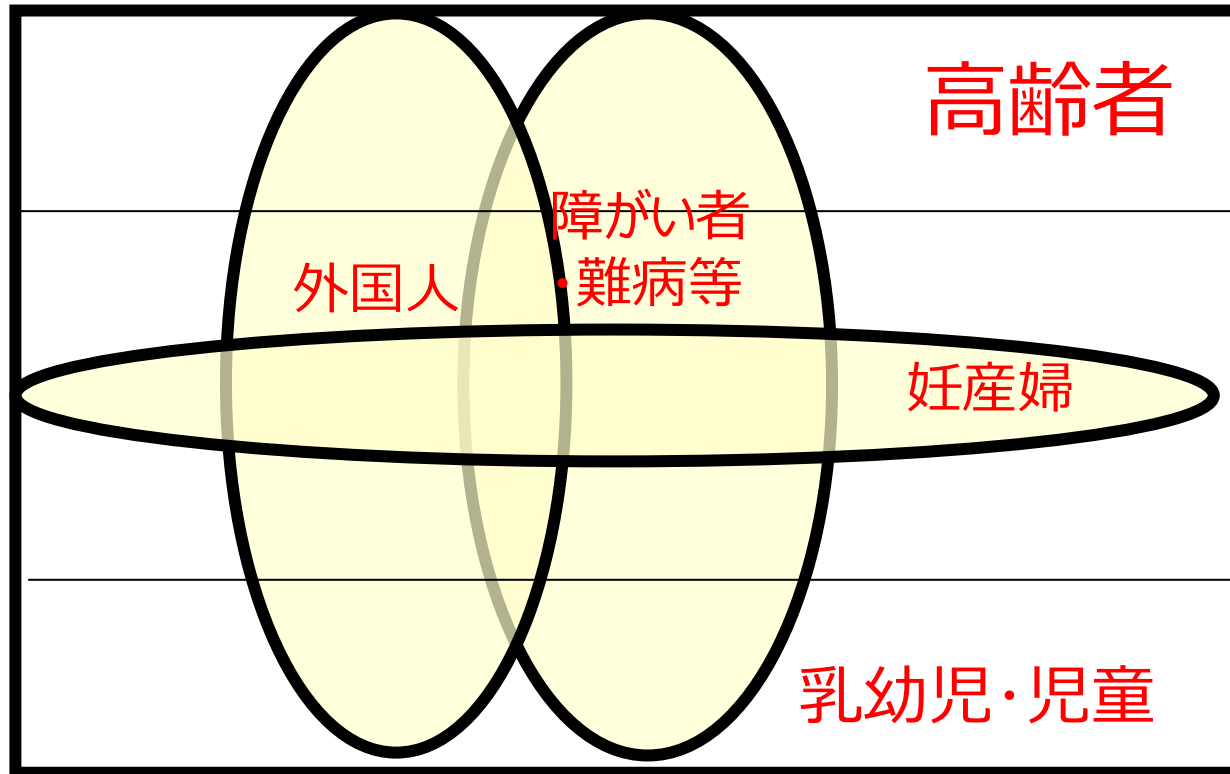
⇒早く逃げる

自分だけでは逃げら

れない人は？

※地震は家を強くし、家具を倒さない

災害時要配慮者とは？



上記の中で自分だけでは避難できない方
= 避難行動要支援者

今年は関東大震災101年

1923年の平均寿命

男41歳、女43歳

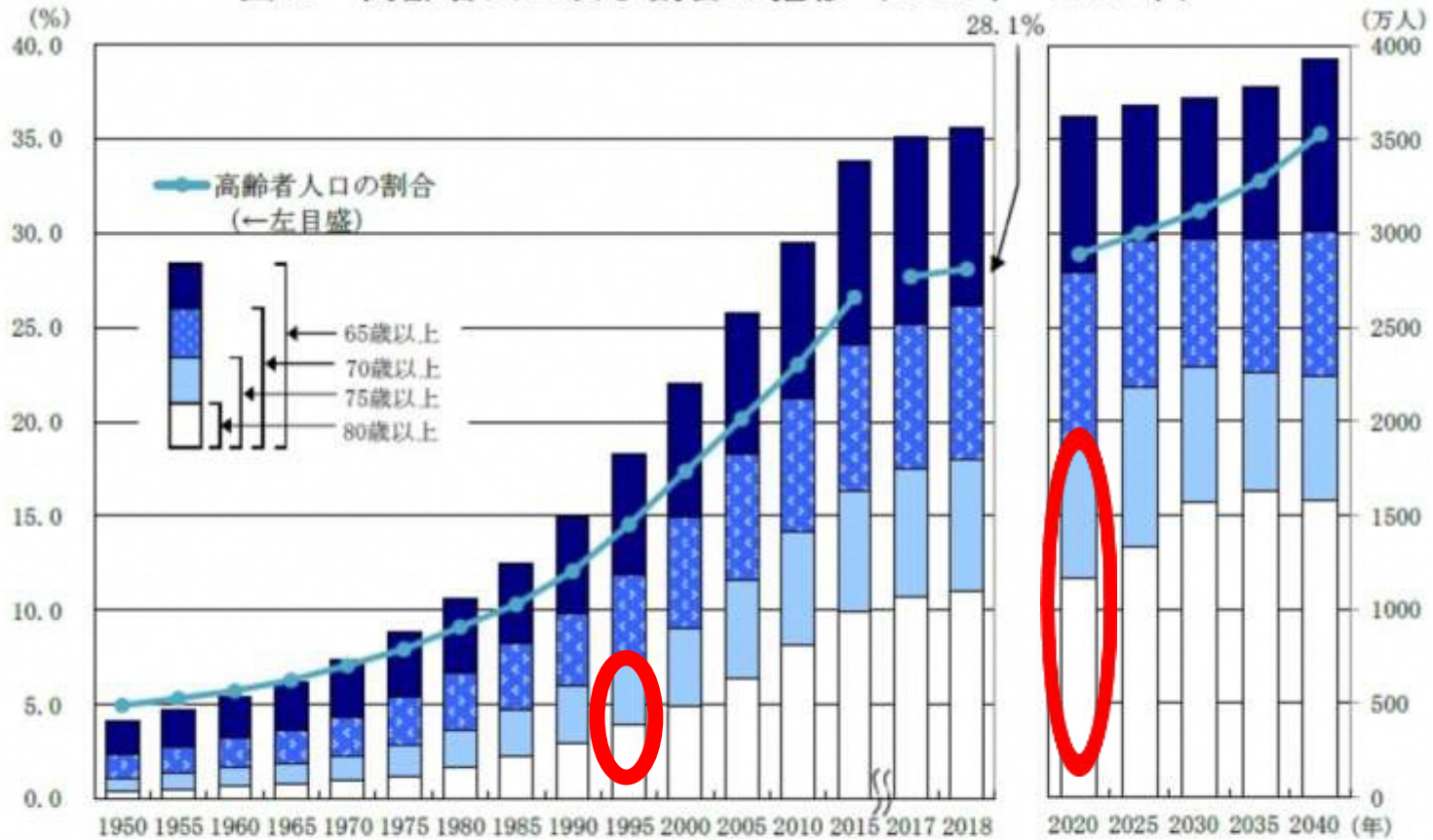


2023年の平均寿命

男81歳、女87歳

進み続ける高齢化（出典：統計局HP） 75歳以上は25年で2.6倍！

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



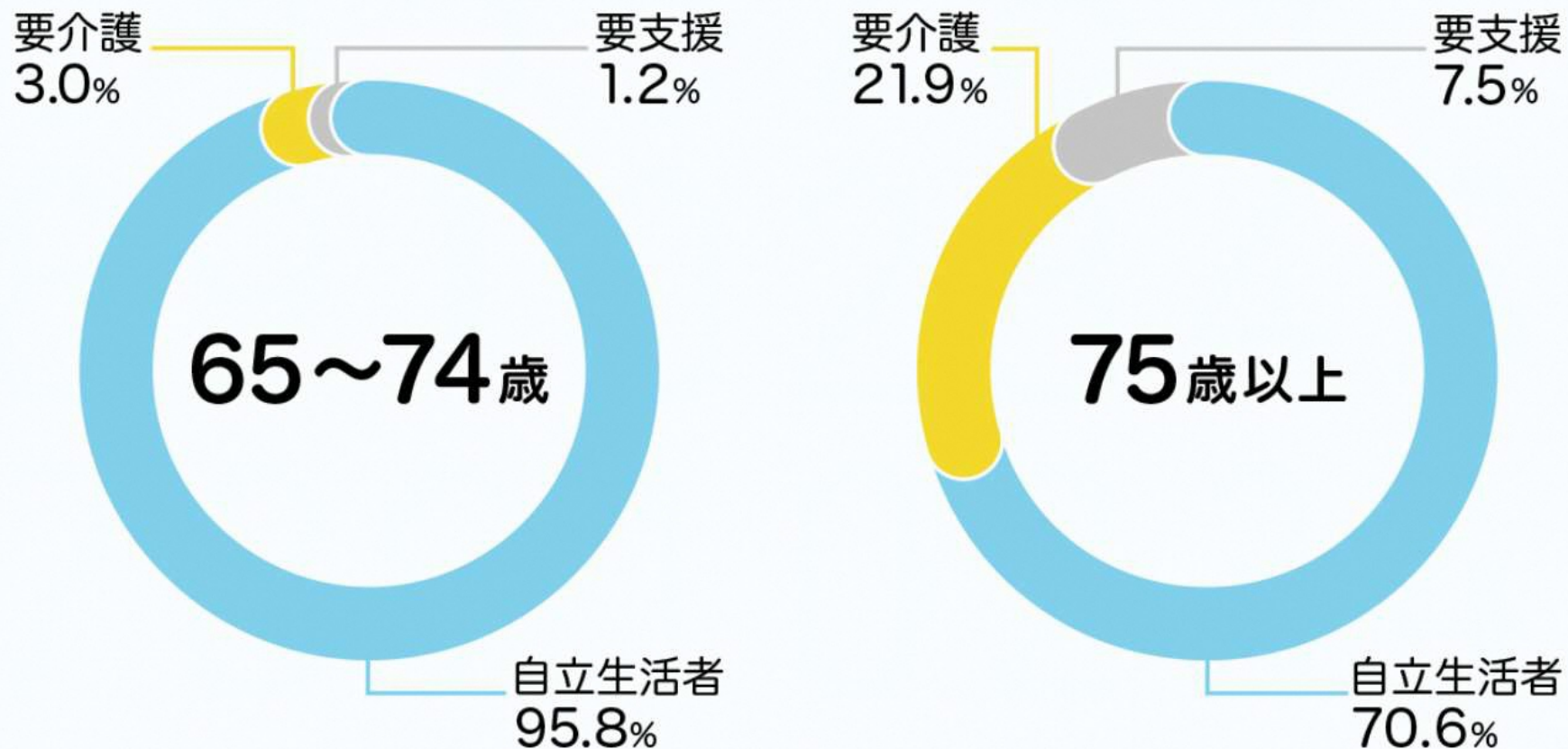
資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2017年及び2018年は「人口推計」

2020年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計
（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2017年及び2018年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

注2）国勢調査による人口及び割合は、年齢不詳を除外した結果

※1：要介護認定者の実態



※厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」/2009（平成21）年度

要介護者の日常生活動作 (抜粋)

出典：日常生活圏域ニーズ調査モデル事業・結果報告書 平成22年（2010）10月厚生労働省老健局

- 自分で入浴できない⇒72.1%
- 50m以上歩けない ⇒69.2%
- **階段を昇り降りできない⇒80.2%**
- 大便の失敗がある ⇒59.9%
- 小便の失敗がある ⇒69.8%

激増する高齢単身世帯！

出典：令和元年高齢者白書

25年で3.2倍！



資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）2018（平成30年推計）」による世帯数

(注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単身世帯」又は「一般世帯（1人）」のことを指す。

(注2) 棒グラフ上の（ ）内は65歳以上の一人暮らしの者の男女計

(注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

障がい者は25年で約62.5%増

(下図は12年で43%増) 出典：厚生労働省HP

図表 1-1-2 障害者数の推移



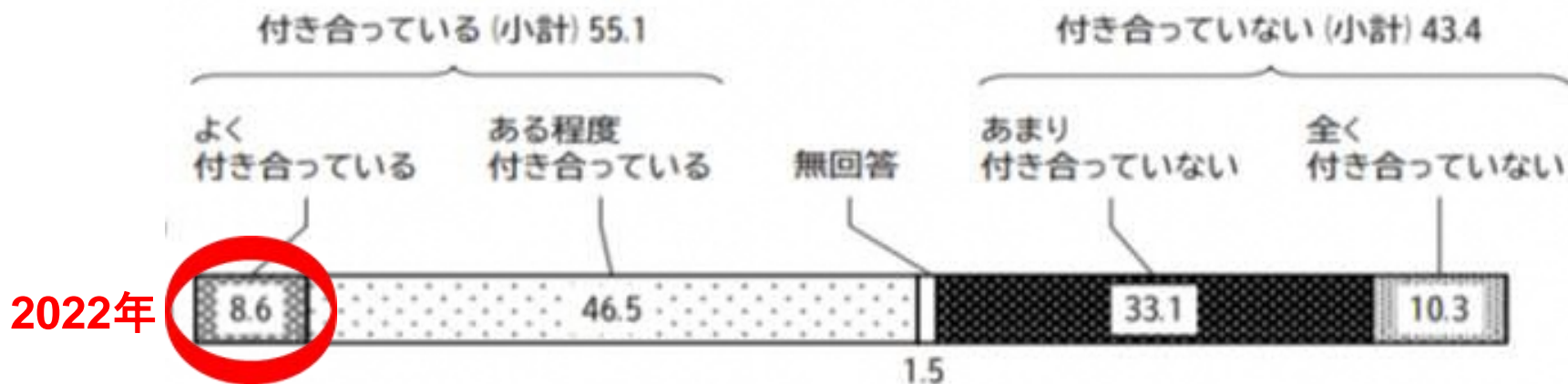
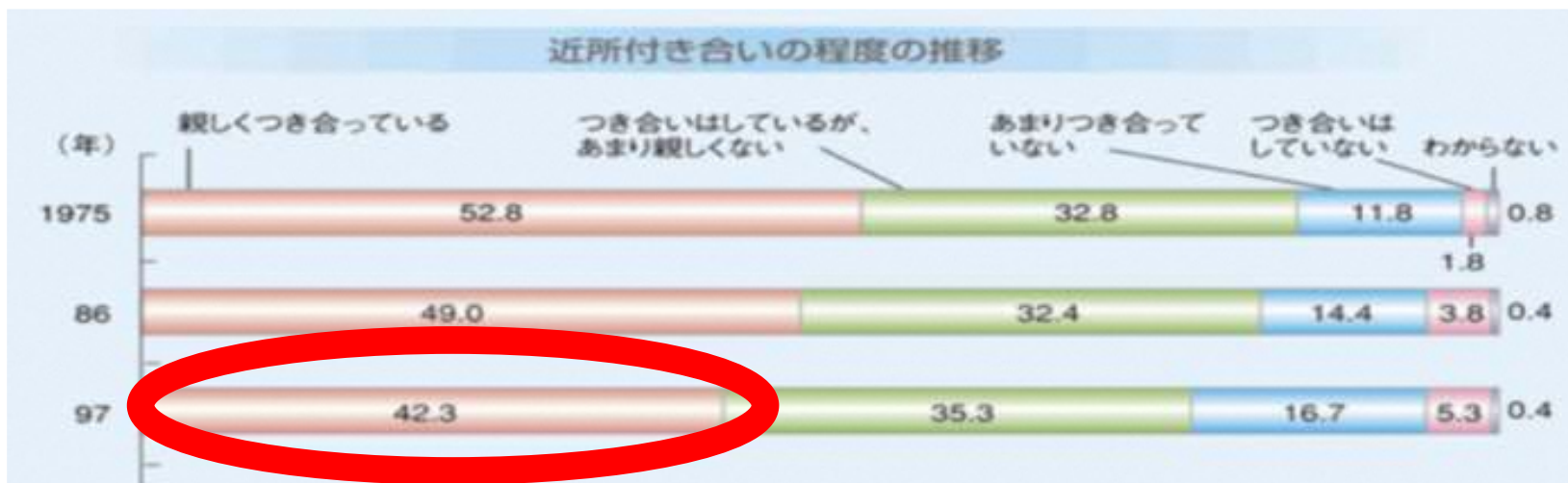
特定医療費（指定難病） 受給者証所持者数の変化 25年間で3.24倍！

1995年3月	291,856人
2020年3月	946,110人

出典：難病情報センターHP

近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書、令和4年12月社会意識に関する世論調査

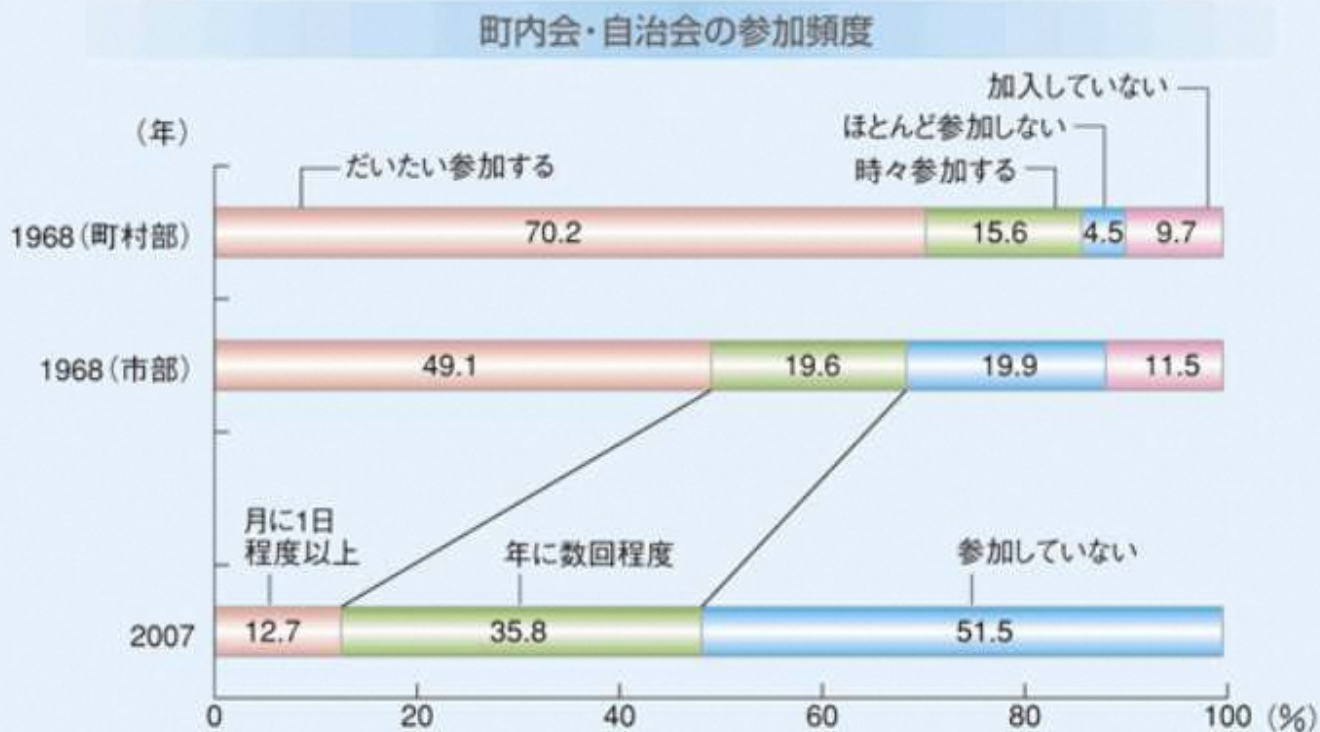


町内会自治会活動への参加も低下！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-22図

町内会・自治会への参加頻度は少なくなっている



あと少しの支援があれば・・・

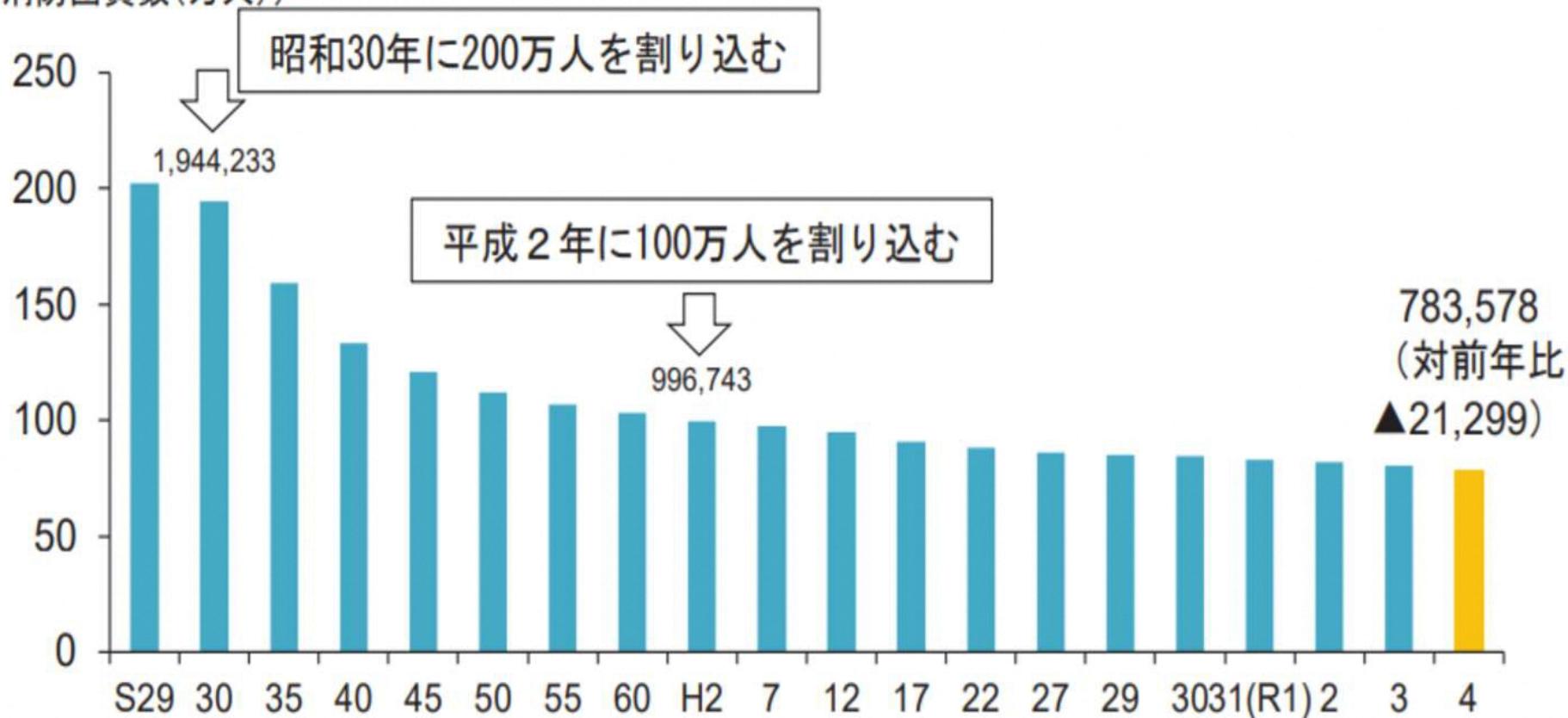
- 在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- 自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- 多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

減り続ける消防団員数！

出典：総務省消防庁HP

1 消防団員数の推移

(消防団員数(万人))

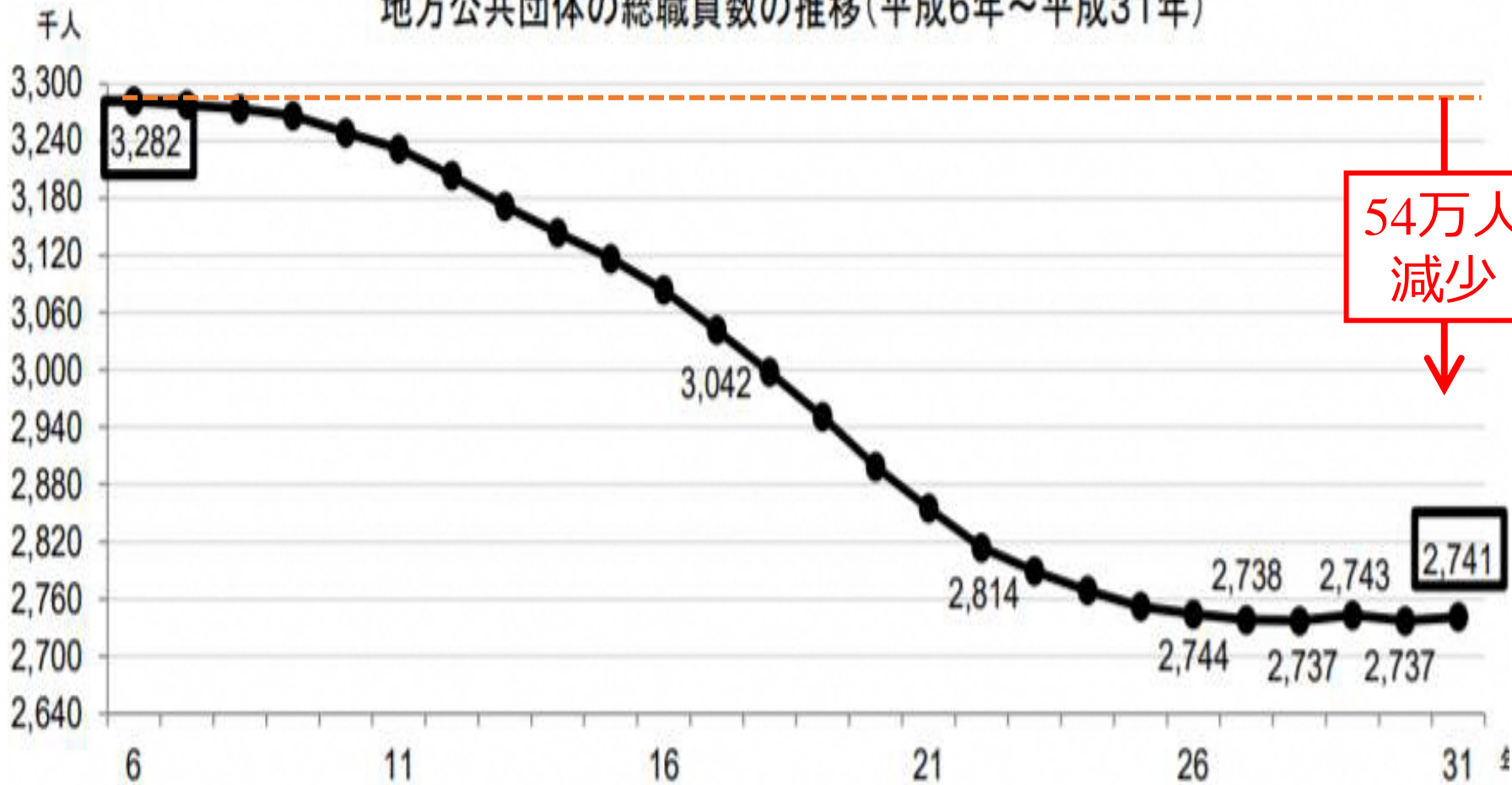


公助にも限界が...

自治体職員は25年で16.5%減！

出典：総務省HP

地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成31年)



近年の豪雨災害における高齢者等の被害

●平成30年7月豪雨

愛媛県、岡山県、広島県の死者数のうち、60歳以上の死者数の割合→約70%(131人/199人)

(うち市区町村別死者数最大の倉敷市真備町における70歳以上の割合→約80%(45人/51人))

●令和元年台風第19号

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→約65%(55人/84人)

●令和2年7月豪雨

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→約79%(63人/80人)

(うち熊本県約85%(55人/65人))

(高齢者の死者数/全体死者数)

出典：「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について
(最終とりまとめ)」2020年12月24日

2011年3月11日

東日本大震災

死者：19,702名

計：22,222名（以上）

行方不明：2,520名

（警察庁：2024.3）

避難者数：29,231名

（復興庁2024.3.1）

震災関連死：3,802名（復興庁2024.3.1）



釜石市鵜住居地区

東京大学大学院
片田敏孝教授提供



鵜住居地区



両石地区

誰が逃げろと伝えたか？

第1位 101人 家族・同居者

第2位 97人 近所、友人

第3位 74人 福祉関係者

第4位 30人 警察・消防(団を含む)

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、315人、複数回答あり) 2013年

誰が逃げるのを支援したか？

第1位	85人	家族・同居者
第2位	60人	近所、友人
第3位	53人	福祉関係者
第4位	11人	消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」（東日本大震災時、197人、複数回答あり） 2013年

⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

東日本大震災 死者の教訓

○高齢者が約 6 割、障がい者死亡率は 2 倍

⇒**地区防災計画や個別避難計画で、近所や福祉とつながりが必要！**

○自治体職員 2 8 8 名(地方公務員災害補償基金2019年2月) 消防団員
2 5 4 名(H24 .12.消防庁) **民生委員 5 6 名**
高齢福祉施設職員 1 7 3 名(厚労省保健局：H24年6月)

⇒**地区防災計画や個別避難計画で
支援者の危機管理能力向上**

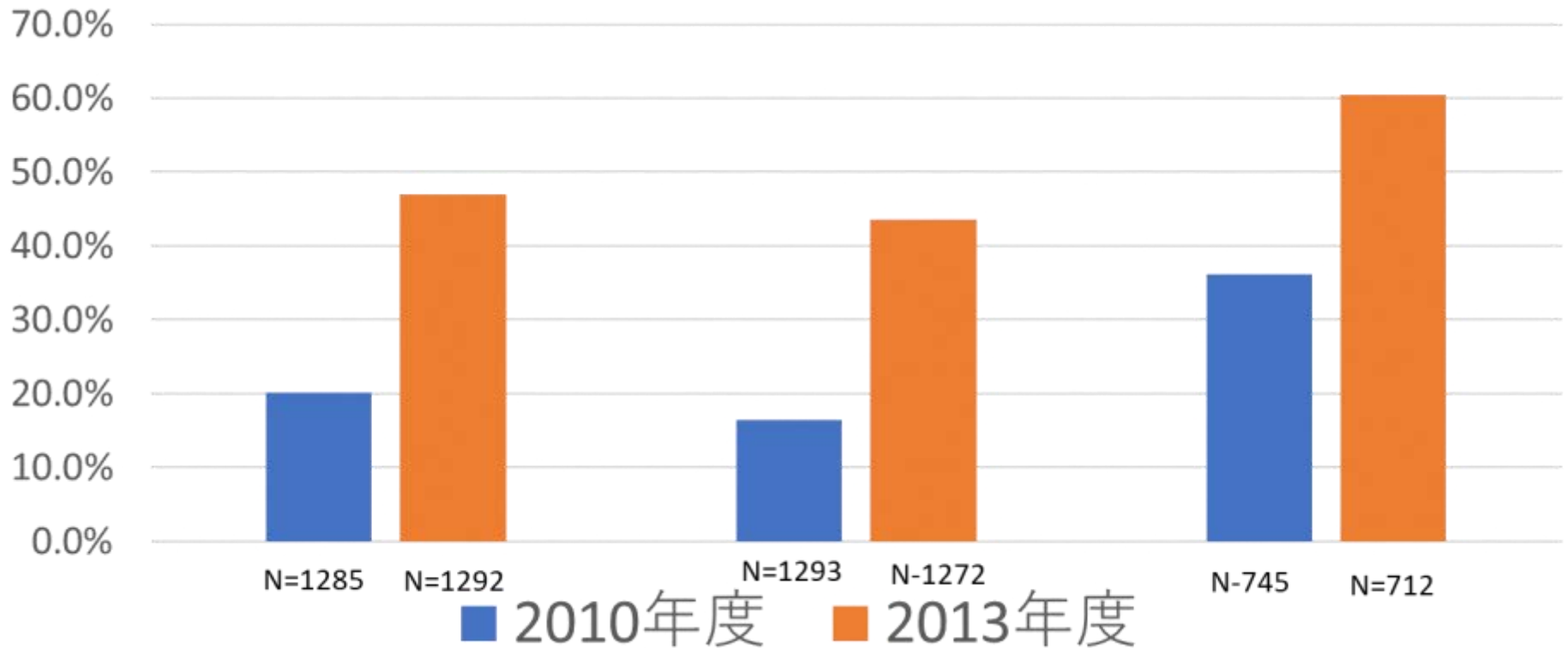
○震災関連死3,775名

・8 9 %が6 6 歳以上、移動や避難所で衰弱

⇒**福祉施設BCP、福祉避難所が必要！**

うつ状態の要介護者が増える

福島県における要介護認定者増の要因分析による必要な支援のあり方に関する調査研究事業報告書
平成27年3月 国立大学法人 福島大学



毎日の生活
に充実感が
ない

楽しんでやれて
いたことが楽し
めなくなった

以前は楽にで
きていたことが
おっくうに感じら
れる

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、**個別避難計画の作成**について**市町村の努力義務**という形で規定された。
⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**について、**地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度**で取り組んでいただきたい。

地域住民による個別避難計画

1. 洪水、土砂災害等のハザードを理解し、自分と家族の身を守る
2. 安全を確保したら、「事前に決めた高齢者、障がい者等（要支援者）」の安否確認

※この仕組みを作ることが最重要！

⇒避難誘導は、消防団や自治会と協力

3. 自治会長等に報告する。
4. 高齢者や障がい者等も、避難支援者等に避難の有無を伝える。

わが家は大丈夫 富士宮市



優先度の高い人とは

①ハザードマップの**レッドゾーン**

②本人の**要支援度が高い**

③**支援者の支援度が低い**

→支援者のいない人が**厳しい**。
だが行政の書類では**わからない**

→福祉専門職や地域住民等の
情報が不可欠

避難の支援者がいない

- ・高齢化などで支援者がいない
- ・支援者には負担感が強い

1. 支援者の役割を限定する

⇒避難連絡だけでよい

2. 要支援者1名に複数の支援者が連絡する

3. 避難誘導の支援者は組織でよい

⇒自主防災会、町内会・自治会、消防団、福祉事業者（仮置きでよい）

【訓練】百考は一行に如かず 「漢書」趙充国伝

震災前に津波避難訓練に参加経験が「ある者」では「ない者」に比べて、避難したオッズ比が 1.99 倍高く、津波浸水域内にいた場合はさらにオッズ比が**3.46 倍高い**。

一方で、地震避難訓練、地震や津波に関する防災の講義への参加、地震・津波に関する話を聞いた経験は避難行動に統計学的に有意な影響を与えていない。

(中谷直樹「津波避難訓練が避難行動に与える効果」埼玉県立大学地域産学連携センター2019年度WEB講座)

95歳の夫と86歳の妻の避難

2022年10月29日 酒田市総合防災訓練



ひなんさんぽ 岡崎市



【実施までの流れ】

個別避難計画を作成



要支援者の体調などを確認



天気予報を確認



日程調整



ひなんさんぽ実施

ひなんさんぽ 岡崎市

【実施時の注意点】

- 日程を決めても、要支援者の体調などにより、開催できないことがあります。そのような場合は無理せず、改めて日程を調整し直しましょう。
- 要支援者の状況や、避難施設までの距離によっては「おさんぽ」ではなく、「ドライブ」とすることも、選択肢のひとつです。



訓練が終わったら、振り返り

訓練結果を**当事者、保護者、**
地域住民・民生委員と医療や
福祉関係者、自治体職員が
振り返りをして、**個別避難計画**
の作成へ！

※美味しい和菓子も(^_-)-☆

⇒当事者、地域、福祉がつながる

福祉、防災、コミュニティの連携で
「強み」を生かし「弱み」を補完する
避難支援体制⇒日常も災害時も
支え合える「地域共生社会」



個別避難計画とは？

- **いつ**⇒高年齢者**等**避難
(警戒レベル3)
- **どこに**⇒避難場所、親族・知人、ホテル・旅館、福祉避難所
- **誰と**⇒主に家族、近所の人
- **どうやって**⇒車、徒歩

※地区防災計画の内容を高年齢者、障がい者等に向けて個別・具体的に決める

個別避難計画の効果

7

○計画そのものより、計画を作るプロセスで**つながり**を作ることが助かる確率を上げる！

⇒良い地域社会づくりに**つながる**

○なお、紙の計画があると、忘れにくい、更新しやすい、共有しやすい効果がある。

具体的な成果をどう考える？

○個別避難計画は、災害時に助かる確率を上げる計画

→防災の完全な計画作成は不可能。確率を上げ続けるしかない

→課題はあってよい。完成させずに、空欄が残って良い

→それが、訓練、見直しにつながり、地域のつながりを高める

個別避難計画の本当の狙い

- 個別避難計画は、外見上は支援者が要支援者を助ける計画
 - しかし、恩恵として支援するのではない
 - 平時も災害時も支え合える社会 = 「地域共生社会」を作る手段
- ⇒ 要支援者も支援者も自治体職員も、「地域共生社会」を一緒に作る仲間である！

タイムラインを作る、活用する機関は改めて留意してほしいこと 2023/10/19松尾一郎

○様々なタイムラインがある中で、**本当に使われるタイムラインは、自ら関わって、関係者が集まって策定したもの**だけである。

○だから人が変わる度に訓練や日々の当事者による「ふりかえり」が**重要**なのである。

○よく作成過程を飛ばして、**テンプレートを使って作ることに急ぐ事もある**。それが顔合わせの回数を減らす事が出来るので簡単であるし、年度予算で動く組織が陥りやすい例である。

しかし**多くは使われないタイムラインで終わってしまう**。

○この約10年の間 百にも上る市区町村タイムラインや様々なタイムラインを取り組んで見えてきたことである。

○だから**防災は、当事者参加型のボトムアップ防災が重要**なのである。

○**自ら作れば、使う**のである。それが多くの人々を救ったタイムラインが実証している。

災害関連死の状況

出典：NHK他 鍵屋調べ

災害発生日時	災害名	直接死者数	関連死者数	行方不明	合計	関連死割合
1995年1月17日	阪神・淡路大震災（兵庫県内）	5,483	921	3	6,407	14.3%
2004年10月23日	新潟県中越地震	16	52	0	68	76.5%
2011年3月11日	東日本大震災	15,900	3,784	2,523	22,207	17.0%
2016年4月14日	熊本地震	50	223	0	273	81.6%
2018年7月6日～	西日本豪雨災害	222	81	8	311	26.0%
2019年10月12日～	東日本台風災害	84	29	3	116	25.0%

2016年4月14日、16日熊本地震 最大震度 7

益城町建物被害 全半壊6,259棟、一部損壊4,325棟、無被害156棟

死者:273名 (災害関連死:223名) (熊本県.2023.4.13)

最大避難者 : 183,882名



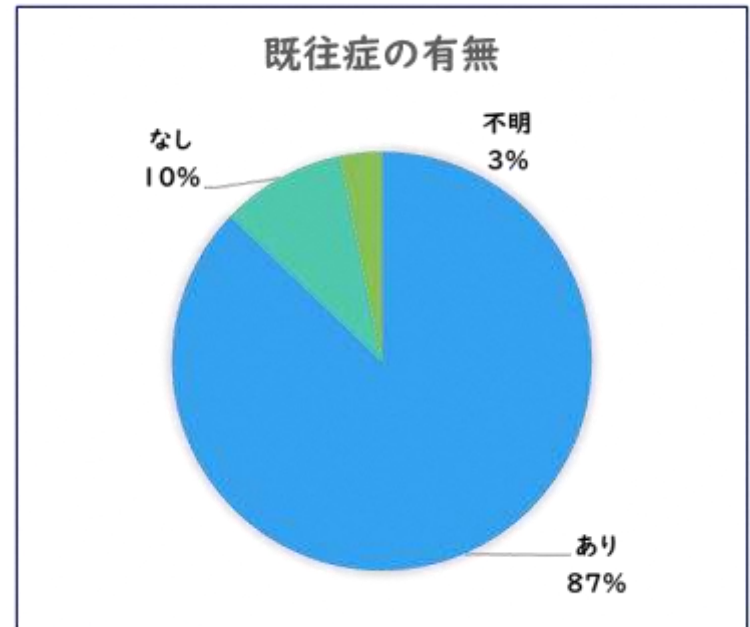
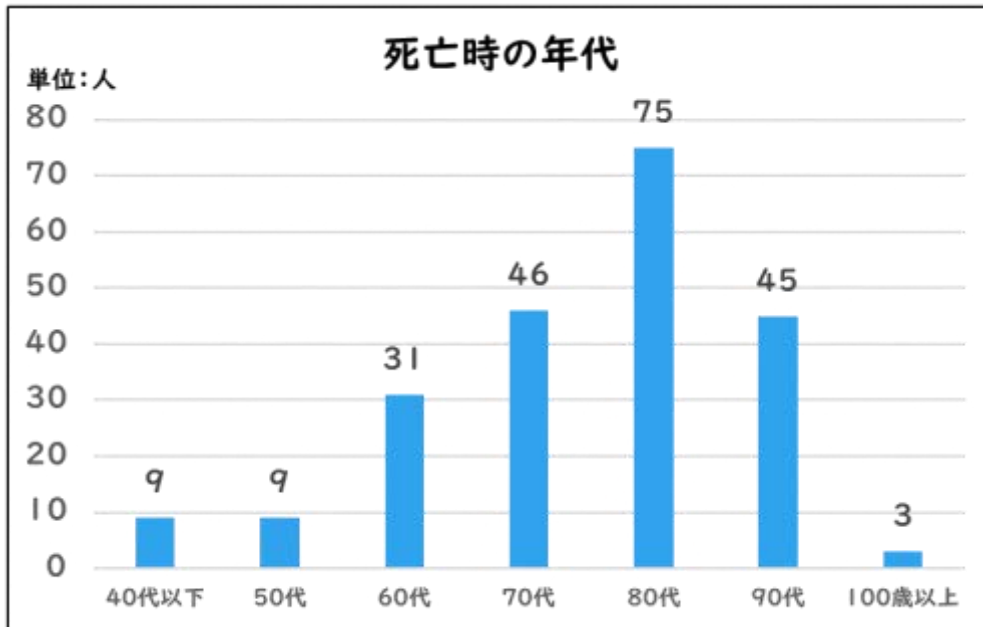
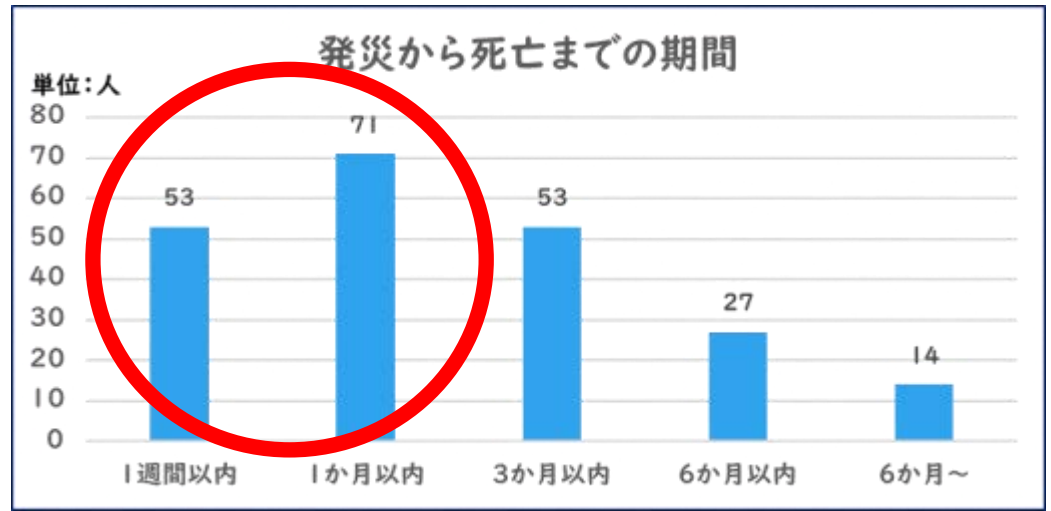
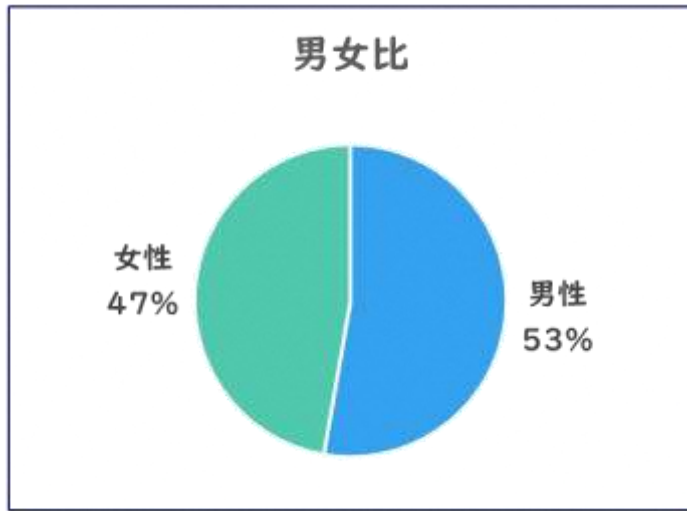
熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

出典：熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表

生活環境	人数	割合
発災時にいた場所及びその周辺	12	5.5%
避難所等への移動中	0	0.0%
避難所滞在中	10	4.6%
仮設住宅滞在中	1	0.5%
民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中	0	0.0%
親戚や知人の家に滞在中	8	3.7%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】	81	37.2%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】	27	12.4%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】	17	7.8%
入院又は入所後 1 か月以上経過し亡くなった場合【病院】	58	26.6%
入院又は入所後 1 か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】	3	1.4%
その他・不明	1	0.5%
合計	218	

熊本地震での震災関連死内訳 令和3年3月末時点 218件 (更新)

出典：熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表



在宅の被災者支援が重要！

在宅の高齢者・障がい者等の早急な見守り、保健・医療・福祉・生活支援が重要

(**自治会**等の見守り支援、在宅介護支援のBCP、**社協**の支え合いセンター、保健医療福祉調整本部など)

※避難行動要支援者名簿を活用！

⇒体調が悪ければ
すぐに病院、福祉避難所へ！

避難所外避難要配慮者の見守り

出典：避難所外避難者の支援体制に関する調査研究
2022年 3月 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

市区町村の避難所外避難要配慮者の見守り (n=560,複数回答有)



福祉避難所の問題

- 福祉避難所は**二次避難所**なので、災害発生して数日後に開設するものである

⇒**一般の避難所に行けない人（認知症高齢者、知的・精神障がい児者、乳幼児等）はどうすれば？**

- 避難所において、具合が悪くなった人を移送するものである

⇒**そもそも避難所で具合を悪くしてはいけない。移送は多大な調整、労力、時間を要するのがわからない？**

高齢者を支える福祉避難スペース



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供

(新) 福祉避難所ガイドライン (2021年5月)

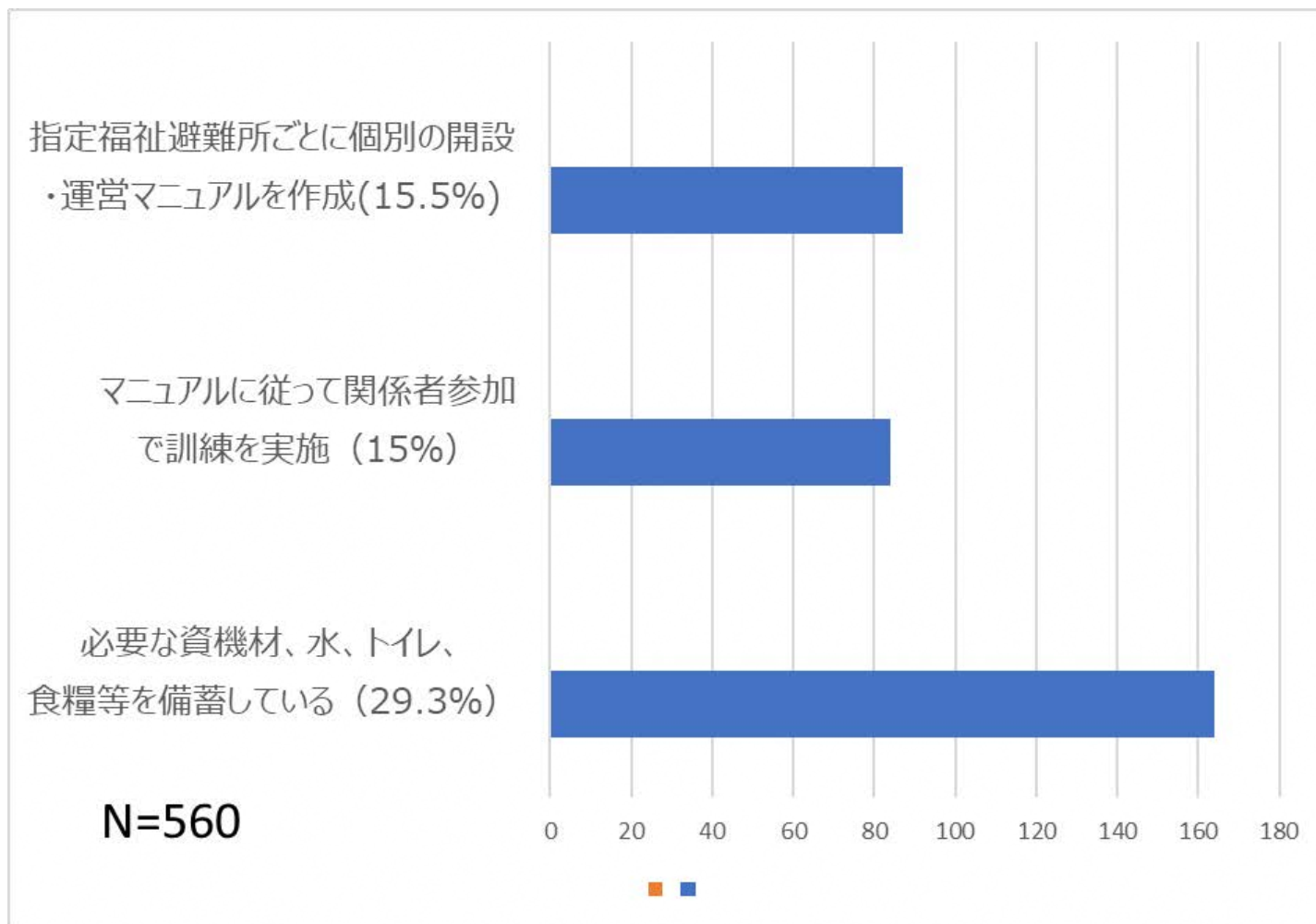
市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合（災害時）で、高齢者等避難が発令された場合などには、指定福祉避難所を開設する。

⇒一次避難所として直接避難できる！

また、市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。

指定福祉避難所のマニュアル・訓練・備蓄状況

出典：「避難所外避難者の支援体制に関する調査研究」
2022年 3月 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会



福祉避難所には、電気、トイレ、マニュアル・訓練が必要！

こども福祉避難所開設BOX・運営マニュアル

短期間でこども福祉避難所を開設・運営するノウハウが詰まっています

責任者がいなくても避難所の開設・運営をスムーズに行うための「指示書」「コミュニケーションボード」などが含まれています。平常時にはこのマニュアルを使用して訓練と振り返り研修を行います。



- ・こども福祉避難所開設指示書
- ・運営マニュアル（自治体ごとの研修で作成）
- ・キットの使用法説明書・指示書
- ・避難所設置シート
- ・ホワイトボードシート
- ・模造紙・筆記具…など

バリアフリーで移動式トイレ

避難所のトイレ問題を改善する自動ラップ式トイレ

仮設トイレの設置を待たずに即稼働できるポータブルトイレ。自動ラップ式なので避難所を清潔に保つことが可能です。



専用蓋 liner を入れる
専用蓋 liner を投入し、蓋 liner を固定させる。蓋 liner の水分も吸収されるために蓋 liner を使用します。



スイッチのボタンを押す
排便後、スイッチのボタンを押して、きれいな水を自動的に供給します。排水ノズルは自動で洗浄されます。



ラップ済み蓋を取り出す
約90秒後、終了音（「カッパッパッ」）が鳴ると切り離し完了です。蓋 liner を引き出し、ゴミ箱に投入して処分してください。



外部給電器

福祉避難所で重要となる冷暖房機の稼働、精密機器に適した国内最大パワーの給電器

発災時の避難所でブラックアウトに備えるための給電器。精密機器に適した、交流波形の乱れが少ない「きれいな電気」を供給します。他の地域から電気自動車やPHEVでかけつけ、給電による支援を行うことも可能です。

HONDA Power Exporter 9000

主要諸元

定格出力：9.0kVA
出力電圧：AC100・200V（単相三線式）
周波数：50、60Hz（切替式）
電力変換方式：インバーター方式

重量：50.8kg
全長×全幅×全高：755×387×438mm
出力端子：100V×6口/200V×1口
適用規格：電動自動車用充放電システム
ガイドライン V2L DC版



感染症対策を含む防災グッズ

感染症対策を含む様々な防災グッズも併せて整備します

設備・物資は各学校の機能性に合わせ、分散して備蓄を行います。

各特別支援学校の在校生だけでなく、卒業した障がい児者も、慣れ親しんだ支援学校が避難所となることで、早めの避難行動の促進も期待できます。



企業版ふるさと納税とは？

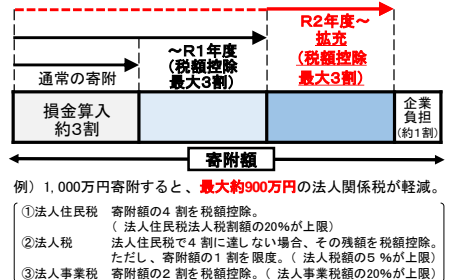
⇒自治体の地方創生事業に寄付すれば法人税等の9割を税額控除

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄付について法人関係税を税額控除

制度のポイント

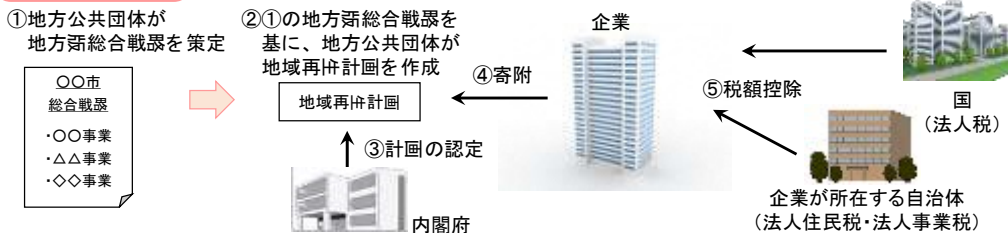
- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
 - 寄附企業への経済的な見返りは禁止
 - 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要
- ※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
 ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



- ・ 企業版ふるさと納税とは企業が自治体に寄付をすると税負担が軽減される制度のこと。
- ・ 寄附額10万円から可能
- ・ 自社の本社が所在する自治体への寄付や、財政力の高い自治体(地方交付税の不交付自治体など)への寄付が本制度の対象外

※控除金額については、各社でご確認ください。

活用の流れ



<2019年度において対象外となる地方公共団体>
 ◎東京都 ◎茨城県守谷市 ◎埼玉県戸田市、和光市、八潮市、三芳町 ◎千葉県市川市、浦安市、印西市 ◎東京都23特別区、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、国分寺市、国立市、多摩市、瑞穂町 ◎神奈川県川崎市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、海老名市、寒川町、中井町、愛川町

※内閣府地方創生推進事務局「企業版ふるさと納税活用事例集」より引用

◆ 地域再創設計画の認定を受けた地方公共団体の数: 45道府県655市町村(令和2年度第1回認定後)

出典: 内閣府 地方創生推進事務局ホームページ

企業版ふるさと納税を活用 した福祉避難所整備

秋田県男鹿市、島根県浜田市
茨城県常総市

- 市の福祉避難所へ給電器、ラップポイントイレ等の物資を購入
- 男鹿市、常総市は、福祉避難所開設訓練を実施

福祉避難所の充実に向けて (一社) 福祉防災コミュニティ協会

- 2022年度、消防防災科学センターの委託により7県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施
- 実践的な福祉避難所開設・運営マニュアルをHPで無償公開
- 企業版ふるさと納税で福祉避難所訓練を数自治体で実施

地域と福祉との連携

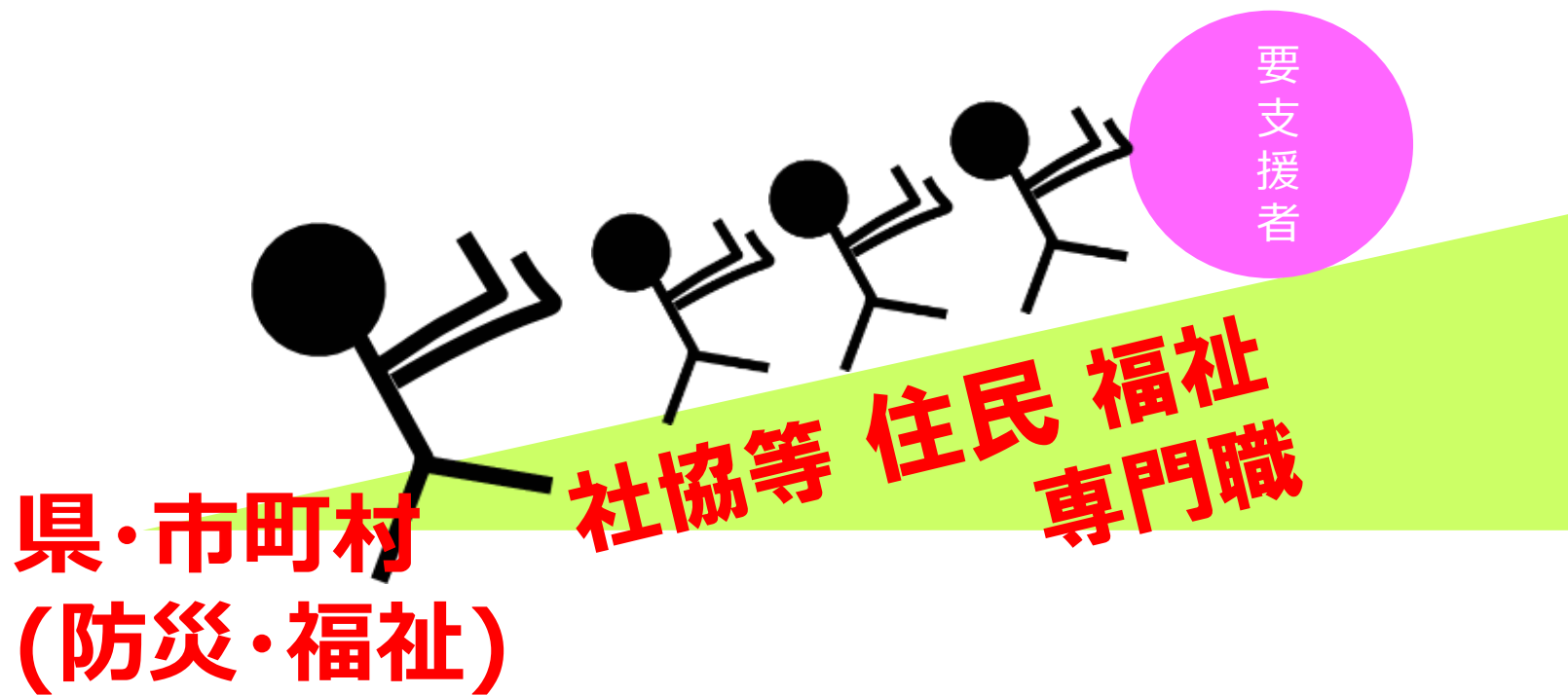
- 地域は近いが専門性が弱い、夜は大勢いるが昼はみんな外に出ている……
- 福祉は、すぐには駆けつけられない、昼は人手があるが、夜は少ない……

⇒一緒にやればいい！夜間の防災訓練を一緒に実施して課題と対策を話し合おう！

→水害避難時に傘をもってかけつけてくれた秋田の住民

→福祉施設の夜間訓練で避難誘導する長野の住民

福祉、防災、地域の連携で 「強み」を生かし「弱み」を補完 する避難支援体制



○災害用トイレを1回分でも備蓄している人は22.2%

○4日分以上備蓄している人は**4%**

○備蓄しない理由は「特にない」が45%

孤独なボウリング

R・パットナム（米国政治学会元会長）

ボウリングする人の数は減っていないが、みんなでする人は減り、一人が増えた！

◎ アメリカの組織社会への参加率

以前のアメリカは市民の「つながり」が強かった。そのつながりが幸福な暮らしと民主主義を支えてきた。

1960年頃は30% ⇒ 2000年頃は10%

⇒治安が悪化し、格差が大きくなり、社会の効率が悪くなった

決め手は「ご近所力」①

◎ 社会関係資本 Social Capital

人や地域のつながり = 信頼の絆 = ご近所力

社会関係資本は、人々を賢く、健康で、安全で、豊かにし、公正で安定した民主主義を可能とする。

※「ご近所力」は付加的価値ではない

※「ご近所力」こそが、安心安全の源泉

決め手は「ご近所力」②

- ◎ご近所が要支援者の主体性、生きがいを引き出す
- 津波が来たら死んでやると言っていたが、近所に声かけられて悪い足を引きづって訓練に参加する黒潮町の高齢者
- 福祉避難所訓練に来てと頼まれて、仲間を数十人連れて参加した永平寺町の車いすユーザー（NPO代表）
- 個別避難計画訓練に参加を頼まれて、杖をついて避難した岡山市の高齢者

人生を幸せにするのは何？

- ・75年間724人の男性を追跡し 休むことなく 仕事や家庭生活 健康などを記録
- ・1番目のグループはハーバード大学の2年生
- ・2番目のグループは極貧環境で育った少年達

人を健康で幸福にするのは
良い○○○○に尽きる

これからの防災は？

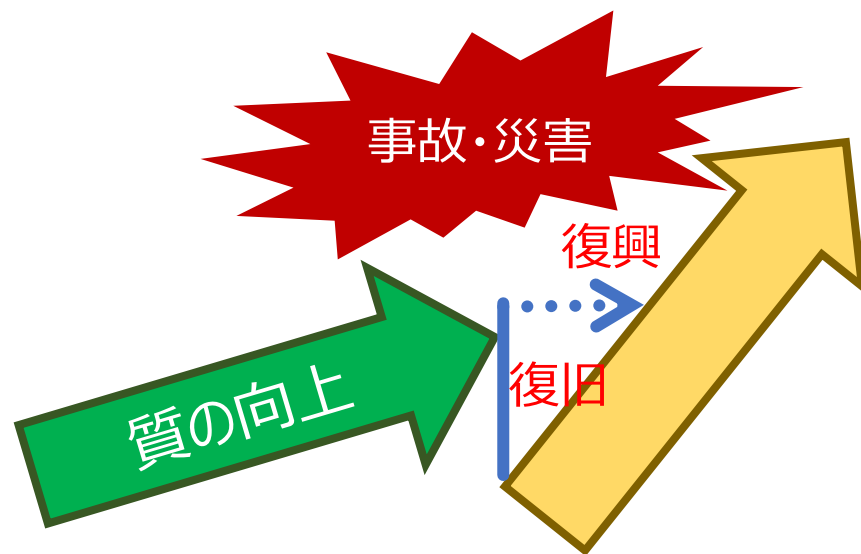
損失を減らす防災から、

「価値向上型」の防災へ

日常から人間関係、近所関係を良好にし、
誰一人取り残さない魅力ある地域社会 =
地域共生社会を作る

⇒災害や危機に「も」強くなる！

価値向上型防災の概念



- ◎ 価値向上への継続的取り組み
 - ◎ 質の低下を最小に、早期に復旧復興を進める
- ⇒両方を実現する防災・BCへの取組み

今日を愛し、明日に備える

**Fight 闘う君の唄を闘わない奴
等が笑うだろう**

**Fight 冷たい水の中をふるえな
がら上っていけ**

**中島みゆき「ファイト！」から
ご清聴ありがとうございました！**

福祉防災について

令和6年度 福島県自主防災組織 リーダー研修会

2024年12月21日（土）

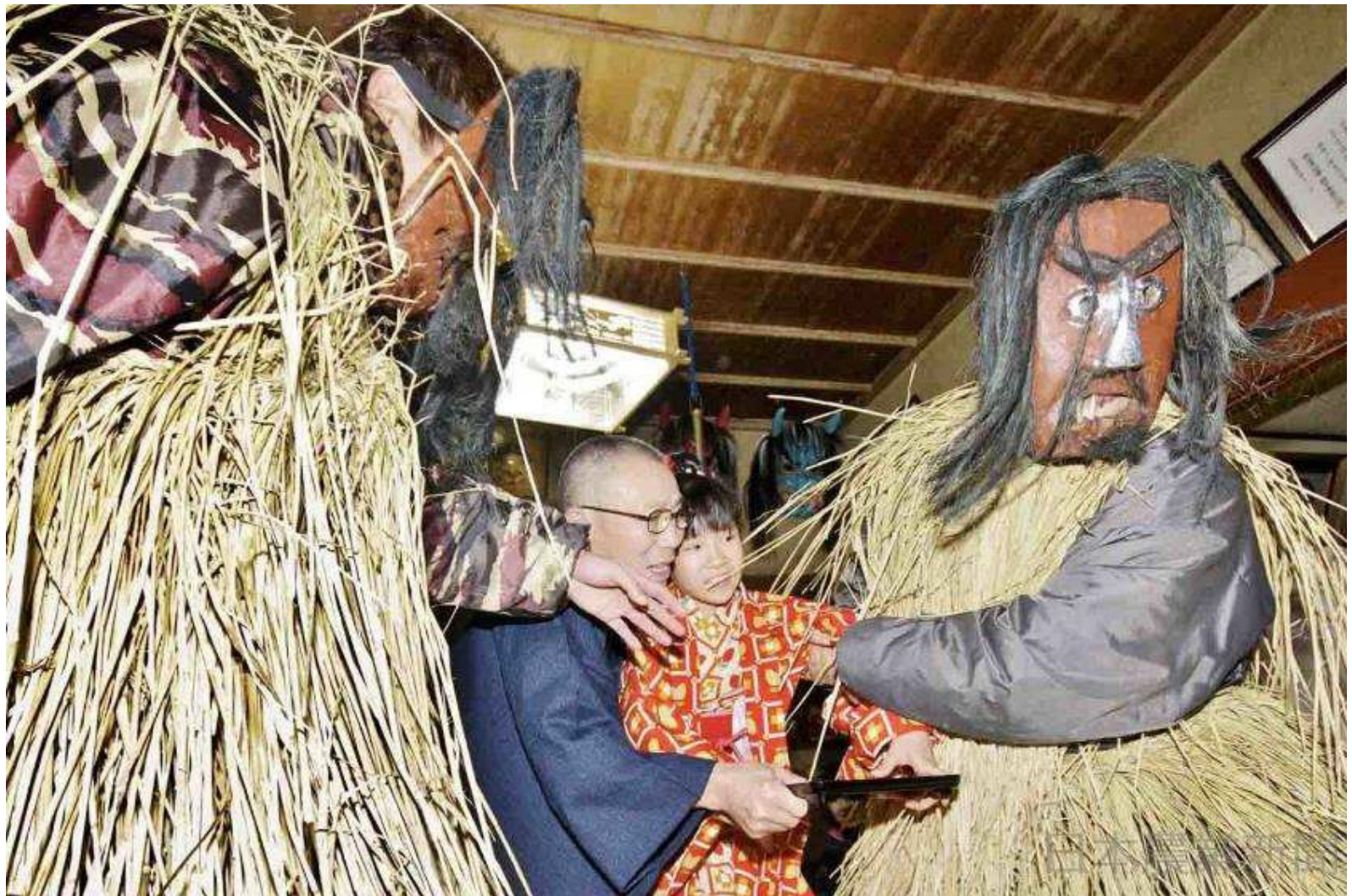
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事

内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長

鍵屋 一

祝！男鹿のナマハゲら来訪神 ユネスコ 無形文化遺産！ 2018年11月29日



ナマハゲは自主防災リーダー！

- 平時は五穀豊穰、家内安全を祈る来訪神
- 災害時は、**要配慮者情報（ナマハゲ台帳）**に基づいて避難支援



- 避難場所（神社）を日頃から使う
- 避難場所までの参道を整備
- 確実な避難方法（同行避難）

個別避難計画は現代のナマハゲ台帳

- 平時はコミュニティと医療・福祉関係者による支援
- 災害時は、個別避難計画（ナマハゲ台帳）に基づいて避難支援



- 避難場所（福祉施設、公民館等）を決定
- 避難場所までの安全な避難路を確認
- 確実な避難方法（車や徒歩で同行避難）

個別避難計画とは？

- **いつ**⇒高年齢者**等**避難
(警戒レベル3)
- **どこに**⇒避難場所、知人、
ホテル・旅館、福祉避難所
- **誰と**⇒主に家族、近所の人
- **どうやって**⇒車、徒歩

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、**個別避難計画の作成**について**市町村の努力義務**という形で規定された。
⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**について、**地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度**で取り組んでいただきたい。

能登半島地震

2024年1月1日 M7.6

地震、津波による死者462名
(うち災害関連死235名)

(出典:石川県 11月22日現在)

死因の多くは、**住宅の下敷き**
と**高齢者等の災害関連死**

※**最重要な政策とは**

⇒**住宅耐震化**

⇒**高齢者等の避難生活支援**



1月4日 金沢市

震災がつなぐ全国ネットワーク 松山文紀氏提供



七尾市 道の駅 立入禁止のトイレ

2024年1月24日 鍵屋撮影



穴水駅前仮設トイレ！

2024年1月24日 鍵屋撮影



輪島市 朝市通りの火災現場

2024年1月24日 鍵屋撮影

なぜ、被害が厳しいのか

- 地震の揺れの強さ、耐震性の弱さ、道路ネットワークの寸断
- ライフラインの停止、超高齢社会、寒冷期、医療・福祉の脆弱性



- 直接死（住宅の下敷き）が多い
- 過酷な避難生活（トイレ、薬、ベッド、食事）
- 栄養不足、体力低下により感染症、循環器系疾患がまん延→関連死が危惧される

○災害用トイレを1回分でも備蓄している人は22.2%

○4日分以上備蓄している人は**4%**

○備蓄しない理由は「特にない」が45%

トイレ不足と栄養不足

リスク1：免疫機能低下により感染症にかかりやすい。

リスク2：誤嚥性肺炎、エコノミックラズ症候群にかかりやすい

リスク3：イライラしてもめごと、犯罪が多くなる

災害関連死の経緯・認定理由(輪島市)

輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果(令和6年5月14日)

年齢	性別	経緯・認定理由
90代	女性	避難所で新型コロナウイルス感染症に感染した結果、うっ血性心不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	女性	近隣のビニールハウスに避難しており、トイレが使用できないため近くの畑へ行き転倒、自力で動けない状態となり、低体温症のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	男性	介護老人保健施設で被災。施設が停電、断水する状況の中、発熱と呼吸困難(肺炎)のため病院へ搬送。被災地の病院では治療困難なため転院したが、細菌性肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
70代	女性	震災後の避難所生活や水分の補給不足、薬の不足、睡眠不足、運動不足、転居など生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じた結果、急性心筋梗塞のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	男性	自宅で被災し近隣の自主避難所に避難したが、停電により暖房が使用できず翌日帰宅。その後体調不良、発熱により入院したが、肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。

能登半島地震関連死の状況例

・80代女性

近くのビニールハウスに避難しており、トイレが使用できないため、近くの畑に行き転倒。自力で動けない状態となり、低体温症のため死亡。

災害被害の方程式

自然の外力

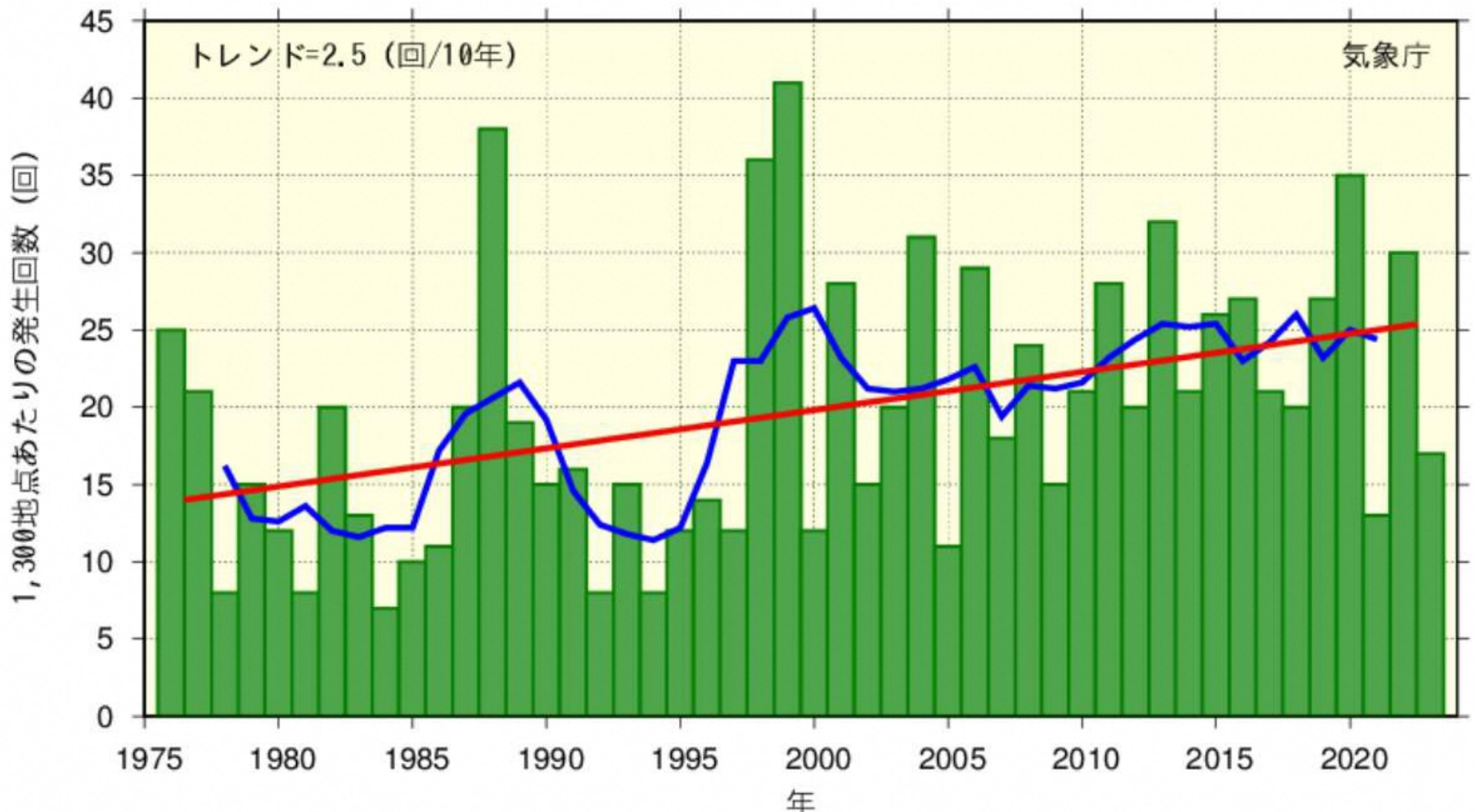
×人口(被害を受ける範囲)

×社会の脆弱性

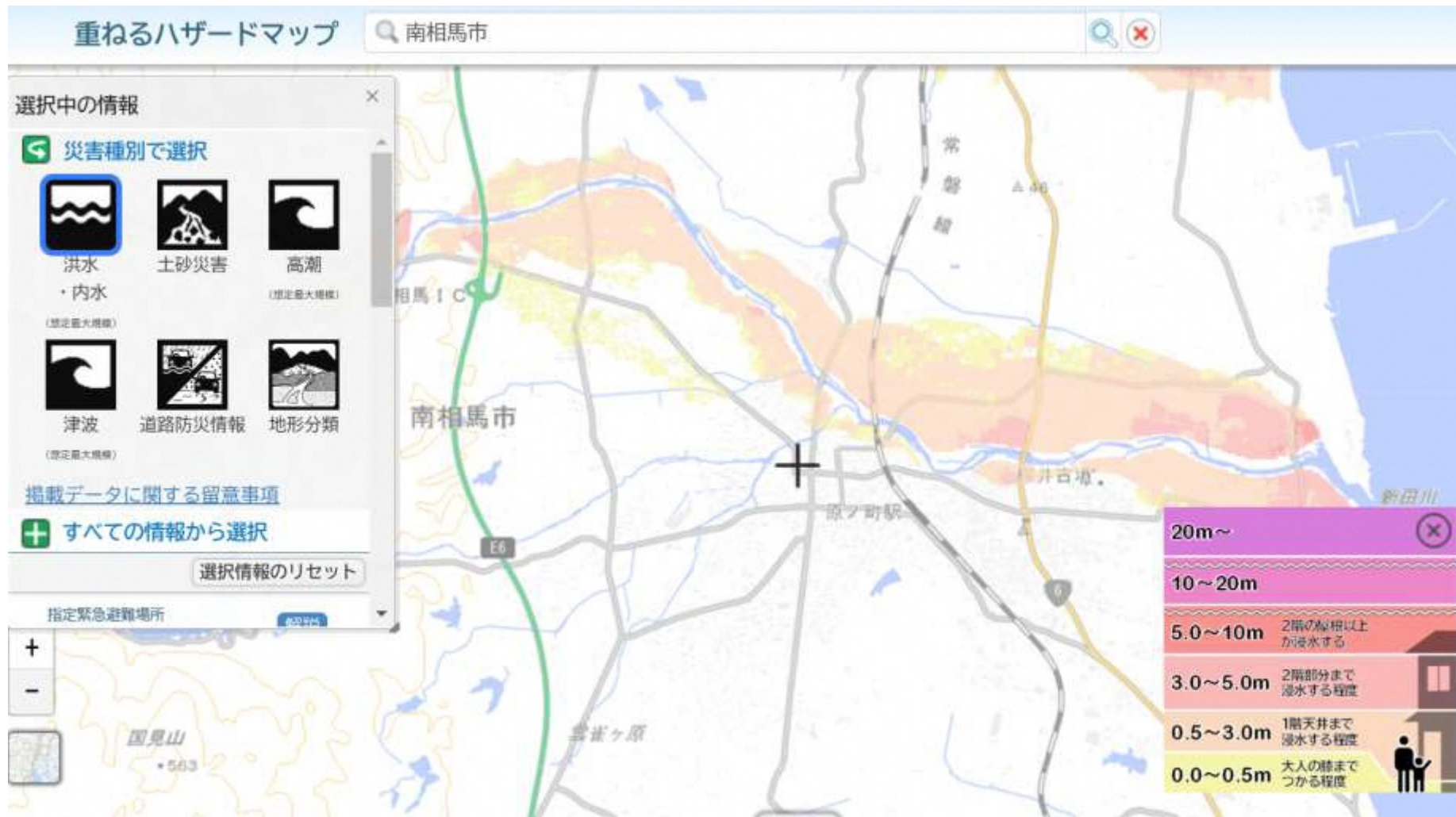
降水量は増えている

1時間降水量80mm以上、日降水量300mm以上など強い雨は、1980年頃と比較して、おおむね2倍程度に頻度が増加（気象庁HP）

〔全国アメダス〕 1時間降水量80mm以上の年間発生回数



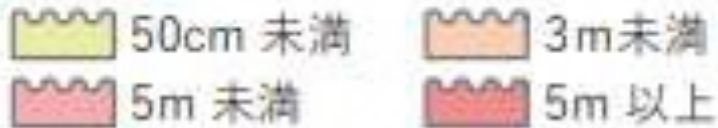
重ねるハザードマップで災害危険度を調べましょう！（南相馬市・洪水）



浸水深の目安

河川のはん濫による浸水発生が想定される区域の水深を4段階で表示しています。

浸水想定深

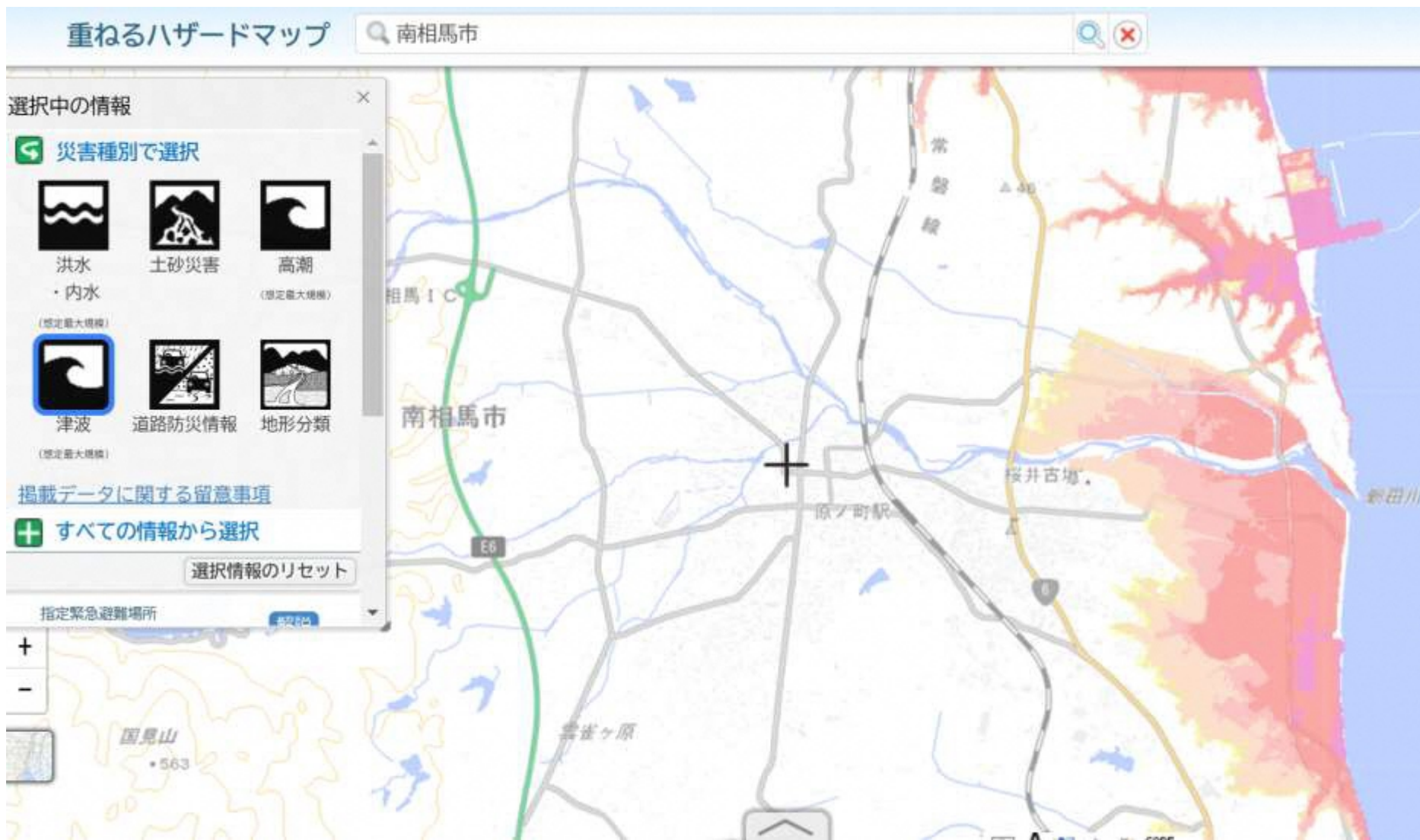


職場だけでなく、自宅、利用者宅、通勤経路も確認！

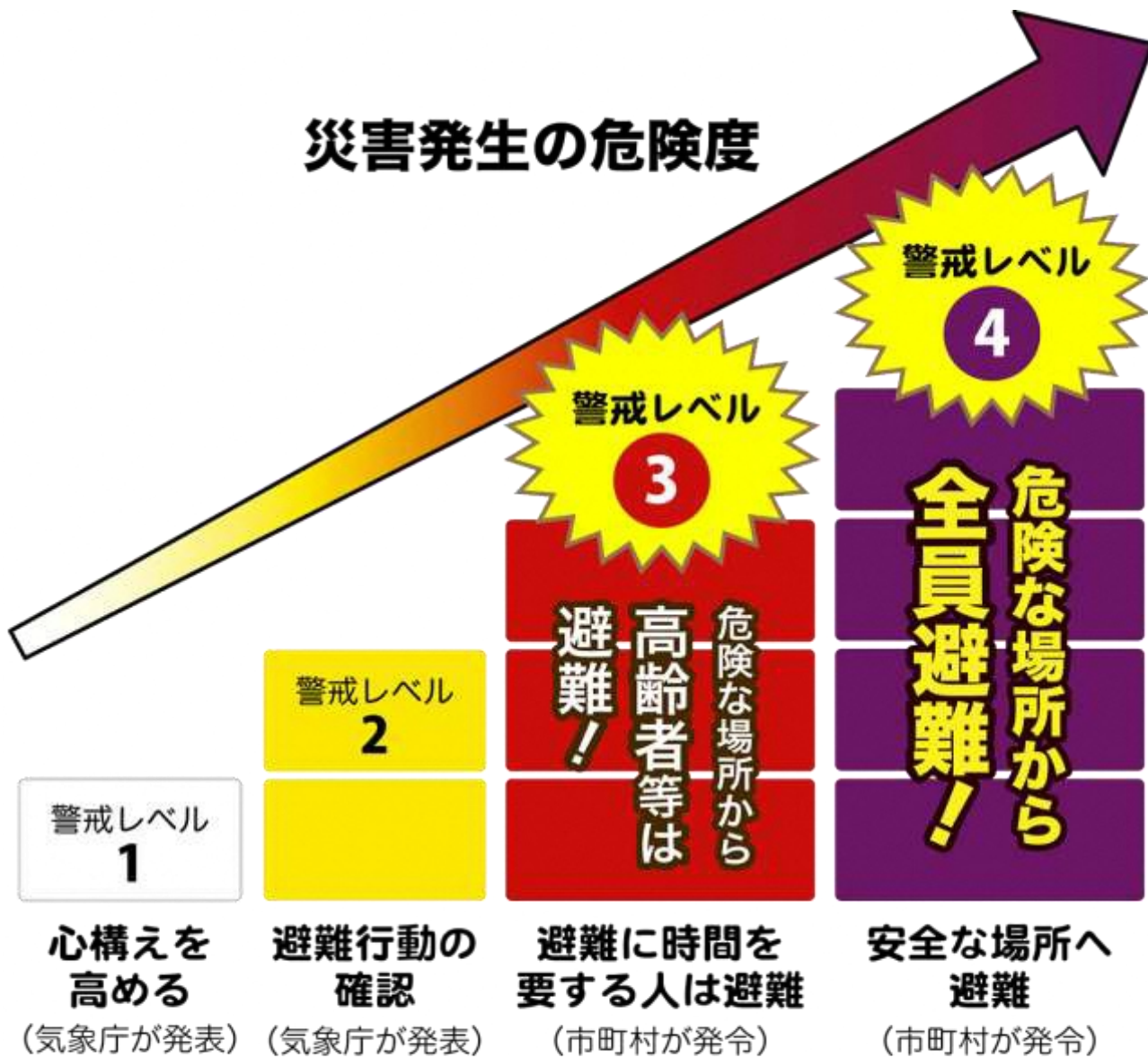
屋外に避難

**念のため
2Fに避難**

重ねるハザードマップで災害危険度を調べましょう！（南相馬市・津波）



災害発生の危険度



[警戒レベル 5] (市町村が発令) は既に災害が発生・又は切迫している状況です。

○なぜ、人は逃げ遅れるのか？

**○なぜ、行政、福祉、
企業等の災害対策の
優先順位は低いのか？**

正常化の偏見

「自分は大丈夫！」

…自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex)逃げない非常ベル

…初着のリスク情報の無視

大地震発生直後、あなたは家族と家にいました。何をしますか？

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

災害被害の方程式

自然の外力×人口(暴露量)

×社会の脆弱性

命を守る防災のコツ

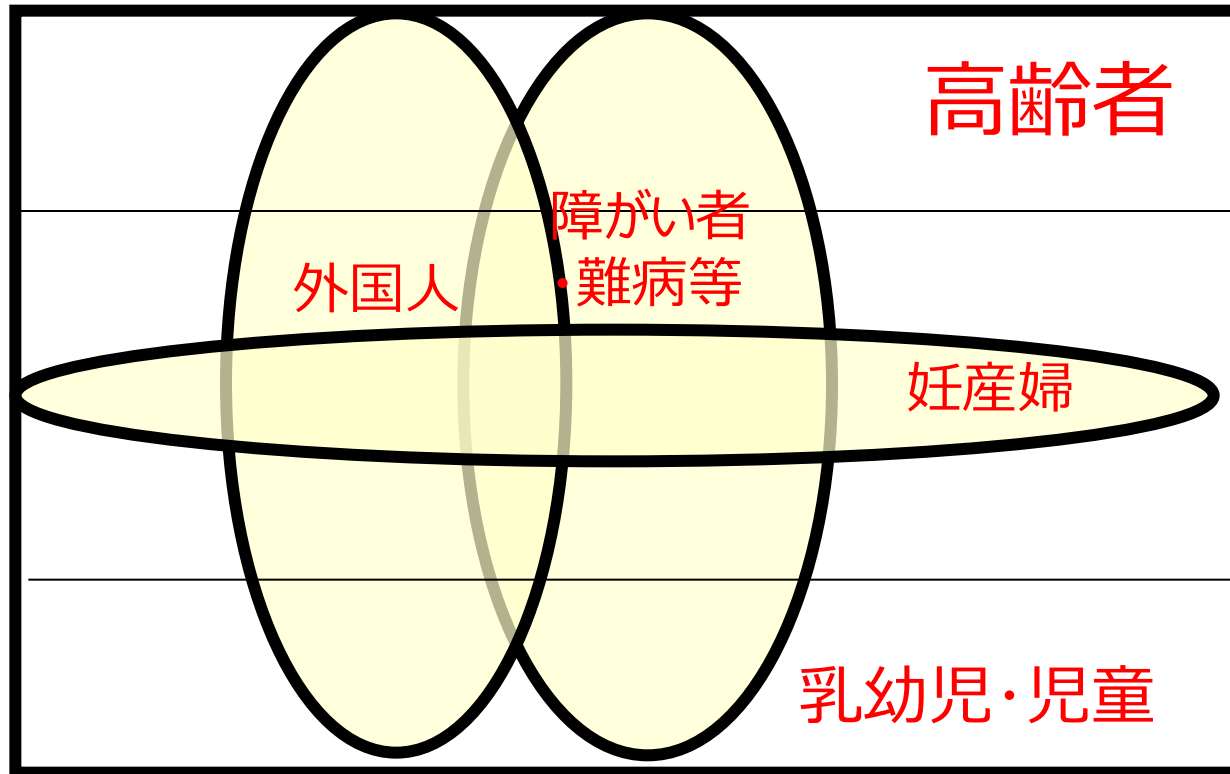
⇒早く逃げる

自分だけでは逃げら

れない人は？

※地震は家を強くし、家具を倒さない

災害時要配慮者とは？



上記の中で自分だけでは避難できない方
= 避難行動要支援者

今年は関東大震災101年

1923年の平均寿命

男41歳、女43歳



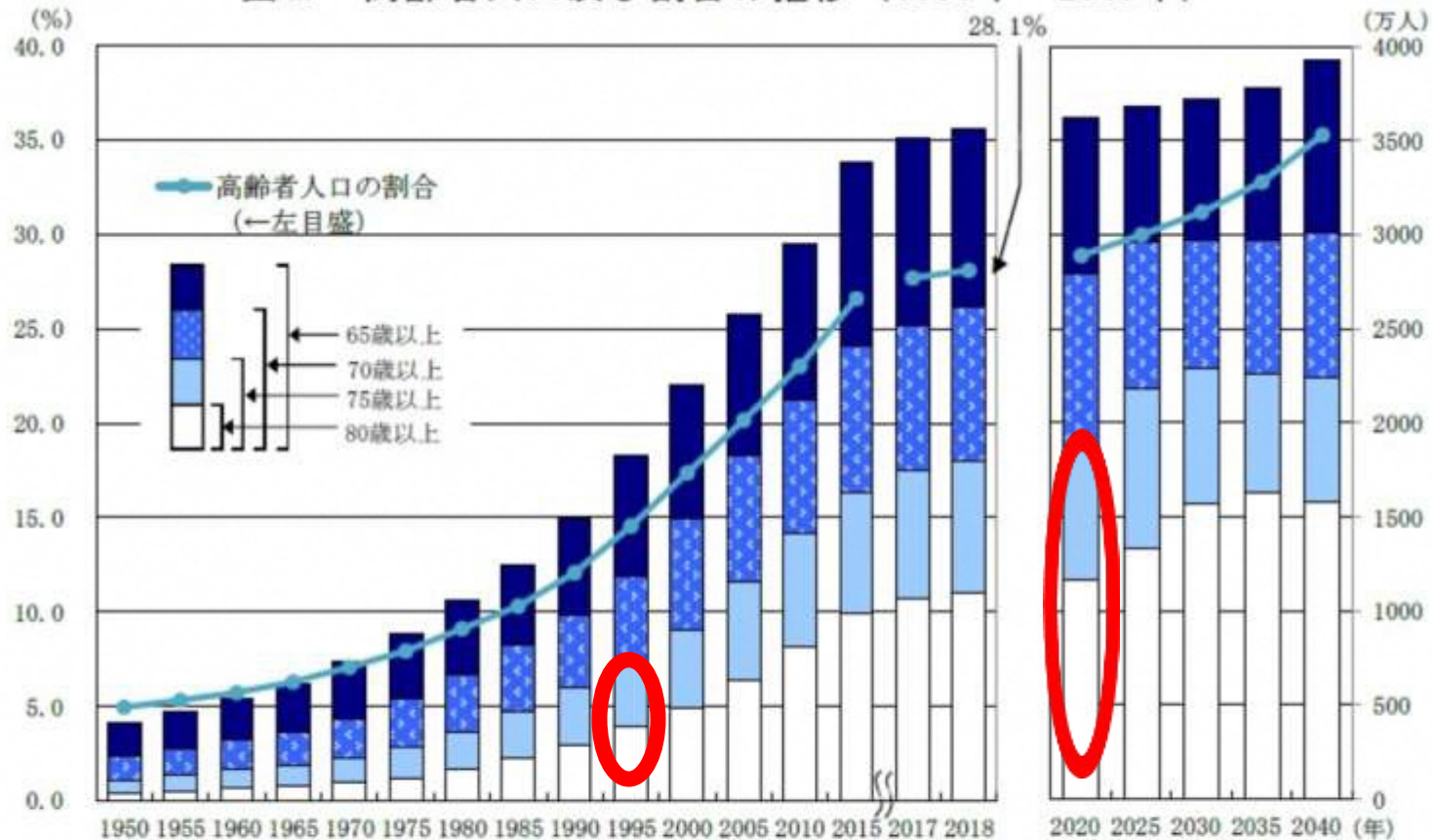
2023年の平均寿命

男81歳、女87歳

進み続ける高齢化（出典：統計局HP）

75歳以上は25年で2.6倍！

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



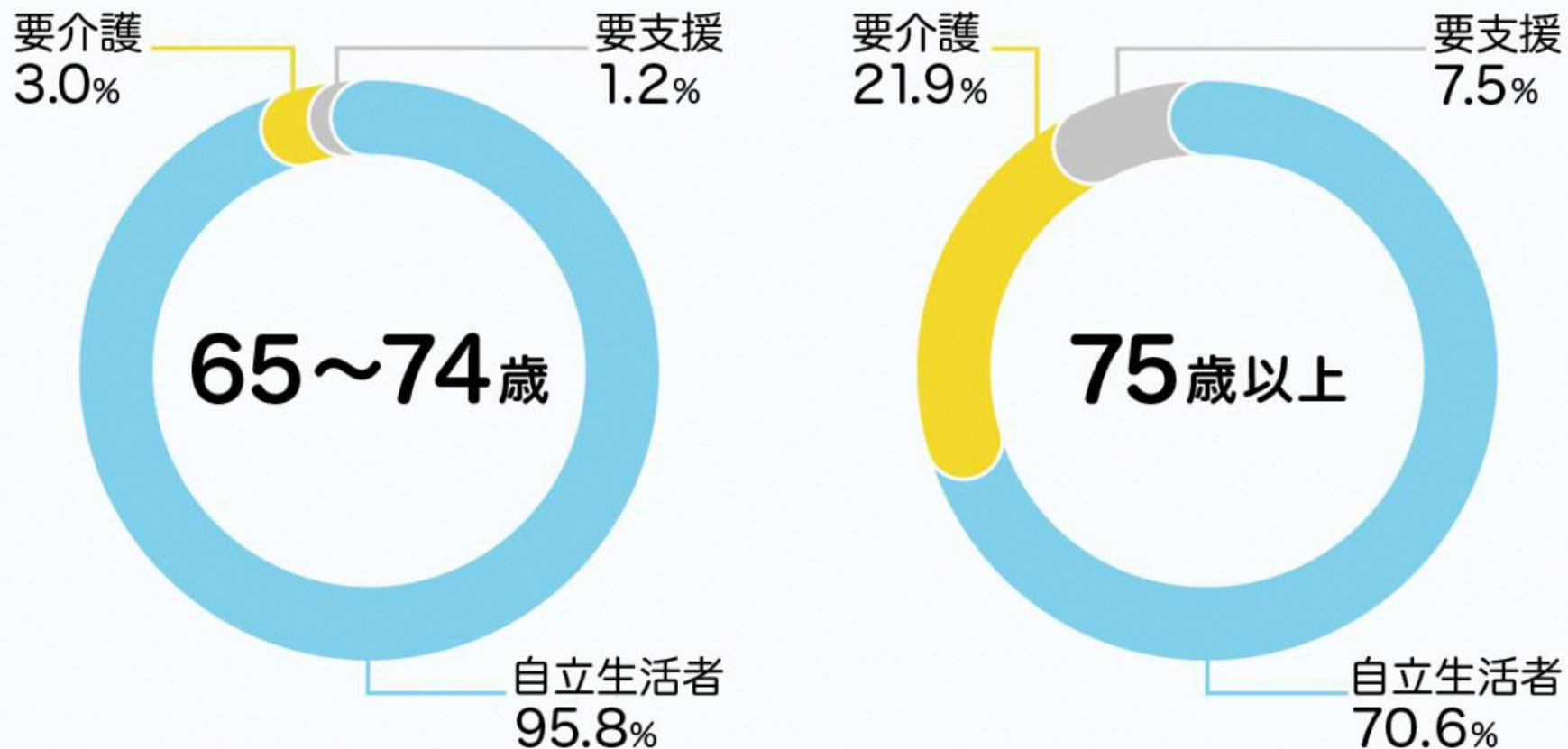
資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2017年及び2018年は「人口推計」

2020年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計
（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2017年及び2018年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

注2）国勢調査による人口及び割合は、年齢不詳を除外した結果

※1：要介護認定者の実態



※厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」/2009（平成21）年度

要介護者の日常生活動作 (抜粋)

出典：日常生活圏域ニーズ調査モデル事業・結果報告書 平成22年（2010）10月厚生労働省老健局

- 自分で入浴できない⇒72.1%
- 50m以上歩けない ⇒69.2%
- **階段を昇り降りできない⇒80.2%**
- 大便の失敗がある ⇒59.9%
- 小便の失敗がある ⇒69.8%

激増する高齢単身世帯！

出典：令和元年高齢者白書

25年で3.2倍！



資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）2018（平成30）年推計」による世帯数

(注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単身世帯」又は「一般世帯（1人）」のことを指す。

(注2) 棒グラフ上の（ ）内は65歳以上の一人暮らしの者の男女計

(注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

障がい者は25年で約62.5%増

(下図は12年で43%増) 出典：厚生労働省HP

図表 1-1-2 障害者数の推移



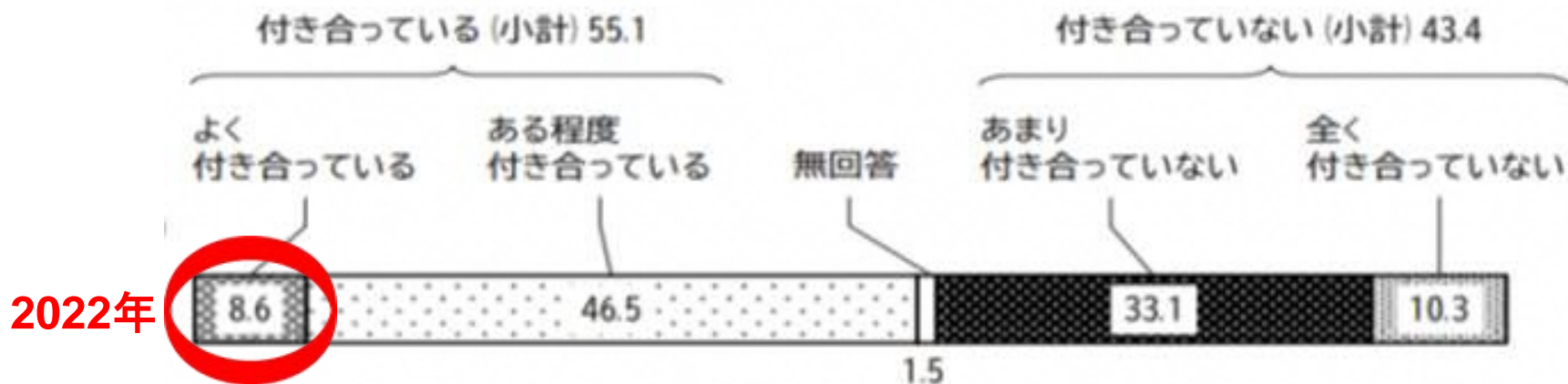
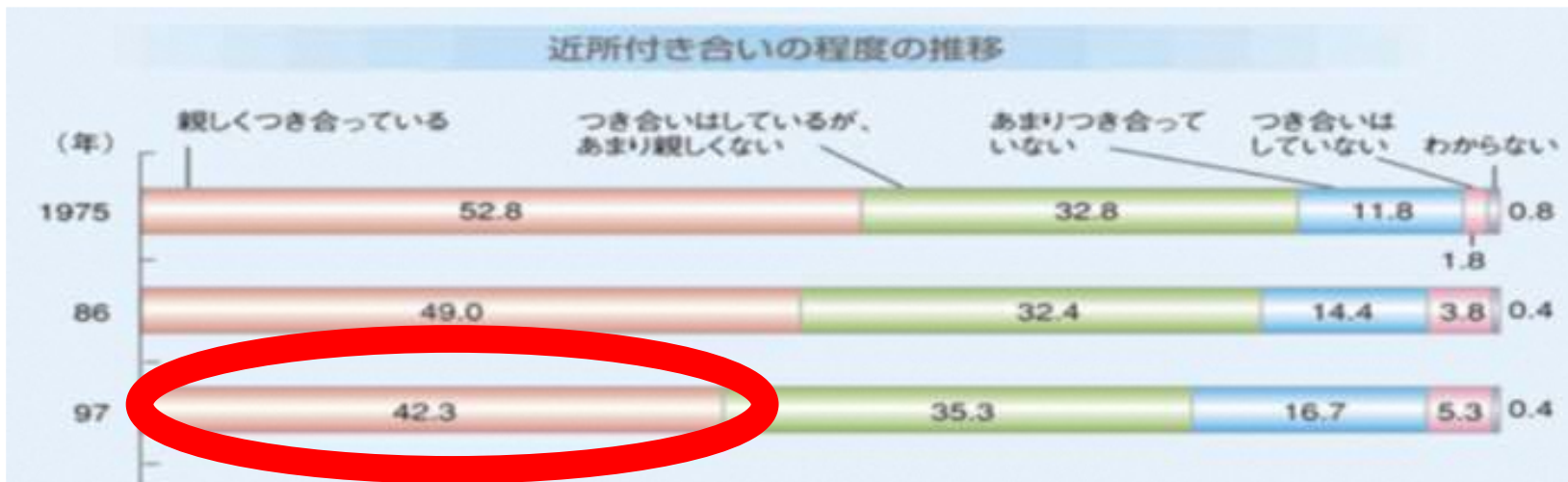
特定医療費（指定難病） 受給者証所持者数の変化 25年間で3.24倍！

1995年3月	291,856人
2020年3月	946,110人

出典：難病情報センターHP

近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書、令和4年12月社会意識に関する世論調査

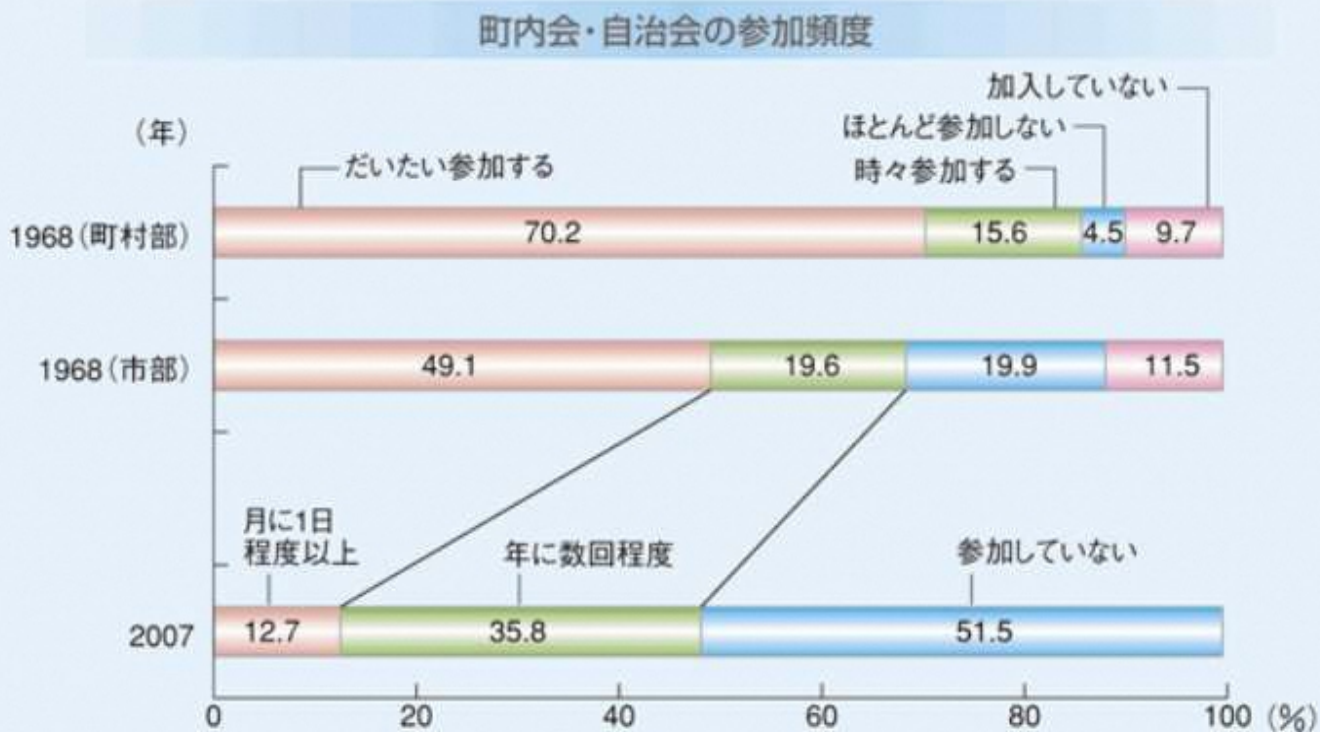


町内会自治会活動への参加も低下！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-22図

町内会・自治会への参加頻度は少なくなっている



あと少しの支援があれば・・・

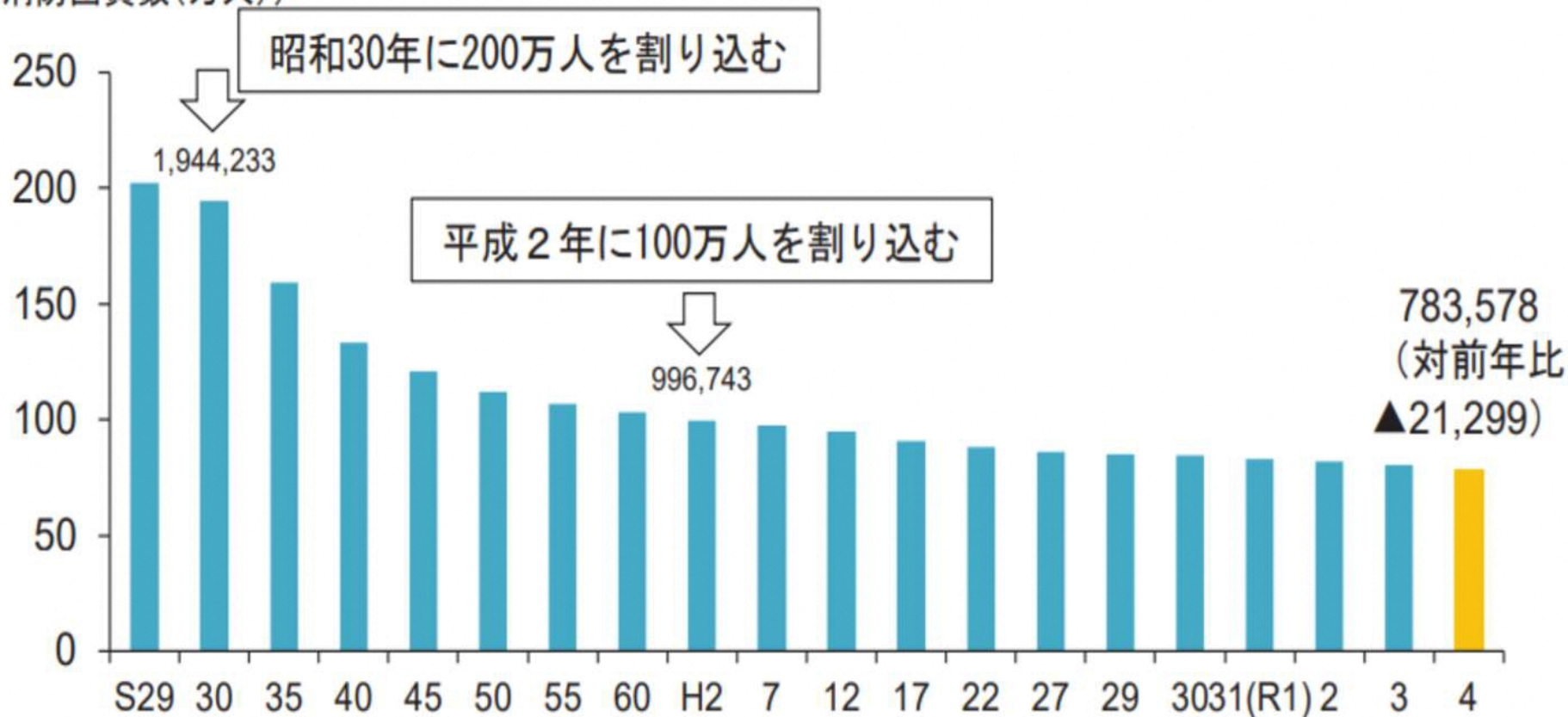
- 在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- 自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- 多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

減り続ける消防団員数！

出典：総務省消防庁HP

1 消防団員数の推移

(消防団員数(万人))

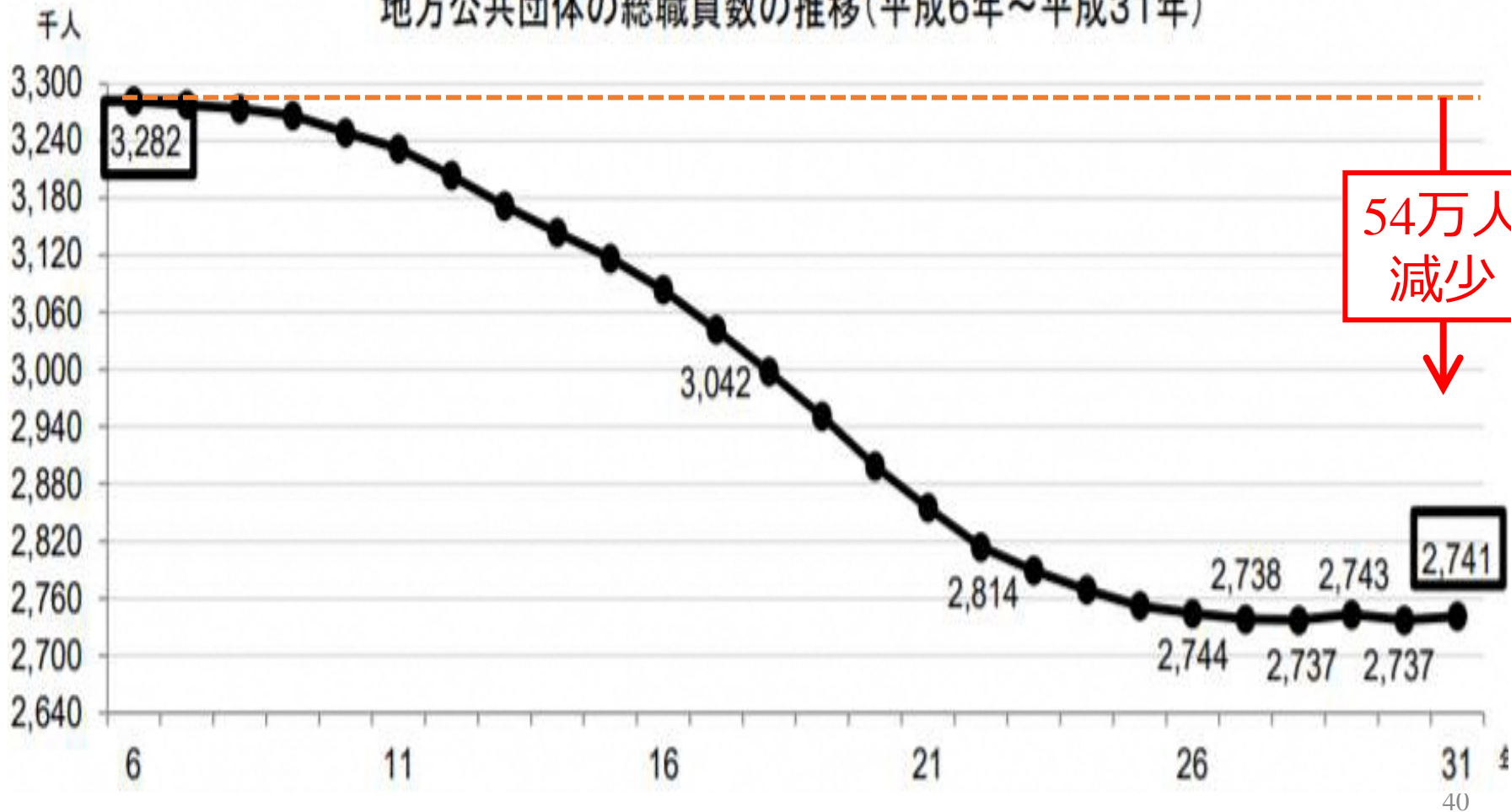


公助にも限界が...

自治体職員は25年で16.5%減！

出典：総務省HP

地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成31年)



54万人
減少

近年の豪雨災害における高齢者等の被害

●平成30年7月豪雨

愛媛県、岡山県、広島県の死者数のうち、60歳以上の死者数の割合→**約70%**(131人/199人)

(うち市区町村別死者数最大の倉敷市真備町における70歳以上の割合→約80%(45人/51人))

●令和元年台風第19号

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→**約65%**(55人/84人)

●令和2年7月豪雨

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合→**約79%**(63人/80人)

(うち熊本県約85%(55人/65人))

(高齢者の死者数/全体死者数)

出典：「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について
(最終とりまとめ)」2020年12月24日

2011年3月11日

東日本大震災

死者：19,702名

計：22,222名（以上）

行方不明：2,520名

（警察庁：2024.3）

避難者数：29,231名

（復興庁2024.3.1）

震災関連死：3,802名（復興庁2024.3.1）



釜石市鵜住居地区

東京大学大学院
片田敏孝教授提供



鵜住居地区



両石地区

誰が逃げると伝えたか？

第1位 101人 家族・同居者

第2位 97人 近所、友人

第3位 74人 福祉関係者

第4位 30人 警察・消防(団を含む)

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、315人、複数回答あり) 2013年

誰が逃げるのを支援したか？

第1位	85人	家族・同居者
第2位	60人	近所、友人
第3位	53人	福祉関係者
第4位	11人	消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」（東日本大震災時、197人、複数回答あり） 2013年

⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

東日本大震災 死者の教訓

○高齢者が約 6 割、障がい者死亡率は 2 倍

⇒**地区防災計画や個別避難計画で、近所や福祉とつながりが必要！**

○自治体職員 2 8 8 名(地方公務員災害補償基金2019年2月) 消防団員
2 5 4 名(H24 .12.消防庁) **民生委員 5 6 名**
高齢福祉施設職員 1 7 3 名(厚労省保健局：H24年6月)

⇒**地区防災計画や個別避難計画で
支援者の危機管理能力向上**

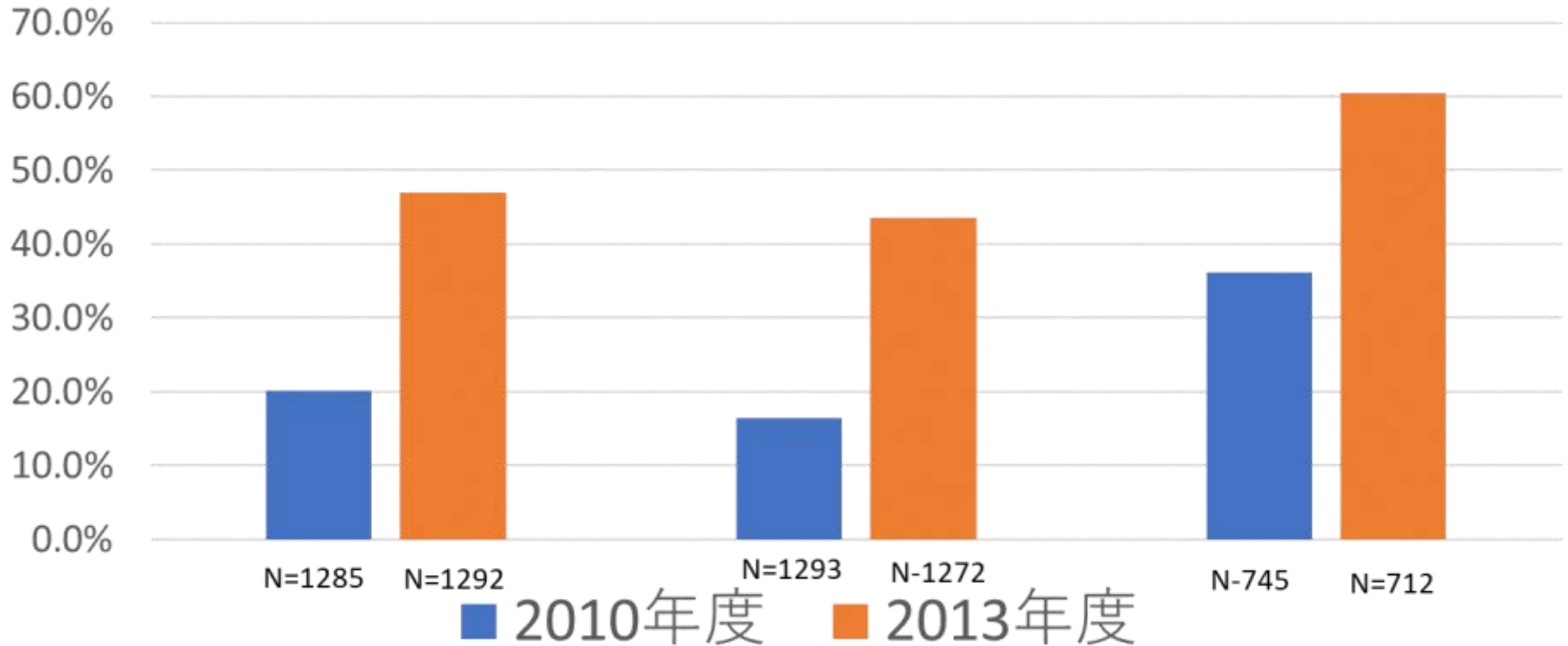
○震災関連死3,775名

・89%が66歳以上、移動や避難所で衰弱

⇒**福祉施設BCP、福祉避難所が必要！**

うつ状態の要介護者が増える

福島県における要介護認定者増の要因分析による必要な支援のあり方に関する調査研究事業報告書
平成27年 3月 国立大学法人 福島大学



毎日の生活
に充実感が
ない

楽しんでやれて
いたことが楽し
めなくなった

以前は楽にで
きていたことが
おっくうに感じら
れる

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、**個別避難計画の作成**について**市町村の努力義務**という形で規定された。
⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**について、**地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度**で取り組んでいただきたい。

地域住民による個別避難計画

1. 洪水、土砂災害等のハザードを理解し、自分と家族の身を守る
2. 安全を確保したら、「事前に決めた高齢者、障がい者等（要支援者）」の安否確認

※この仕組みを作ることが最重要！

⇒避難誘導は、消防団や自治会と協力

3. 自治会長等に報告する。
4. 高齢者や障がい者等も、避難支援者等に避難の有無を伝える。

わが家は大丈夫 富士宮市



優先度の高い人とは

①ハザードマップの**レッドゾーン**

②本人の**要支援度が高い**

③**支援者の支援度が低い**

→支援者のいない人が**厳しい**。
だが行政の書類では**わからない**

→福祉専門職や地域住民等の
情報が不可欠

避難の支援者がいない

- ・高齢化などで支援者がいない
- ・支援者には負担感が強い

1. 支援者の役割を限定する

⇒避難連絡だけでよい

2. 要支援者1名に複数の支援者が連絡する

3. 避難誘導の支援者は組織でよい

⇒自主防災会、町内会・自治会、消防団、福祉事業者（仮置きでよい）

【訓練】百考は一行に如かず 「漢書」趙充国伝

震災前に津波避難訓練に参加経験が「ある者」では「ない者」に比べて、避難したオッズ比が 1.99 倍高く、津波浸水域内にいた場合はさらにオッズ比が**3.46 倍高い**。

一方で、地震避難訓練、地震や津波に関する防災の講義への参加、地震・津波に関する話を聞いた経験は避難行動に統計学的に有意な影響を与えていない。

(中谷直樹「津波避難訓練が避難行動に与える効果」埼玉県立大学地域産学連携センター2019年度WEB講座)

95歳の夫と86歳の妻の避難

2022年10月29日 酒田市総合防災訓練



ひなんさんぽ 岡崎市



【実施までの流れ】

個別避難計画を作成



要支援者の体調などを確認



天気予報を確認



日程調整



ひなんさんぽ実施

ひなんさんぽ 岡崎市

【実施時の注意点】

- 日程を決めても、要支援者の体調などにより、開催できないことがあります。そのような場合は無理せず、改めて日程を調整し直しましょう。
- 要支援者の状況や、避難施設までの距離によっては「おさんぽ」ではなく、「ドライブ」とすることも、選択肢のひとつです。



訓練が終わったら、振り返り

訓練結果を**当事者、保護者、**
地域住民・民生委員と医療や
福祉関係者、自治体職員が
振り返りをして、**個別避難計画**
の作成へ！

※美味しい和菓子も(^_-)-☆

⇒当事者、地域、福祉がつながる

福祉、防災、コミュニティの連携で
「強み」を生かし「弱み」を補完する
避難支援体制⇒日常も災害時も
支え合える「地域共生社会」



個別避難計画とは？

- **いつ**⇒高年齢者**等**避難
(警戒レベル3)
- **どこに**⇒避難場所、親族・知人、ホテル・旅館、福祉避難所
- **誰と**⇒主に家族、近所の人
- **どうやって**⇒車、徒歩

※地区防災計画の内容を高年齢者、障がい者等に向けて個別・具体的に決める

個別避難計画の効果

9

○計画そのものより、計画を作るプロセスで**つながりを作る**ことが助かる確率を上げる！

⇒良い地域社会づくりに**つながる**

○なお、紙の計画があると、忘れにくい、更新しやすい、共有しやすい効果がある。

具体的な成果をどう考える？

○個別避難計画は、災害時に助かる確率を上げる計画

→防災の完全な計画作成は不可能。確率を上げ続けるしかない

→課題はあってよい。完成させずに、空欄が残って良い

→それが、訓練、見直しにつながり、地域のつながりを高める

個別避難計画の本当の狙い

- 個別避難計画は、外見上は支援者が要支援者を助ける計画
 - しかし、恩恵として支援するのではない
 - 平時も災害時も支え合える社会 = 「地域共生社会」を作る手段
- ⇒ 要支援者も支援者も自治体職員も、「地域共生社会」を一緒に作る仲間である！

タイムラインを作る、活用する機関は改めて留意してほしいこと 2023/10/19松尾一郎

○様々なタイムラインがある中で、**本当に使われるタイムラインは、自ら関わって、関係者が集まって策定したもの**だけである。
○だから人が変わる度に訓練や日々の当事者による「ふりかえり」が**重要**なのである。

○よく作成過程を飛ばして、**テンプレートを使って作ることに急ぐ事もある**。それが顔合わせの回数を減らす事が出来るので簡単であるし、年度予算で動く組織が陥りやすい例である。
しかし**多くは使われないタイムラインで終わってしまう**。

○この約10年の間 百にも上る市区町村タイムラインや様々なタイムラインを取り組んで見えてきたことである。

○だから**防災は、当事者参加型のボトムアップ防災が重要**なのである。

○**自ら作れば、使う**のである。それが多くの人々を救ったタイムラインが実証している。

災害関連死の状況

出典：NHK他 鍵屋調べ

災害発生日時	災害名	直接死者数	関連死者数	行方不明	合計	関連死割合
1995年1月17日	阪神・淡路大震災（兵庫県内）	5,483	921	3	6,407	14.3%
2004年10月23日	新潟県中越地震	16	52	0	68	76.5%
2011年3月11日	東日本大震災	15,900	3,784	2,523	22,207	17.0%
2016年4月14日	熊本地震	50	223	0	273	81.6%
2018年7月6日～	西日本豪雨災害	222	81	8	311	26.0%
2019年10月12日～	東日本台風災害	84	29	3	116	25.0%

2016年4月14日、16日熊本地震 最大震度7

益城町建物被害 全半壊6,259棟、一部損壊4,325棟、無被害156棟

死者:273名(災害関連死:223名) (熊本県.2023.4.13)

最大避難者 : 183,882名



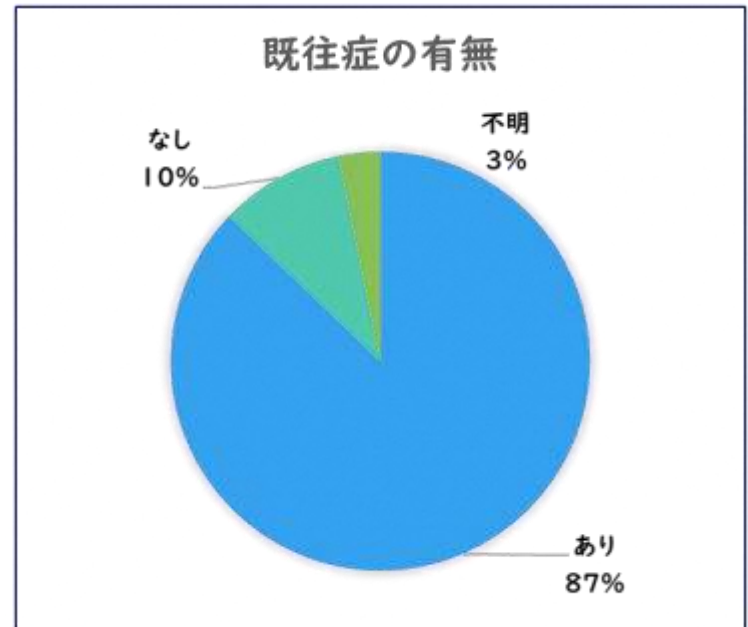
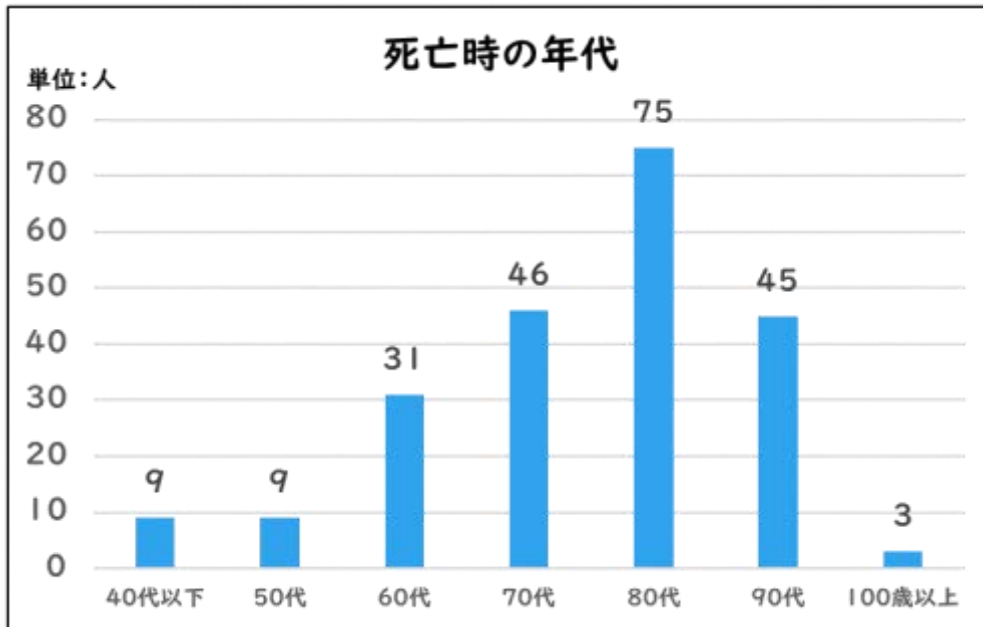
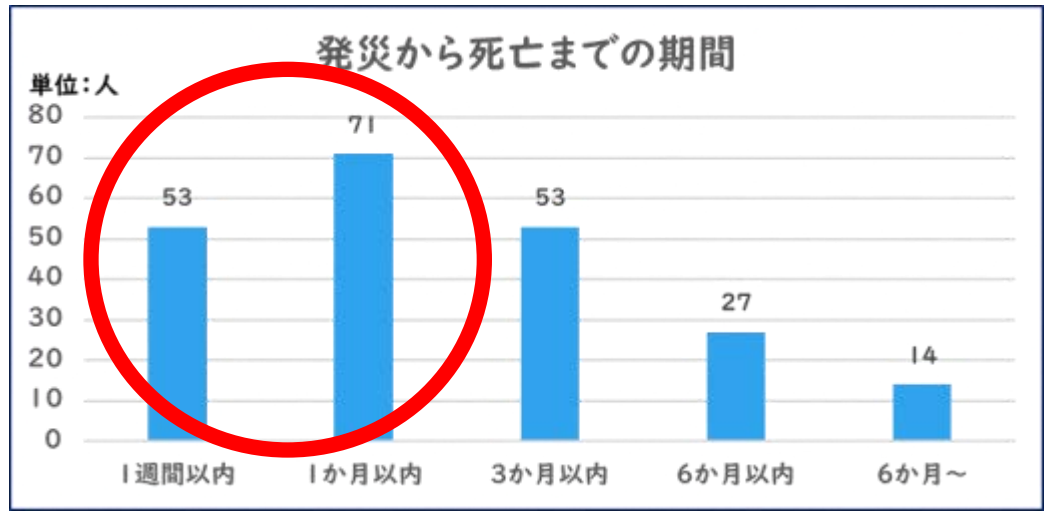
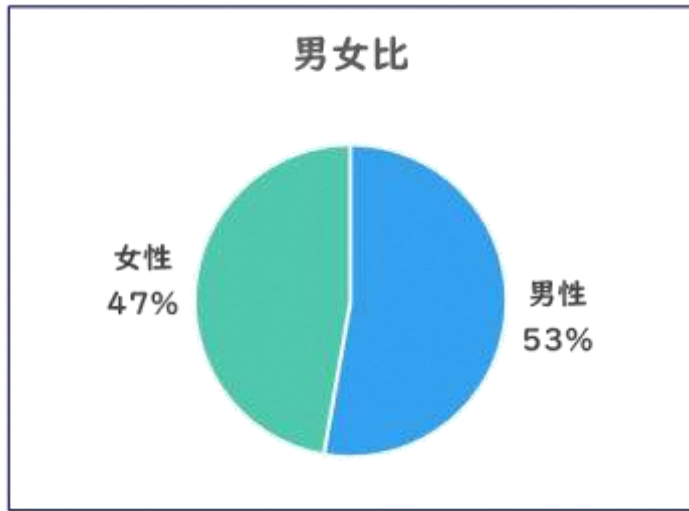
熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

出典：熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表

生活環境	人数	割合
発災時にいた場所及びその周辺	12	5.5%
避難所等への移動中	0	0.0%
避難所滞在中	10	4.6%
仮設住宅滞在中	1	0.5%
民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中	0	0.0%
親戚や知人の家に滞在中	8	3.7%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】	81	37.2%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】	27	12.4%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】	17	7.8%
入院又は入所後 1 か月以上経過し亡くなった場合【病院】	58	26.6%
入院又は入所後 1 か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】	3	1.4%
その他・不明	1	0.5%
合計	218	

熊本地震での震災関連死内訳 令和3年3月末時点 218件（更新）

出典：熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表



在宅の被災者支援が重要！

在宅の高齢者・障がい者等の早急な見守り、保健・医療・福祉・生活支援が重要

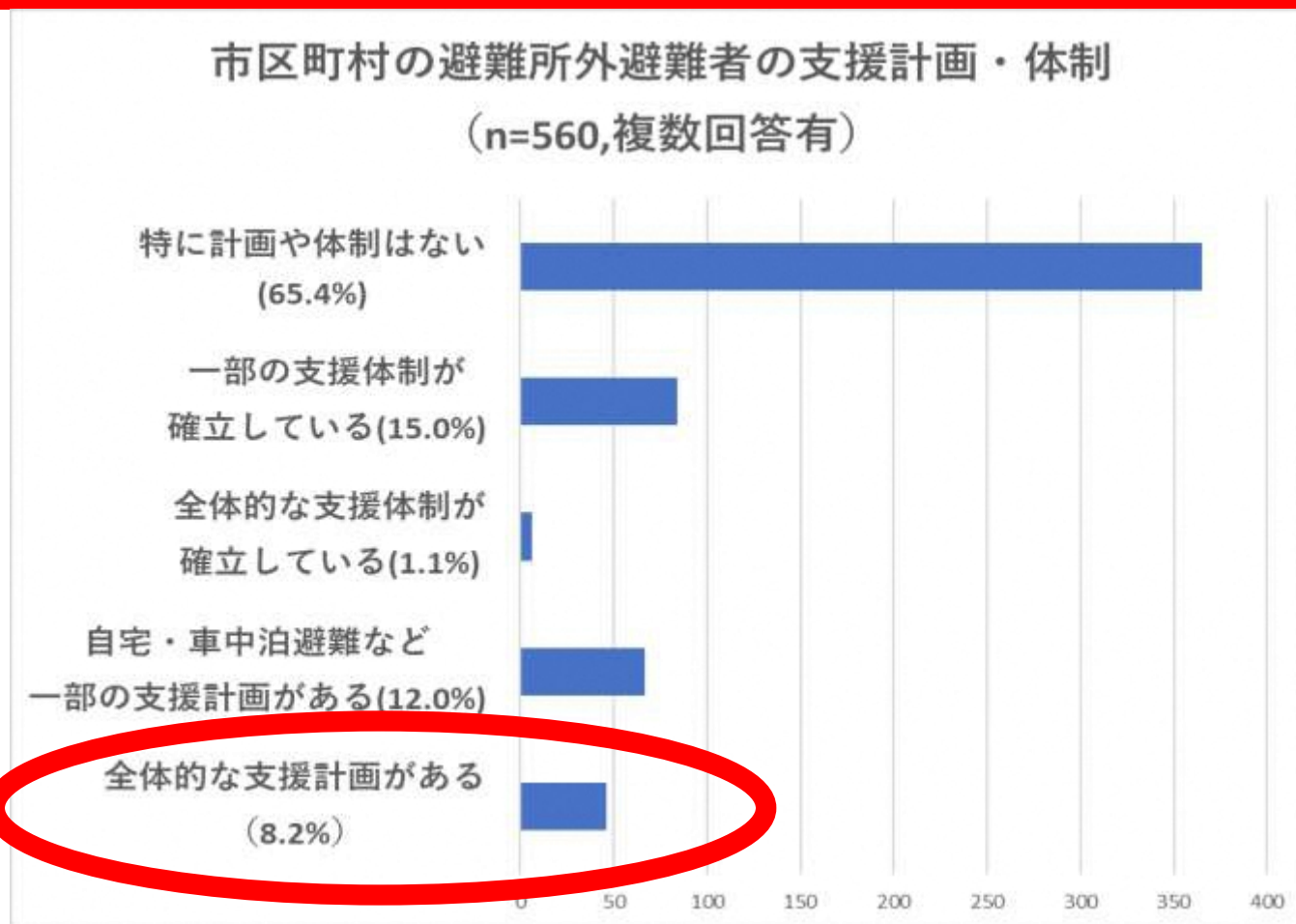
(**自治会**等の見守り支援、在宅介護支援のBCP、**社協**の支え合いセンター、保健医療福祉調整本部など)

※避難行動要支援者名簿を活用！

⇒体調が悪ければ
すぐに病院、福祉避難所へ！

避難所外避難者の支援計画・体制

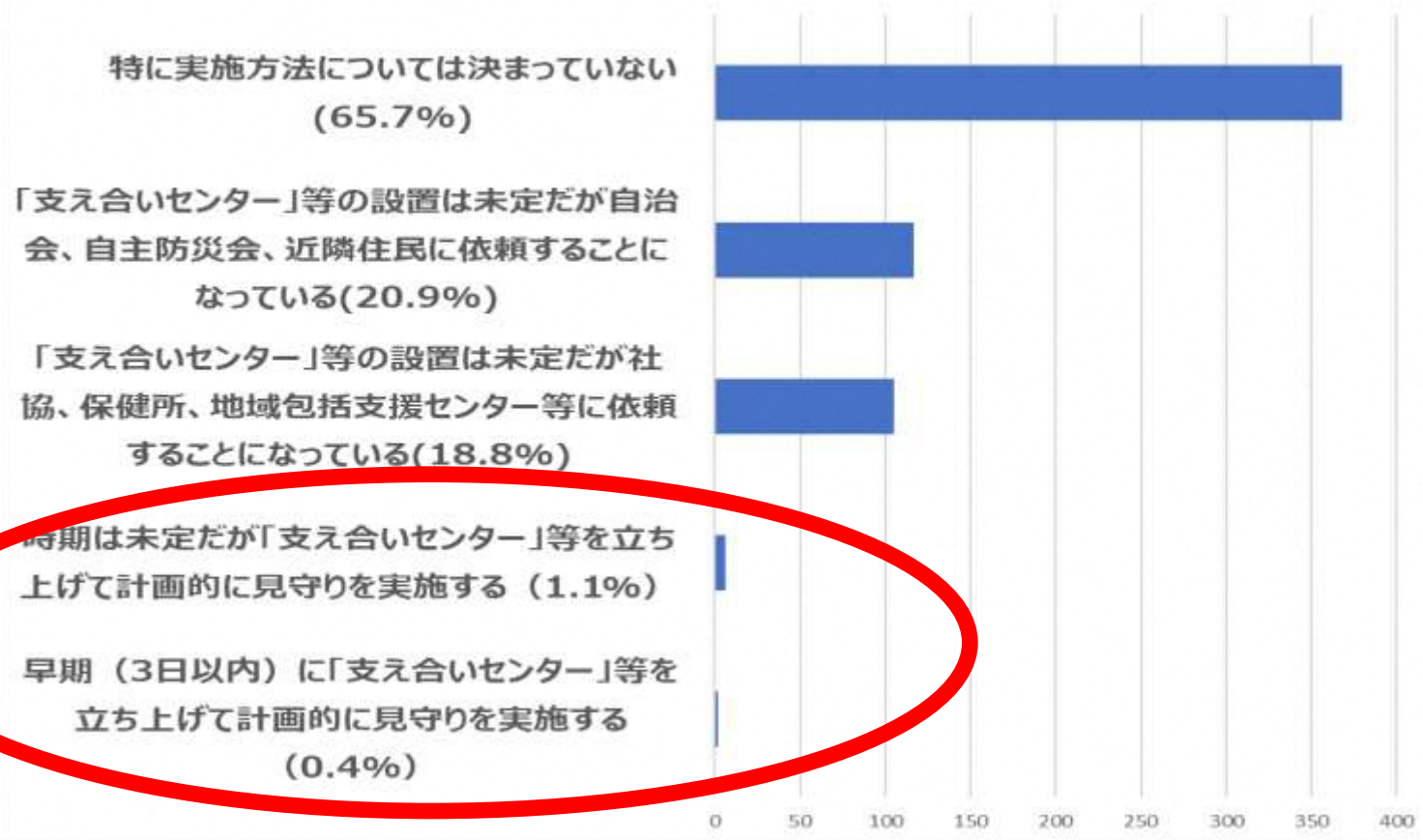
出典：避難所外避難者の支援体制に関する調査研究
2022年 3月 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会



避難所外避難要配慮者の見守り

出典：避難所外避難者の支援体制に関する調査研究
2022年 3月 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

市区町村の避難所外避難要配慮者の見守り (n=560,複数回答有)



福祉避難所の問題

- 福祉避難所は**二次避難所**なので、災害発生して数日後に開設するものである

⇒**一般の避難所に行けない人（認知症高齢者、知的・精神障がい児者、乳幼児等）はどうすれば？**

- 避難所において、具合が悪くなった人を移送するものである

⇒**そもそも避難所で具合を悪くしてはいけない。移送は多大な調整、労力、時間を要するのがわからない？**

高齢者を支える福祉避難スペース



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供

(新) 福祉避難所ガイドライン (2021年5月)

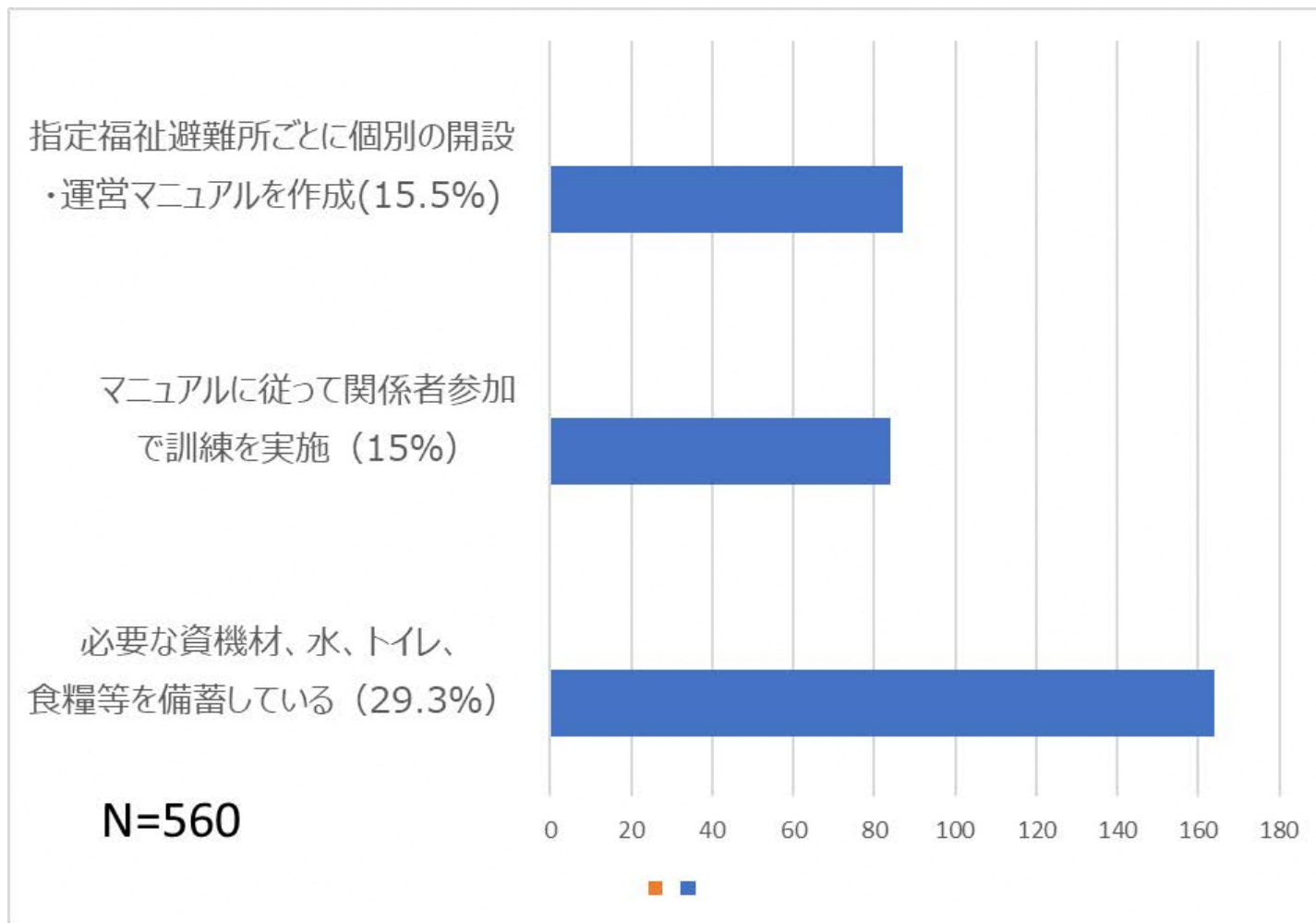
市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合（災害時）で、高齢者等避難が発令された場合などには、指定福祉避難所を開設する。

⇒一次避難所として直接避難できる！

また、市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。

指定福祉避難所のマニュアル・訓練・備蓄状況

出典：「避難所外避難者の支援体制に関する調査研究」
2022年 3月 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会



福祉避難所には、電気、トイレ、マニュアル・訓練が必要！

こども福祉避難所開設BOX・運営マニュアル

短期間でこども福祉避難所を開設・運営するノウハウが詰まっています

責任者がいなくても避難所の開設・運営をスムーズに行うための「指示書」「コミュニケーションボード」などが含まれています。平常時にはこのマニュアルを使用して訓練と振り返り研修を行います。



- ・こども福祉避難所開設指示書
- ・運営マニュアル（自治体ごとの研修で作成）
- ・キットの使用法説明書・指示書
- ・避難所設置シート
- ・ホワイトボードシート
- ・模造紙・筆記具…など

バリアフリーで移動式トイレ

避難所のトイレ問題を改善する自動ラップ式トイレ

仮設トイレの設置を待たずに即稼働できるポータブルトイレ。自動ラップ式なので避難所を清潔に保つことが可能です。



専用巻紙筒を入れる
専用巻紙筒を投入し、詳細を参照せよ。
※清潔の水筒も準備は済ませるために
巻紙筒を使用します。



スイッチのボタンを押す
電源を、スイッチのボタンを押して
ください。自動ラップが開始します。
※電源が切れるまで自動で続行され
ます。



ラップ済み筒を取り出す
約90秒後、終了音が鳴ります。
筒を取り出し、使用してください。



外部給電器

福祉避難所で重要となる冷暖房機の稼働、精密機器に適した国内最大パワーの給電器

発災時の避難所でブラックアウトに備えるための給電器。精密機器に適した、交流波形の乱れが少ない「きれいな電気」を供給します。他の地域から電気自動車やPHEVでかけつけ、給電による支援を行うことも可能です。

HONDA Power Exporter 9000

主要諸元

定格出力：9.0kVA
出力電圧：AC100・200V（単相三線式）
周波数：50、60Hz（切替式）
電力変換方式：インバーター方式

重量：50.8kg
全長×全幅×全高：755×387×438mm
出力端子：100V×6口/200V×1口
適用規格：電動自動車用充放電システム
ガイドライン V2L DC版



感染症対策を含む防災グッズ

感染症対策を含む様々な防災グッズも併せて整備します

設備・物資は各学校の機能性に合わせ、分散して備蓄を行います。

各特別支援学校の在校生だけでなく、卒業した障がい児者も、慣れ親しんだ支援学校が避難所となることで、早めの避難行動の促進も期待できます。



企業版ふるさと納税とは？

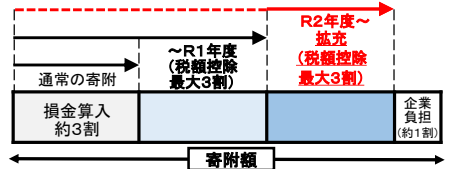
⇒自治体の地方創生事業に寄付すれば法人税等の9割を税額控除

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄付について法人関係税を税額控除

制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要
 - ※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
 - ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



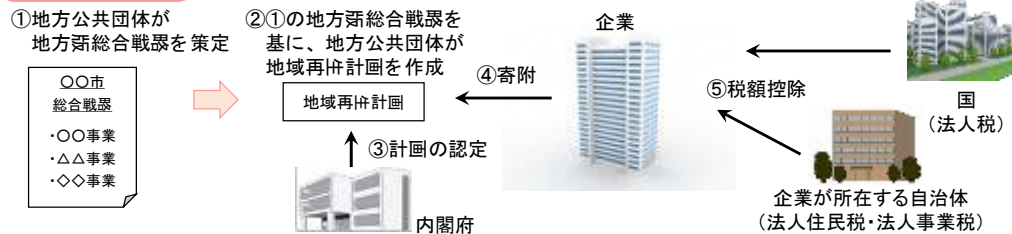
例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

- ・ 企業版ふるさと納税とは企業が自治体に寄付をすると税負担が軽減される制度のこと。
- ・ 寄附額10万円から可能
- ・ 自社の本社が所在する自治体への寄付や、財政力の高い自治体（地方交付税の不交付自治体など）への寄付が本制度の対象外

※控除金額については、各社でご確認ください。

活用の流れ



<2019年度において対象外となる地方公共団体>
 ◎東京都 ◎茨城県守谷市 ◎埼玉県戸田市、和光市、八潮市、三芳町 ◎千葉県市川市、浦安市、印西市 ◎東京都23特別区、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、国分寺市、国立市、多摩市、瑞穂町 ◎神奈川県川崎市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、海老名市、寒川町、中井町、愛川町

※内閣府地方創生推進事務局「企業版ふるさと納税活用事例集」より引用

◆ 地域再拵計画の認定を受けた地方公共団体の数: 45道府県655市町村(令和2年度第1回認定後)

出典：内閣府 地方創生推進事務局ホームページ

企業版ふるさと納税を活用 した福祉避難所整備

秋田県男鹿市、島根県浜田市
茨城県常総市

- 市の福祉避難所へ給電器、ラップポイントイレ等の物資を購入
- 男鹿市、常総市は、福祉避難所開設訓練を実施

福祉避難所の充実に向けて (一社) 福祉防災コミュニティ協会

- 2022年度、消防防災科学センターの委託により7県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施
- 実践的な福祉避難所開設・運営マニュアルをHPで無償公開
- 企業版ふるさと納税で福祉避難所訓練を数自治体で実施

福祉避難所開設訓練

秋田県男鹿市 2022年3月25日 写真提供：秋田魁新報社

→ 訓練の様子は福祉防災コミュニティ協会の
HPで見られます



地域と福祉との連携

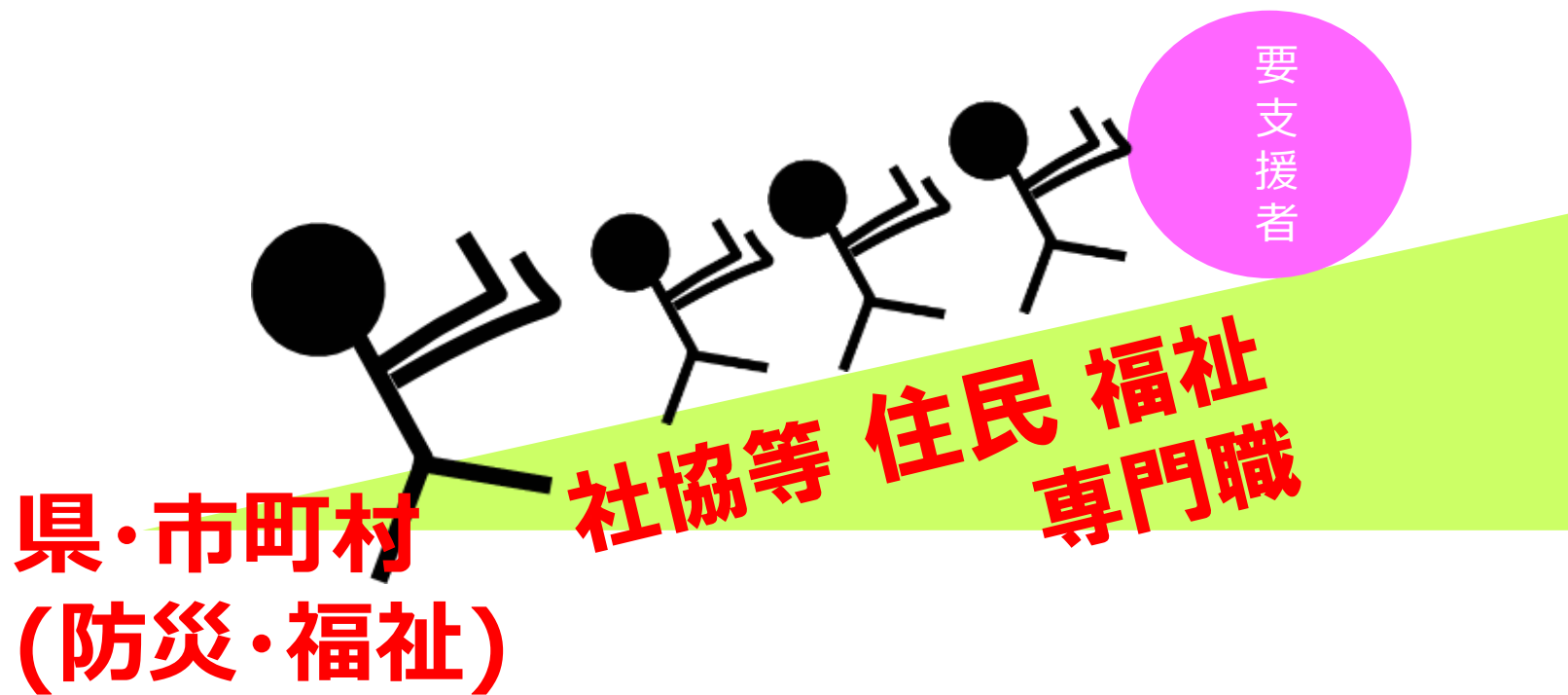
- 地域は近いが専門性が弱い、夜は大勢いるが昼はみんな外に出ている……
- 福祉は、すぐには駆けつけられない、昼は人手があるが、夜は少ない……

⇒一緒にやればいい！夜間の防災訓練を一緒に実施して課題と対策を話し合おう！

→水害避難時に傘をもってかけつけてくれた秋田の住民

→福祉施設の夜間訓練で避難誘導する長野の住民

福祉、防災、地域の連携で 「強み」を生かし「弱み」を補完 する避難支援体制



○災害用トイレを1回分でも備蓄している人は22.2%

○4日分以上備蓄している人は**4%**

○備蓄しない理由は「特にない」が45%

孤独なボウリング

R・パットナム（米国政治学会元会長）

ボウリングする人の数は減っていないが、みんなでする人は減り、一人が増えた！

◎ アメリカの組織社会への参加率

以前のアメリカは市民の「つながり」が強かった。そのつながりが幸福な暮らしと民主主義を支えてきた。

1960年頃は30% ⇒ 2000年頃は10%

⇒治安が悪化し、格差が大きくなり、社会の効率が悪くなった

決め手は「ご近所力」①

◎ 社会関係資本 Social Capital

人や地域のつながり = 信頼の絆 = ご近所力

社会関係資本は、人々を賢く、健康で、安全で、豊かにし、公正で安定した民主主義を可能とする。

※「ご近所力」は付加的価値ではない

※「ご近所力」こそが、安心安全の源泉

決め手は「ご近所力」②

- ◎ご近所が要支援者の主体性、生きがいを引き出す
- 津波が来たら死んでやると言っていたが、近所に声かけられて悪い足を引きづって訓練に参加する黒潮町の高齢者
- 福祉避難所訓練に来てと頼まれて、仲間を数十人連れて参加した永平寺町の車いすユーザー（NPO代表）
- 個別避難計画訓練に参加を頼まれて、杖をついて避難した岡山市の高齢者

人生を幸せにするのは何？

- ・75年間724人の男性を追跡し 休むことなく 仕事や家庭生活 健康などを記録
- ・1番目のグループはハーバード大学の2年生
- ・2番目のグループは極貧環境で育った少年達

人を健康で幸福にするのは
良い○○○○に尽きる

これからの防災は？

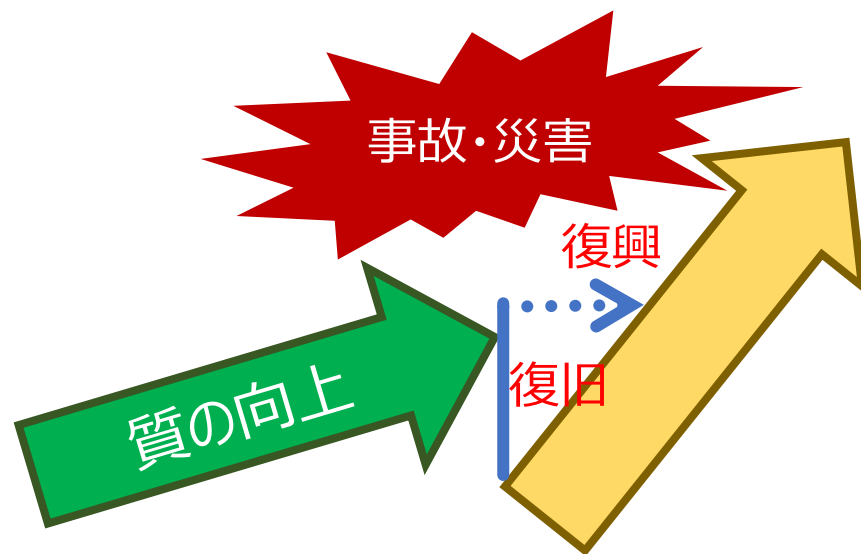
損失を減らす防災から、

「価値向上型」の防災へ

日常から人間関係、近所関係を良好にし、
誰一人取り残さない魅力ある地域社会 =
地域共生社会を作る

⇒災害や危機に「も」強くなる！

価値向上型防災の概念



- ◎ 価値向上への継続的取り組み
 - ◎ 質の低下を最小に、早期に復旧復興を進める
- ⇒ 両方を実現する防災・BCへの取り組み
- 今日を愛し、明日に備える**

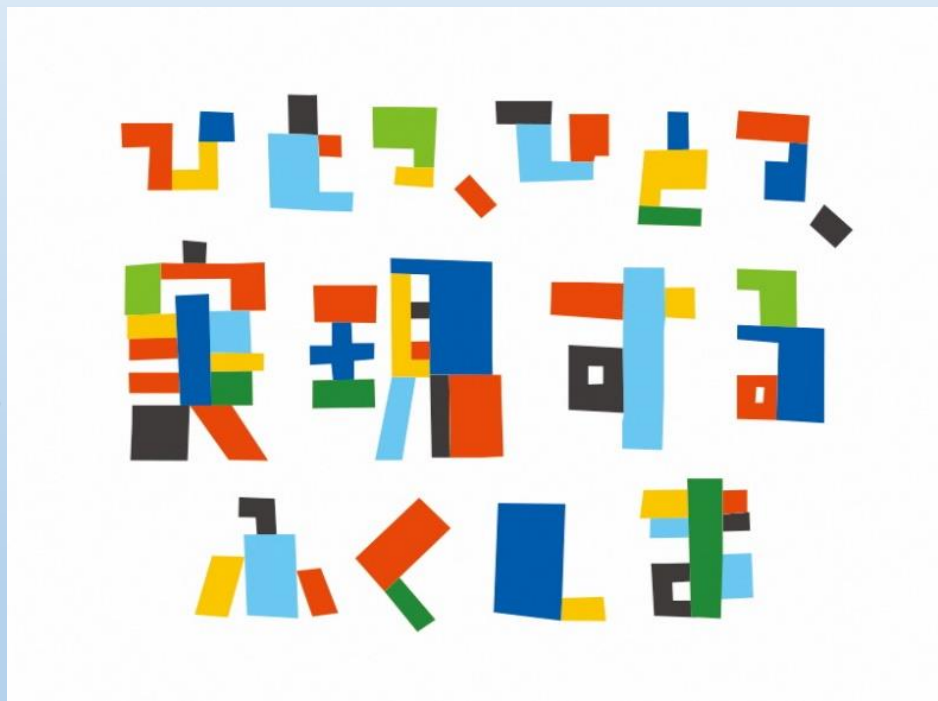
**Fight 闘う君の唄を闘わない奴
等が笑うだろう**

**Fight 冷たい水の中をふるえな
がら上っていけ**

**中島みゆき「ファイト！」から
ご清聴ありがとうございました！**

R6いのちを守る事業

マイ避難推進講習会



令和6年7月20日 福島県危機管理課

れいわがんねんひがしにほんたいふう

もとみやしこうずい

令和元年東日本台風 (本宮市)



れいわ ねん がつ にち にち おおあめ し

令和5年9月8日～9日の大雨（いわき市）



れいわがんねんひがしにほんたいふう にほんまつし

令和元年東日本台風（二本松市）

LIVE 二本松市 土砂災害現場





「マイ避難」とは？



「日頃から一人一人が自分に合った

適切な避難行動について考え、備えること」

→住んでいる場所、環境、家族構成などは

「ひとそれぞれ」 だからです。



マイ避難シート



=“自分にあつた”避難行動計画

どのタイミングでどのような行動をとるべきか考えておけば、
いざというときに速やかに避難することができる！

マイ避難シート→

マイ避難シート
～ぼく・わたしの「マイ避難」～

災害リスク

あり 洪水による浸水の危険性あり (_____ m～ _____ m) 土砂災害による危険性あり → **原則自宅外に避難**

なし → **自宅待機可** (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

※必ず、お住まいの自治体から避難情報を確認ください。

	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情 (気象庁) ※大雨の数日～約一日前程度	大雨・洪水高潮注意 (気象庁) ※大雨の半日～数時間前程度	高齢者等避難 ※大雨の数時間～2時間前程度	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」					『命を守る行動を』

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

貴重品	防災用品	日用品	その他
<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> スマートフォン <input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> 防災食・水 <input type="checkbox"/> 防災用品 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 電池交換式バッテリー	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 保冷剤 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 重要書類 <input type="checkbox"/> 鍵 <input type="checkbox"/> ペット用品 <input type="checkbox"/> お菓子 <input type="checkbox"/> お風呂用品 <input type="checkbox"/> お風呂用タオル <input type="checkbox"/> お風呂用マット

6

マイ避難シート作成の流れ

① ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

マイ避難シート (自主防災組織員)
～ぼく・わたしのマイ避難シート～

【自宅】災害リスク

あり なし

洪水による浸水の危険性あり (0.5 m ~ 3.0 m) 土砂災害による危険性あり

→ 原則自宅外に避難

自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近: 台風が近づいてきたら、早く避難しよう!

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何を」するか	<p>夫 天気予報調べ</p> <p>妻 必要品買い出し</p>	<p>夫 雨量、水位確認</p> <p>妻 携帯電話充電</p>	<p>妻 避難服、靴、リュック準備</p>	<p>夫 ガス栓締め、電源切り、鍵かけ</p>	「命を守る行動を」

② 避難のタイミングを考える

③ 避難に向けた行動を考える ↑

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号
福島 太郎	024(521)1111

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

持ち出さるものチェックシート

<input checked="" type="checkbox"/> 現金・水	<input checked="" type="checkbox"/> アルコール消毒液	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急用品	<input checked="" type="checkbox"/> 避難用カード
<input checked="" type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 体温計	<input checked="" type="checkbox"/> 避難服	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急セット
<input checked="" type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯充電器
<input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯	<input checked="" type="checkbox"/> 電池	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯充電器
<input checked="" type="checkbox"/> 電池式懐中電灯	<input checked="" type="checkbox"/> 電池	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯充電器
<input checked="" type="checkbox"/> 電池式懐中電灯	<input checked="" type="checkbox"/> 電池	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯充電器

④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える ↑

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

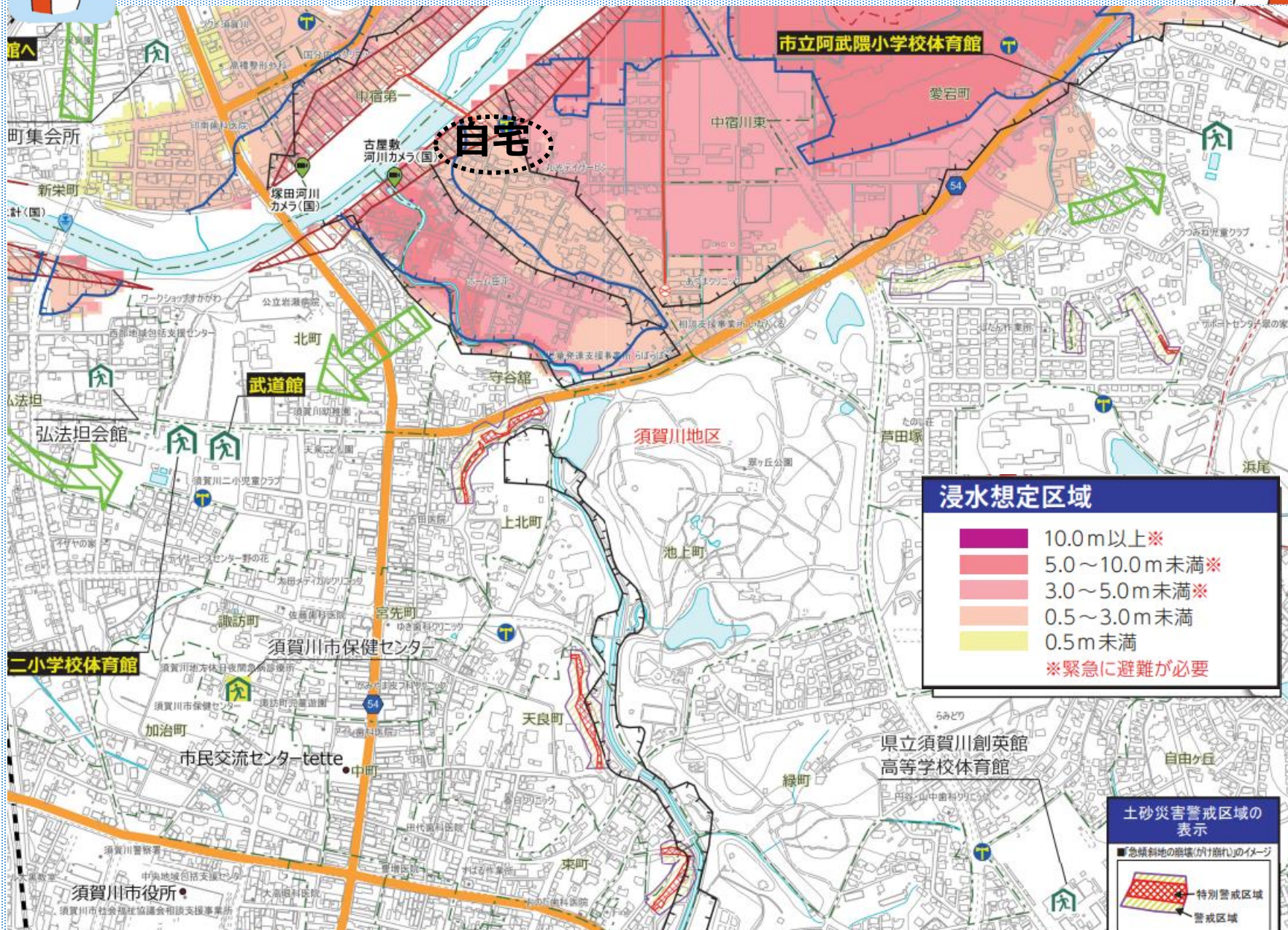
ハザードマップで自宅の場所を確認してみましょう。

自宅の場所は、色がぬられていますか？





①ハザードマップで災害リスクを知る



れいわがんねんひがしにほんたいふう すかがわし

令和元年東日本台風（須賀川市）

令和元年東日本台風須賀川市被災の記録

古屋敷地内





ハザードマップの確認



自宅の場所に
色がついていた場合



災害の危険！！
原則自宅の外に避難！！

自宅の場所に
色がついていない場合



自宅待機

ただし、

ひく とち がけ など す かた
低い土地や崖のそば等にお住まいの方は
しちょうそん ひなんじょうほう さんこう
市町村からの避難情報を参考に
ひつよう おう ひなん
必要に応じて避難してください



①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る



じたく ばしょ いろ ばあい
自宅の場所に色がついている場合

マイ避難シート (自主防災組織員)
～ほく・わたしのマイ避難～

【自宅】
災害リスク

あり
洪水による浸水の危険性あり (0.5 m～3.0 m) → 原則自宅外に避難
土砂災害による危険性あり

なし → 自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最新 台風などの 豪雨災害が 多いから

今後悪化するおそれあり 災害のおそれ高い 災害発生または切迫

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁) ※大雨の数日～約一日前程度	大雨・洪水高潮注意 (気象庁) ※大雨の半日～数時間前程度	高齢者等避難 ※大雨の数時間～2時間前程度	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」	自宅				避難完了の連絡等 「命を守」

チェックを入れよう!



ひなん 避難する場所について

ばしよ



避難所名



洪水・土砂災害時に
使用する指定避難所

避難所名



その他の指定避難所

避難所名



福祉避難所

避難場所名



指定緊急避難場所

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難する前に、避難所の開設状況を確認しましょう。

→「福島県防災アプリ」では、
避難所の開設状況や混雑状況などの情報を確認することができます！



開設中の避難所



空き



混雑



満員



開設



避難所（指定避難所）



避難場所（津波を対象としない）

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難する場所について

避難所(避難場所)への避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅がない。



市町村が
開設した避難所
(避難場所)へ。



親戚・知人宅や ホテル・旅館への避難

- 親戚・知人宅やホテル・旅館が
水害・土砂災害の危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅がある。



親戚・知人宅や
ホテル・旅館に
身を寄せる。
親戚・知人には日頃から
相談しておきましょう。



在宅避難

- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。
- 居室が浸水深より高い。
- 水・食料等の備えが十分で水がひくまで
我慢できる。



自宅にとどまる。
(自宅内の安全な
場所へ移動)

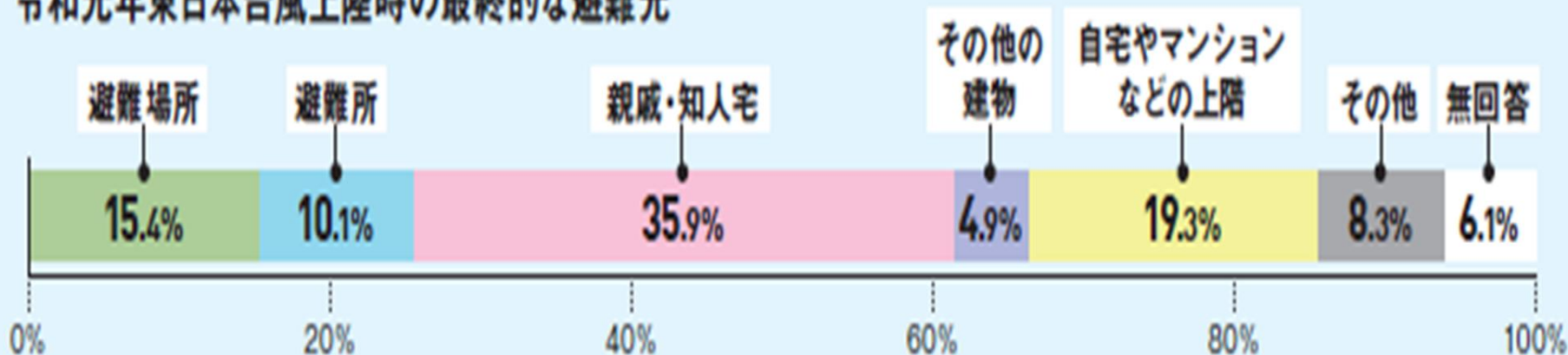


①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難先は「親戚・知人宅」が多い傾向

→親戚・知人に日頃から相談しておくことが大切です。

令和元年東日本台風上陸時の最終的な避難先



出典：福島県台風第19号等に関する災害対応検証委員会「令和元年台風19号等に関する災害対応検証報告書」

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

住んでいる地区のハザードマップで
避難経路を考えてみましょう

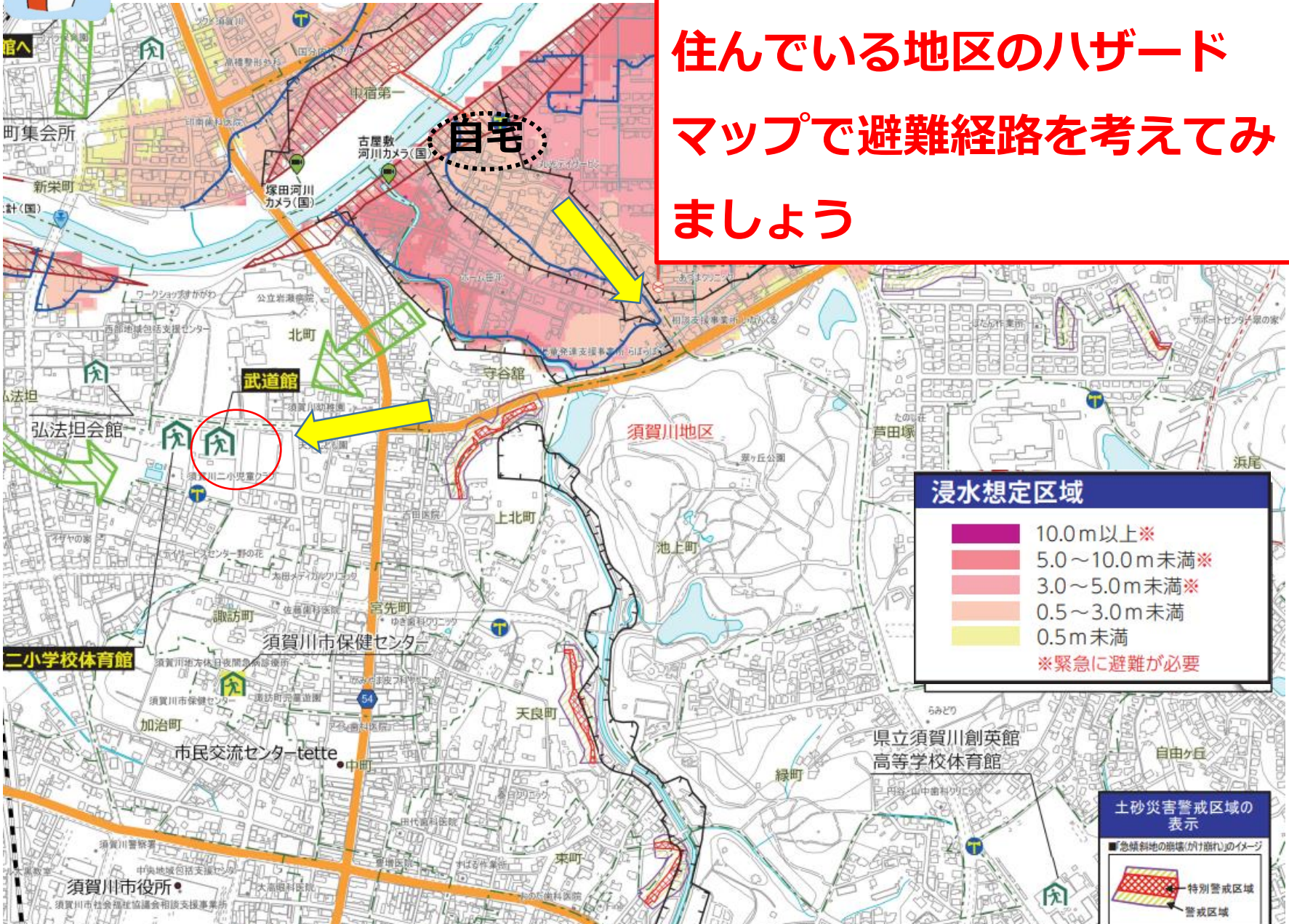




①ハザードマップで災害リスクを知る



住んでいる地区のハザードマップで避難経路を考えてみましょう





に かくにん 逃げるタイミングの確認



警戒レベル		新たな避難情報等
5	 <p>災害発生 又は切迫</p>	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1
～～<警戒レベル4までに必ず避難！>～～		
4	 <p>災害の おそれ高い</p>	ひなんしじ 避難指示 ※2
3	 <p>災害の おそれあり</p>	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難 ※3
2	 <p>気象状況悪化</p>	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 <p>今後気象状況 悪化のおそれ</p>	早期注意情報 (気象庁)

けいかい

警戒レベル3

けいかい

警戒レベル4

けいかい

警戒レベル5

こうれいしゃとうひなん

高齢者等避難

ひなんしじ

避難指示

きんきゅうあんぜんかくほ

緊急安全確保

皆さんはいつ逃げますか？

ご自身または一緒に避難する方は
避難に時間がかかりますか？

はい

警戒レベル3

(高齢者等避難)

までに避難！

いいえ

警戒レベル4

(避難指示)

までに避難！

※早めに逃げるのは問題ありません



②避難のタイミングを考える



いつ避難するか決めたら、

きけん ばしよ ひなん かいし
危険な場所から避難開始

のシールを貼りましょう。

マイ避難シール (自主防災組織員) ~ぼく・わたしの避難~

【自宅】
災害リスク

あり 洪水による浸水の危険性あり (0.5 ~ 3.0 m) → 原則自宅外に避難
土砂災害による危険性あり

なし → 自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖そば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近、台風などの豪雨災害が多いため

	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情 (気象庁) ※大雨の数日~約一日前程度	大雨・洪水高潮注意 (気象庁) ※大雨の半日~数時間前程度	高潮等避難 ※大雨の数時間前程度	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」	自宅		きけん ばしよ ひなん かいし 危険な場所から避難開始	きけん ばしよ ひなん かいし 危険な場所から避難開始	避難完了の連絡等 「命を守



とるべき行動の確認



マイ避難シート (自主防災組織員)
～ぼく・わたしの避難～

作成例

【自宅】
災害リスク

あり なし

洪水による浸水の危険性あり (3.0 m～5.0 m)
 土砂災害による危険性あり

→ **原則自宅外に避難**

自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近
台風が
多いから

	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何を」するか	<p>夫 天気予報調べ</p> <p>妻 必要品買い出し</p>	<p>夫 雨量、水位確認</p> <p>妻 避難服、靴、リュック準備</p> <p>妻 携帯電話充電</p>	<p>夫 ガス栓締め、電源切り、鍵がけ</p> <p>危険な場所から避難開始</p>		「命を守る行動を」

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

<input type="checkbox"/> 現金・水	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アルコール消毒液	<input type="checkbox"/> 避難服 <input type="checkbox"/> 避難セット	<input type="checkbox"/> 避難先 <input type="checkbox"/> 避難先
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> キーホルダー <input type="checkbox"/> ペット用品 <input type="checkbox"/> 充電電池 <input type="checkbox"/> 電池交換式バッテリー	<input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> 現金・クレジットカード <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 食料・飲料・衛生用品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 折り畳み寝袋	<input type="checkbox"/> 避難先 <input type="checkbox"/> 避難先	<input type="checkbox"/> 避難先 <input type="checkbox"/> 避難先

④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える

必要なものはひとそれぞれちがいます。
 必要なものを日頃から考え、準備しておきましょう。

非常持ち出し品

避難時に持ち出すものです。
 リュックサックなどに入れておきましょう。

食料など 非常食・水	感染症対策 マスク	アルコール消毒液
衣類など レインコート	下着	毛布・ブランケット
体温計 体温計	ウェットティッシュ	
防災用品 携帯ラジオ	懐中電灯	日用品 メガネ・コンタクトレンズ
ホイッスル	ヘッドライト	タオル
乾電池	電池交換式バッテリー	歯ブラシ・液体歯磨き
常備薬	救急セット	ポリ袋・レジ袋
通帳・印鑑・カード		

非常用備蓄品

災害発生後、復旧するまでの数日間を自宅で過ごすために、最低限必要なものです。できれば1週間分(少なくとも3日分)を準備しておきましょう。

食料など 非常食・水 (水は1人あたり1日3ℓ×3日=9ℓ)	カセットコンロ カセットボンベ	日用品 ウェットティッシュ	体拭き ウェットティッシュ	トイレトペーパー
ラップ・紙皿・割りばし	ライター	携帯トイレ	新聞紙 (保温材・敷物などに)	タオル
	乾電池	電池交換式バッテリー		

④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える

マイ避難シート (自主防災組織員)
～ぼく・わたしのマイ避難～

【自宅】
災害リスク

あり 洪水による浸水の危険性あり (0.5 m～ 3.0 m) 土砂災害による危険性あり なし

原則自宅外に避難

自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近、台風などの豪雨災害が多いから

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」	<p>夫 天気予報調べ</p> <p>妻 必要品買い出し</p>	<p>夫 雨量、水位確認</p> <p>妻 携帯電話充電</p>	<p>危険な場所から避難開始</p> <p>妻 避難服、靴、リュック準備</p> <p>夫 ガス栓締め、電源切り、鍵かけ</p>		「命を守る行動を」

名前や電話番号を記入したり、チェックを入れたりして完成させましょう。

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号
福島 太郎	024(521)1111

優先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

飲料水	<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水	現金	<input checked="" type="checkbox"/> 現金
貴重品	<input checked="" type="checkbox"/> 貴重品	避難用品	<input checked="" type="checkbox"/> 避難用品
その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他	その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

飲料水	<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水	現金	<input checked="" type="checkbox"/> 現金
貴重品	<input checked="" type="checkbox"/> 貴重品	避難用品	<input checked="" type="checkbox"/> 避難用品
その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他	その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他

土砂災害について

がけ崩れ^{くず}



しゃめん ちひょう ちか ぶぶん
斜面の地表に近い部分が、
あまみず しんとう じしんとう
雨水の浸透や地震等で
ゆるみ、突然、崩れ落ちる
とつぜん くず お
現象。崩れ落ちるまでの
げんしょう くず お
時間^{じかん}がすごく短い^{みじか}。

地すべり^じ



しゃめん いちぶ ぜんぶ
斜面の一部あるいは全部が
ちかすい えいきょう
地下水の影響と
じゅうりょく
重力によってゆっくりと
しゃめん かほう いどう げんしょう
斜面下方に移動する現象。
つち
(土のかたまりの移動量^{いどうりょう}が大きい^{おお}。)

土石流^{どせきりゅう}



さんぶく かわぞこ いし
山腹や川底の石、
どしゃ ながあめ
土砂が長雨や
しゅうちゅうごう
集中豪雨などによって
いっき かりゅう
一気に下流へと
お なが げんしょう
押し流される現象。

命を守るため、

「福島県防災アプリ」をダウンロードしましょう！



主なアプリの機能



プッシュ通知

避難情報や気象情報などの防災情報をプッシュ通知でお知らせします！



ハザードマップ

今いるところの危険度情報が確認できたり、各種ハザードマップを表示できます！



避難所検索

今いるところの近くにある避難所が検索できます（地図表示は通信障害時でも利用可能です）！



避難計画

防災ガイドブックの閲覧や、自分に合った避難計画「マイ避難シート」が作成できます！



安否登録・安否確認

災害時に、家族や友だちの安否情報の確認ができます！

ダウンロードはこちら **無料**



QRコードを
読み込んでね！



ダウンロードの方法



QRコード

ダウンロードサイトの表示

防災の基本⇒自助（まず自分自身の命を守ること）



災害は明日、やってくるかもしれません。

皆さまが災害を「**自分事**」と捉え、**命を守るための行動**に取り組んでくださることを心より願っています。

ご静聴ありがとうございました！

「福島県地域防災サポーター制度」 (令和6年度新設)



①マイ避難推進講習会

②自主防災組織の設立・活動支援

③地区防災計画の作成支援

この講師となっ
ただける方を
募集中！

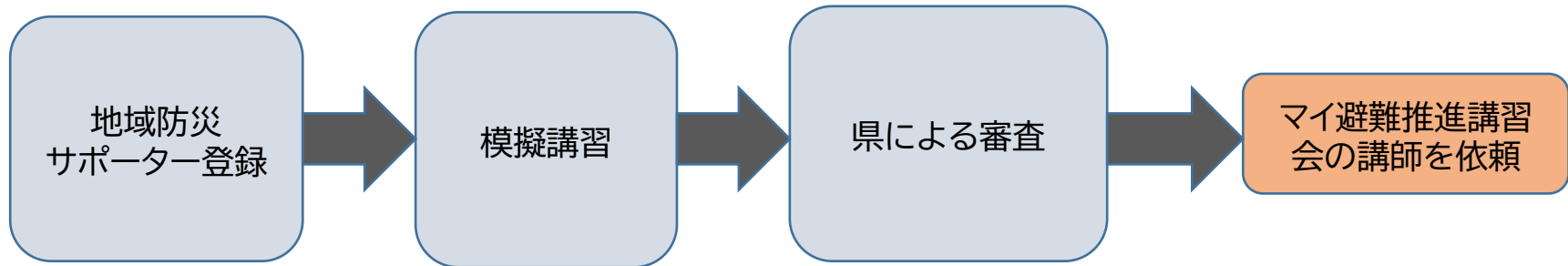
マイ避難推進講習会とは？



- 自分に合った適切な避難行動について
考えていただく講習会
- 県内各地で開催
- 自分に合った避難計画
「マイ避難シート」を作成



講師になるまでの流れ



※講師となった場合、一連の業務を担当していただく

※要件に該当する場合、謝金等をお支払い

ご検討のほど
よろしくお願いいたします！

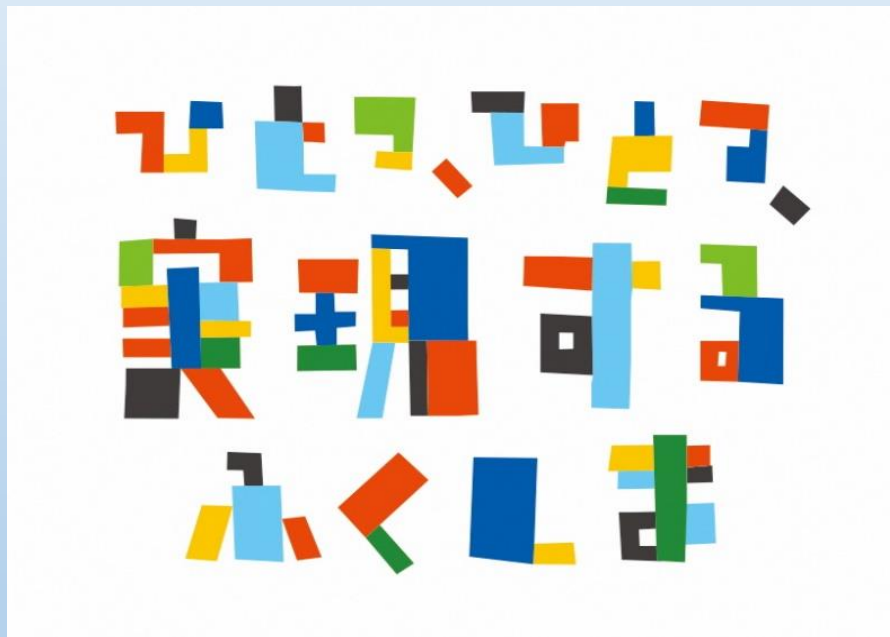


お問い合わせ

福島県危機管理課

電話024-521-8651（担当：川島）

地域防災サポーターによる マイ避難推進講習会



令和6年12月21日 福島県危機管理課

れいわがんねんひがしにほんたいふう もとみやしこうずい

令和元年東日本台風 (本宮市)



れいわ ねん がつ 日に 日に おおあめ し

令和5年9月8日～9日の大雨（いわき市）



れいわがんねんひがしにほんたいふう にほんまつし

令和元年東日本台風（二本松市）

LIVE 二本松市 土砂災害現場

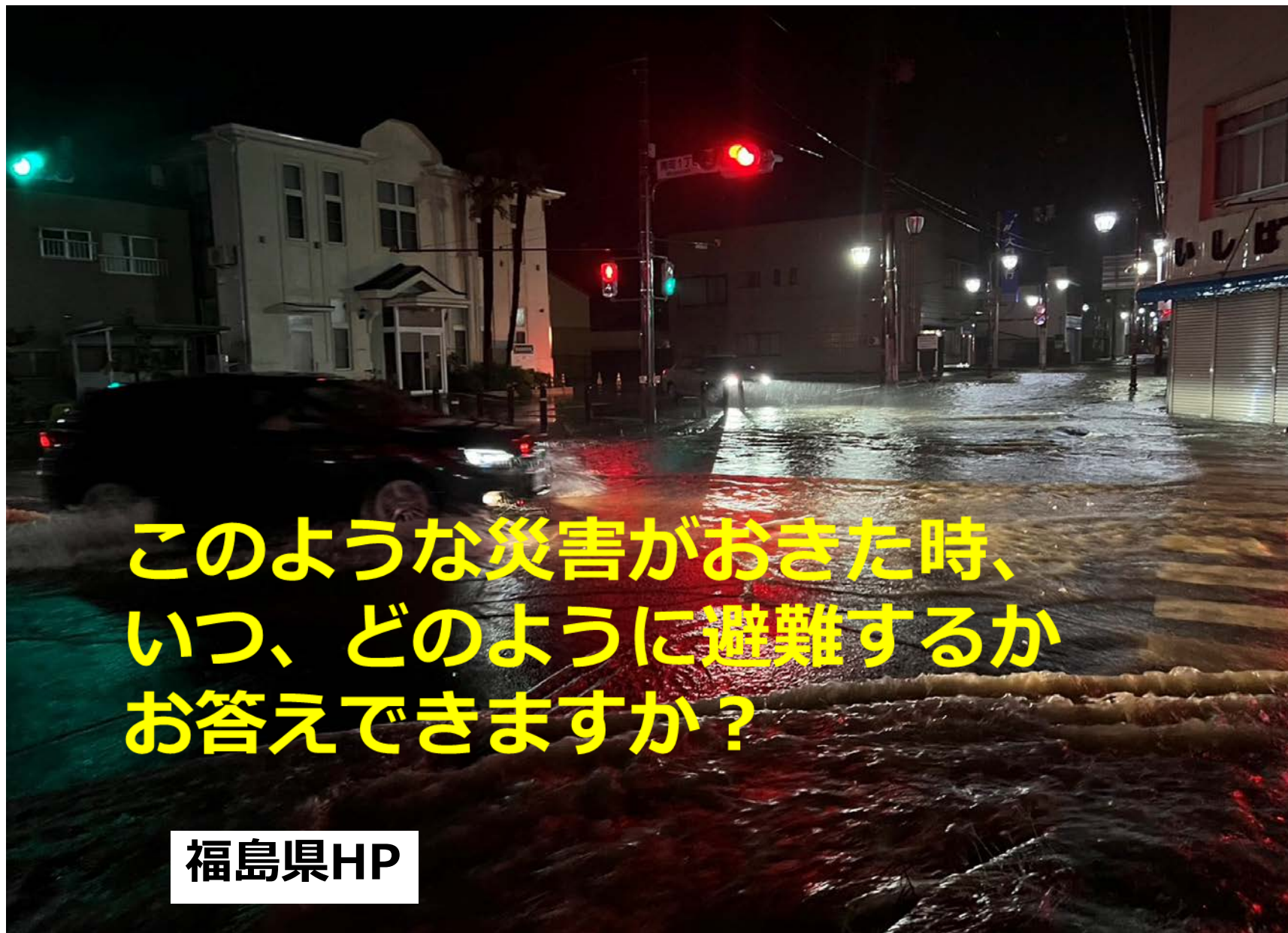


令和5年9月8日～9日の大雨（南相馬市）



福島県HP 川の増水（小高川氾濫）

令和5年9月8日～9日の大雨（南相馬市原町区 南町）



このような災害がおきた時、
いつ、どのように避難するか
お答えできますか？

福島県HP



「マイ避難」とは？



「日頃から一人一人が自分に合った

適切な避難行動について考え、備えること」

→住んでいる場所、環境、家族構成などは

「ひとそれぞれ」 だからです。



じぶん

ひなん

マイ避難シート



ひなんこうどうけいかく

“自分にあった”避難行動計画

ひなん

さくせい

→「マイ避難シート」を作成しよう！

いざというときに速やかに避難することができる！

すみ

ひなん

マイ避難シート
～ぼく・わたしの「マイ」シート～

災害リスク

あり 洪水による浸水の危険性あり (____ m～ ____ m) 土砂災害による危険性あり
なし → **自宅待機可** (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

原則自宅外に避難

最悪の事態に備えて、避難場所をあらかじめ決めておく。

	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情(気象庁) ※大雨の数日～約一日前程度	大雨・洪水高潮注意(気象庁) ※大雨の半日～数時間前程度	高齢者等避難 ※大雨の数時間～2時間前程度	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」					『命を守る行動を』

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

貴重品	防災用品	日用品	その他
<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> スマートフォン <input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> 防災食・水 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 電卓	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> メガネ・コンタクトレンズ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 洗面剤 <input type="checkbox"/> 折り紙・レジャー	<input type="checkbox"/> 鍵 <input type="checkbox"/> 現金カード <input type="checkbox"/> 避難用靴 <input type="checkbox"/> 避難用ヘルメット

12



それぞれの家や自分に合ったものを考えっぺ。

マイ避難シート作成の流れ

① ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

マイ避難シート (自主防災組織員)
～ぼく・わたしのマイ避難シート～

【自宅】災害リスク

あり なし

洪水による浸水の危険性あり (0.5 m ~ 3.0 m) 土砂災害による危険性あり

→ 原則自宅外に避難

自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近: 台風が近づいてきたら、早く避難しよう!

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何を」するか	<p>夫 天気予報調べ</p> <p>妻 必要品買い出し</p>	<p>夫 雨量、水位確認</p> <p>妻 携帯電話充電</p>	<p>妻 避難服、靴、リュック準備</p>	<p>夫 ガス栓締め、電源切り、鍵かけ</p>	「命を守る行動を」

② 避難のタイミングを考える

③ 避難に向けた行動を考える ↑

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号
福島 太郎	024(521)1111

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

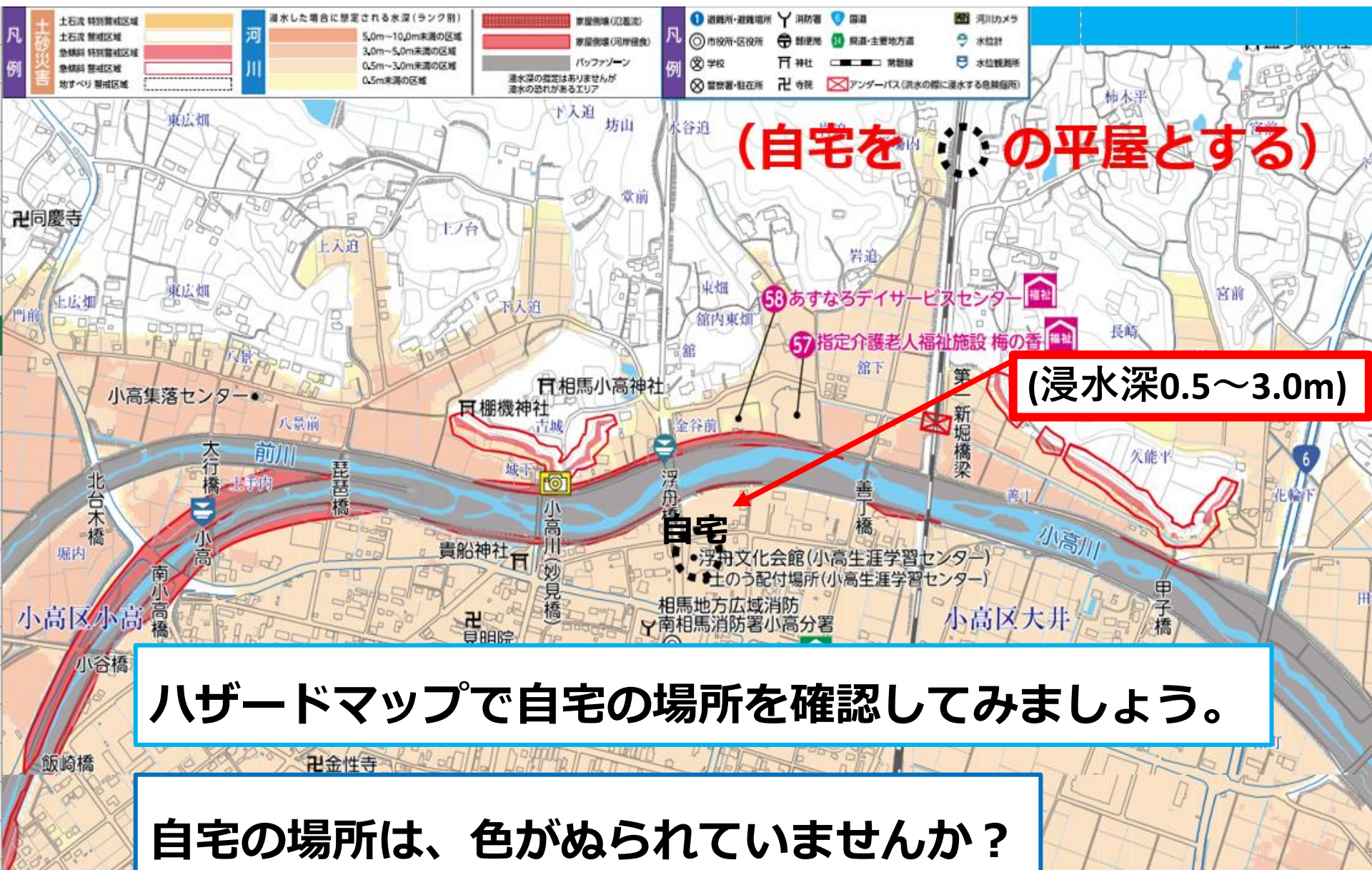
持ち出すものチェックシート

<input checked="" type="checkbox"/> 現金・水	<input checked="" type="checkbox"/> アルコール消毒液	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急用品	<input checked="" type="checkbox"/> 避難用カード
<input checked="" type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 体温計	<input checked="" type="checkbox"/> 避難服	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急セット
<input checked="" type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯充電器
<input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯	<input checked="" type="checkbox"/> 電池	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳みマット	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋
<input checked="" type="checkbox"/> 電池式懐光電池	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋
<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋	<input checked="" type="checkbox"/> 折り畳み寝袋

④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える ↑

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

(自宅を  内の平屋とした場合の避難)



ハザードマップで自宅の場所を確認してみましょう。

自宅の場所は、色がぬられていますか？

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

自宅の場所に
色がついていた場合



災害の危険！！
避難情報を基に、
早めに避難！！

自宅の場所に
色がついていない場合



自宅待機

ただし、

低い土地や崖のそばなどに住んでいる方は
市町村からの避難情報を参考に
必要に応じて避難してください。



① 自宅の災害リスクを知る ハザードマップを確認

ひょうじ
リスク表示にもとづきチェックを入れる

マイ避難シート (自主防災組織員)

災害リスク

あり 水による浸水の危険性あり (0.5 m~3.0 m) **原則自宅外に避難**

土砂災害による危険性あり

なし **自宅待機可** (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

表示ある方は浸水深記入

※ 雨風などの豪雨災害が多いから

避難情報	今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	気象状況悪化 大雨・洪水高潮注意情報 (気象庁)	災害のおそれあり 高齢者等避難	災害のおそれ高い 避難指示	災害発生または切迫 緊急安全確保
行動「誰が」「何を」するか					「命を守る行動を」

家族や大切な人の連絡先		避難先になりえる知人・親戚の連絡先		持ち出すものチェックシート			
名前	電話番号	名前	電話番号	現金	貴重品	薬品	その他
				<input type="checkbox"/> 現金書留	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アルコーン消毒液	<input type="checkbox"/> 救急薬 <input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 避難用-カード
				<input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> 防災用品 <input type="checkbox"/> 防災グッズ	<input type="checkbox"/> 懐電	<input type="checkbox"/> ラジオ
				<input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> メガネ-コンタクトレンズ	<input type="checkbox"/> レインコート	
				<input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 靴(スリッパ・履き慣れた)	<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> 防寒-ブランケット
				<input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> 洗面用品 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ		
				<input type="checkbox"/> 重要書類	<input type="checkbox"/> 折り紙-レジ袋		

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

最寄りの避難先はどこですか？

4

「避難する場所」

～避難する場所をあらかじめ確認しよう～

市町村が、災害時の避難先を定めています。ハザードマップなどで最寄りの避難先を確認してください。安全な場所に親戚・知人宅がある場合は、緊急時の避難先としての滞在について日頃から相談しておきましょう。

指定緊急避難場所



津波や洪水等の危険から、生命の安全を確保するため緊急に避難するところ。その場所にそのまま滞在することは想定されていません。

- 公園、学校のグラウンド、ビル等

指定避難所



災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または自宅が被災した方が一時的に滞在するところ。

- 学校の体育館、公民館等

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

最寄りの避難先はどこですか？



福祉避難所

災害時において、指定避難所での生活が困難な介護や特別な配慮を必要とする高齢者や障がいのある方などの要配慮者を受け入れるため、特別に開設される二次的避難所です。

もよ ひなんさき かくにん
最寄りの避難先について確認しておきましょう。

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難する前に、避難所の開設状況を確認しましょう。

→「福島県防災アプリ」では、
避難所の開設状況や混雑状況などの情報を確認することができます！



開設中の避難所



空き



混雑



満員



開設



避難所（指定避難所）



避難場所（津波を対象としない）

①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難する場所について

避難所(避難場所)への避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅がない。



市町村が
開設した避難所
(避難場所)へ。



親戚・知人宅や ホテル・旅館への避難

- 親戚・知人宅やホテル・旅館が
水害・土砂災害の危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅がある。



親戚・知人宅や
ホテル・旅館に
身を寄せる。
親戚・知人には日頃から
相談しておきましょう。



在宅避難

- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。
- 居室が浸水深より高い。
- 水・食料等の備えが十分で水がひくまで
我慢できる。



自宅にとどまる。
(自宅内の安全な
場所へ移動)

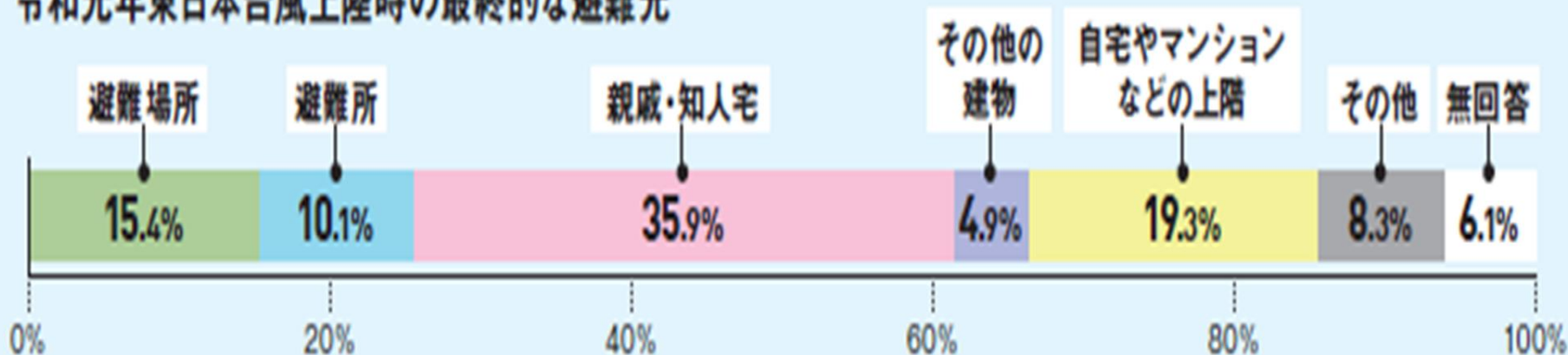


①ハザードマップで自宅の災害リスクを知る

避難先は「親戚・知人宅」が多い傾向

→親戚・知人に日頃から相談しておくことが大切です。

令和元年東日本台風上陸時の最終的な避難先



出典：福島県台風第19号等に関する災害対応検証委員会「令和元年台風19号等に関する災害対応検証報告書」



② 避難のタイミングを考える



警戒レベルを知ろう！

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	•避難指示(緊急) •避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	<b>避難準備・ 高齢者等避難開始</b>
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

✓ 警戒レベルを知っていれば、  
**避難のタイミングを判断できる！**

# 皆さんはいつ逃げますか？

ご自身または一緒に避難する方は  
避難に時間がかかりますか？

はい

警戒レベル3

(高齢者等避難)

までに避難！

いいえ

警戒レベル4

(避難指示)

までに避難！

※早めに逃げるのは問題ありません





## ②避難のタイミングを考える



いつ避難するか決めたら、

きけん ばしよ ひなん かいし  
危険な場所から避難開始

のシールを貼りましょう。

マイ避難シール (自主防災組織員) ~ぼく・わたしの避難~

**【自宅】**

災害リスク

あり

洪水による浸水の危険性あり (0.5 ~ 3.0 m) → 原則自宅外に避難

土砂災害による危険性あり

なし → 自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖そば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近、台風などの豪雨災害が多いため

	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情 (気象庁) ※大雨の数日~約一日前程度	大雨・洪水高潮注意 (気象庁) ※大雨の半日~数時間前程度	高潮等避難 ※大雨の数時間前程度	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」	自宅		きけん ばしよ ひなん かいし 危険な場所から避難開始	きけん ばしよ ひなん かいし 危険な場所から避難開始	避難完了の連絡等 「命を守



# ④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える

必要なものはひとそれぞれちがいます。  
 必要なものを日頃から考え、準備しておきましょう。

## 非常持ち出し品

避難時に持ち出すものです。  
 リュックサックなどに入れておきましょう。

<b>食料など</b>  非常食・水	<b>感染症対策</b>  マスク	 アルコール消毒液
<b>衣類など</b>  レインコート	 下着	 毛布・ブランケット
<b>防災用品</b>  携帯ラジオ	 懐中電灯	<b>日用品</b>  メガネ・コンタクトレンズ
 ホイッスル	 ヘッドライト	 タオル
 生理用品	 携帯トイレ	 歯ブラシ・液体歯磨き
 乾電池	 電池交換式バッテリー	 携帯トイレ
<b>医薬品</b>  常備薬	<b>貴重品</b>  救急セット	 通帳・印鑑・カード

## 非常用備蓄品

災害発生後、復旧するまでの数日間を自宅で過ごすために、最低限必要なものです。できれば1週間分(少なくとも3日分)を準備しておきましょう。

<b>食料など</b>  非常食・水 (水は1人あたり1日3ℓ×3日=9ℓ)	 カセットコンロ カセットボンベ	<b>日用品</b>  ウエットティッシュ	 体拭き ウエットティッシュ	 トイレトペーパー
 ラップ・紙皿・割りばし	 ライター	 携帯トイレ	 新聞紙 (保温材・敷物などに)	 タオル
 乾電池	 電池交換式バッテリー			

# ④ 非常時の連絡先、持ち出し品を考える

マイ避難シート (自主防災組織員)  
～ぼく・わたしのマイ避難～

【自宅】  
災害リスク

あり 洪水による浸水の危険性あり (0.5 m～ 3.0 m) 土砂災害による危険性あり → 原則自宅外に避難

なし → 自宅待機可 (周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください)

最近、台風などの豪雨災害が多いから

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」	<p>夫 天気予報調べ</p> <p>妻 必要品買い出し</p>	<p>夫 雨量、水位確認</p> <p>妻 携帯電話充電</p>	<p>危険な場所から避難開始</p> <p>妻 避難服、靴、リュック準備</p> <p>夫 ガス栓締め、電源切り、鍵かけ</p>		「命を守る行動を」

名前や電話番号を記入したり、チェックを入れたりして完成させましょう。

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号	名前	電話番号
福島 太郎	024(521)1111		

優先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号	名前	電話番号

持ち出すものチェックシート

- 飲料水  食料・水
- 避難用品  スク  アルコール消毒薬  体温計  ウェットティッシュ
- 貴重品  現金  重要書類  免許証・保険カード
- 日用品  携帯ラジオ  懐中電灯  ノイズブル  ヘッドライト  乾電池  電線交換用バッテリー
- 日用品  ガネ・コンタクトレンズ  タオル  歯ブラシ・後歯磨き粉  生理用品  携帯トイレ  折り畳みレジャー
- 衣類  下着  防寒・ブランケット

# 土砂災害について

## がけ崩れ^{くず}



しゃめん ちひょう ちか ぶぶん  
斜面の地表に近い部分が、  
あまみず しんとう じしんとう  
雨水の浸透や地震等で  
ゆるみ、突然、崩れ落ちる  
とつぜん くず お  
現象。崩れ落ちるまでの  
げんしょう くず お  
時間^{じかん}がすごく短い^{みじか}。

## 地すべり^じ



しゃめん いちぶ ぜんぶ  
斜面の一部あるいは全部が  
ちかすい えいきょう  
地下水の影響と  
じゅうりょく  
重力によってゆっくりと  
しゃめん かほう いどう げんしょう  
斜面下方に移動する現象。  
つち  
(土のかたまりの移動量^{いどうりょう}が大きい^{おお}。)

## 土石流^{どせきりゅう}



さんぶく かわぞこ いし  
山腹や川底の石、  
どしゃ ながあめ  
土砂が長雨や  
しゅうちゅうごう  
集中豪雨などによって  
いっき かりゅう  
一気に下流へと  
お なが げんしょう  
押し流される現象。



# ダウンロードの方法

サイトにアクセスして アプリをダウンロード

防災 防災情報、フル装備。

# 福島県防災アプリ

命を守る防災情報を  
プッシュ通知で  
随時お知らせ

災害時の行動を  
あらかじめ  
まとめておこう

災害時に家族等と  
位置を共有

スマートフォンのカメラで  
読み込んで  
今すぐダウンロード!

ハザードマップや  
避難所の情報を  
ラクラク把握

自備  
自動で作成

onelink.me X

QRコード

福島県防災アプリ  
Fukushima Prefecture

9月1日 (日)

土砂災害 警戒 (発表) >

【警戒: 発表】〇〇市

現在の情報

洪水浸水想定区域: 0.5m~3.0m 大雨警報 >

津波浸水想定区域: 0.5m~1.0m 高潮警報等注意 >

土砂災害警戒区域: 該当なし

防災情報・お知らせ

マイ避難シート 防災マップ

グループ安否 備蓄品リスト

トップ リンク メニュー

※2024年9月1日時点の画面イメージです。  
※今後、バージョンアップに伴い画面の様子が  
変更になる可能性があります。

< Today

防災 福島県防災アプリ  
福島県公式防災アプリ

タップ

7件の評価 3.0 ★★☆☆☆

4+ 歳

ランキング #38 天気 Fukushima

アップデート バージョン履歴

バージョン1.0.1 1週間前

軽微な修正を行いました。

プレビュー

5:31 福島県防災アプリ Fukushima Prefecture

3月14日 (木) 最高気温 17℃ 最低気温 5℃ 晴れ時々くもり

6:16 福島県防災アプリ Fukushima Prefecture

3月14日 (木) 洪水警報 【洪水警報】氾濫警戒情報

ダウンロードサイトの表示

# 防災の基本⇒自助（まず自分自身の命を守ること）



災害は明日、やってくるかもしれません。

皆さまが災害を「**自分事**」と捉え、  
**命を守るための行動**に取り組んでくださ  
ることを心より願っています。

ご静聴ありがとうございました！



# 災害図上訓練 DIG

**Disaster** (災害)

**Imagination** (想像)

**Game** (ゲーム)

# 役割決め (2分で)

司 会  
記 録  
発 表

## 地図作業（災害リスクや避難所の場所を明示 10分間）

浸水しそうな地域 → 青色の油性ペンで囲みを入れる。

（災害のときに支援が必要な方の家→白色シール）

避難所 → 緑色のシールを貼る。

避難経路 → 黄色のマジックで通る道をなぞる。

誰が → 黄色の付箋に書く

何を → 青い付箋に書く

# 支援が必要な方

班	場所	状況
A さん	赤木小学校向かい	高齢者1人暮らし 歩行不可 車なし
B さん	逢瀬川近く、県道 296号沿い	高齢者1人暮らし 歩行遅い 車なし

# 社会特性と地域特性

- **社会特性… 黄色の付箋に記入**

例：お年寄りが多い、車を運転できない人が多い  
井戸がある、電柱が多い、コンビニが多い等

- **地域特性… 青色の付箋に記入**

例：雨が降ると道路に水が出る、地盤が固い、坂が少ない等

# 災害図上訓練 風水害編

## 状況付与（警戒レベル1、2）

警戒レベル1：  
災害への心構え  
を高める

ニュース



警戒レベル2：  
自らの避難行動  
を確認

# 10月2日（水）

大型で非常に強い勢力を持つ台風が  
接近中、数日中に上陸の恐れあり。  
福島県では、

週末の10月5日（土）昼頃から、  
翌日6日（日）昼頃にかけて、非常に  
激しい雨が降るおそれがあります。

# 10月4日（金）

明日台風が福島県付近を通過し大きな被害を  
もたらす大雨になるおそれがあります。

福島県では、  
明日5日（土）昼から非常に激しい雨、  
夕方から6日（日）昼頃にかけては、  
猛烈な雨が降ると予想されています。

【流れ】

10月2日（水）

警戒Lv.1

10月4日（金）

警戒Lv.2

## 状況付与（警戒レベル1、2）



10月 2日（水） 昼～  
10月 4日（金）

大雨に備えて  
どのような準備をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、誰が、何を」

3日の夜から弱い雨が降り出し、  
4日も降り続けています。

（5日～日の出：5時30分、日の入：17時）

【流れ】

10月2日（水）

警戒Lv.1

10月4日（金）

警戒Lv.2



状況付与 (警戒レベル3)

10月5日 (土)

【流れ】

10月5日 (土)  
警戒Lv.1

5日 (土) 13時00分

大雨警報

(外は非常に激しい雨)

洪水警報

警戒レベル3 高齢者等避難 相当

警戒Lv.2

5日 (土) 14時30分

警戒レベル3 高齢者等避難発令

(外は非常に激しい雨)

警戒Lv.3

状況付与（警戒レベル3）

5日（土）15時00分頃

阿武隈川及び逢瀬川が  
増水している



## 状況付与（警戒レベル3）



10月5日（土） 昼～

10月5日（土） 15:00

どのような対応をとるか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

外は、非常に激しい雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

【流れ】

10月5日（土）  
警戒Lv.1

警戒Lv.2

警戒Lv.3

# 10月5日（土）

5日（土） 15時30分

土砂災害警戒情報発令

5日（土） 15時35分

警戒レベル4 避難指示発令

外は猛烈な雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

状況付与（警戒レベル4）

5日（土）17時00分頃

逢瀬川下流で氾濫発生





10月5日（土） 15:00～  
10月5日（土） 17:00

どのような対応をとるか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

外は猛烈な雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

10月5日（土）

警戒Lv.1

警戒Lv.2

土砂災害警戒情報

警戒Lv.4

大雨特別警報

状況付与 (警戒レベル5)

10月5日 (土)

5日 (土) 22時10分

大雨特別警報 (土砂災害)

警戒レベル5 緊急安全確保 相当

5日 (土) 22時30分

警戒レベル5 緊急安全確保発令

外は猛烈な雨です

【流れ】

10月5日 (土)

警戒Lv.1

警戒Lv.2

警戒Lv.3

土砂災害警戒情報

警戒Lv.4

大雨特別警報

警戒Lv.5

状況付与（警戒レベル5）

5日（土）23時00分頃

逢瀬川で大規模氾濫発生





災害図上訓練

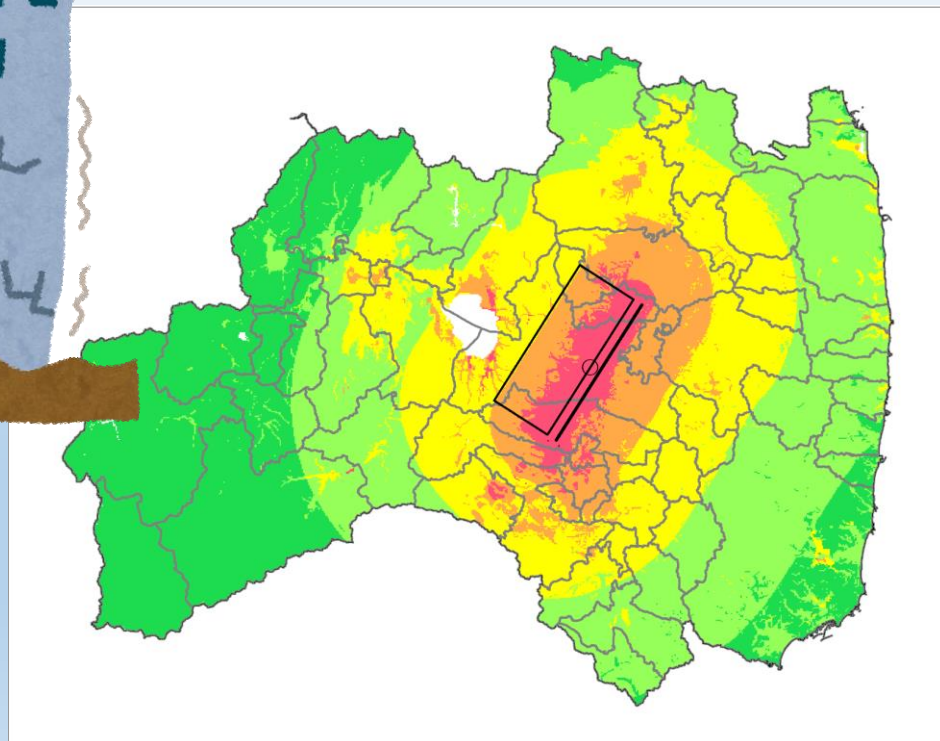
地震編

状況付与

7月 20日 (土) 11:03

郡山市直下型地震が発生 (郡山市で震度7)

郡山市では全戸停電が発生!



状況付与



7月20日（土） 11：03

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

赤木方部で火災発生！



うねめ通り及び県道296号で大型車両事故発生！また各道路では電柱倒壊が多数により車両通行不可！



状況付与



7月20日（土） 11：10

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

再び郡山市直下で最大震度 6 弱の地震が発生（郡山市で震度 6 弱）  
郡山市でほとんどの建物で外壁に亀裂及び窓ガラスが破損！



状況付与



7月11日（土） 11：44

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」



## 災害への心構え

災害は「まさか」ではなく  
「いつか」起きるものと認識する！

---

「自分は大丈夫」とは思わない！

---

「自らの身は自ら守る」「大切な  
人の命を守る」という意識を持つ。

---

# 災害図上訓練

# DIG

**Disaster** (災害)

**Imagination** (想像)

**Game** (ゲーム)

# 役割決め (2分で)

司 会

発 表

# 地震発生

↓対応する人↓

3分後

30分後

1時間後

班長

スマホ  
で安否  
確認

誰が  
何を

→

黄色の付箋に書く  
青い付箋に書く

避難誘導  
係

ハンドマイ  
クで避難誘  
導

消火班

消火器で初  
期消火

## 地図作業（災害リスクや避難所の場所を明示 10分間）

浸水しそうな地域 → 青色の油性ペンで囲みを入れる。

（災害のときに支援が必要な方の家→白色シール）

避難所 → 緑色のシールを貼る。

線路 → 黒色のマジックでなぞる。

避難経路 → 黄色のマジックで通る道をなぞる。

誰が → 黄色の付箋に書く

何を → 青い付箋に書く

# 社会特性と自然特性

## ・ 社会特性… **黄色**の付箋に記入

例：お年寄りが多い、車を運転できない人が多い  
井戸がある、電柱が多い、コンビニが多い等  
(店舗や道路、施設設備、または住人の性質等社会環境  
に付随するもの)

## ・ 自然特性… **青色**の付箋に記入

例：雨が降ると道路に水が出る、地盤が固い、坂が少ない等  
(地域の土地に付随する状況、地形や災害履歴等)

災害図上訓練  
風水害編

## 状況付与（警戒レベル1、2）

警戒レベル1：  
災害への心構え  
を高める

ニュース



警戒レベル2：  
自らの避難行動  
を確認

# 10月2日（水）

大型で非常に強い勢力を持つ台風が  
接近中、数日中に上陸の恐れあり。  
福島県では、

週末の10月5日（土）昼頃から、  
翌日6日（日）昼頃にかけて、非常に  
激しい雨が降るおそれがあります。

# 10月4日（金）

明日台風が福島県付近を通過し大きな被害を  
もたらす大雨になるおそれがあります。

福島県では、  
明日5日（土）昼から非常に激しい雨、  
夕方から6日（日）昼頃にかけては、  
猛烈な雨が降ると予想されています。

【流れ】

10月2日（水）

警戒Lv.1

10月4日（金）

警戒Lv.2



## 状況付与（警戒レベル1、2）



10月 2日（水） 昼～  
10月 4日（金）

大雨に備えて  
どのような準備をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、誰が、何を」

3日の夜から弱い雨が降り出し、  
4日も降り続けています。

（5日～日の出：5時30分、日の入：17時）

【流れ】

10月2日（水）

警戒Lv.1

10月4日（金）

警戒Lv.2

# 10月5日 (土)

10月5日 (土)  
警戒Lv.1

5日 (土) 13時00分

**大雨警報**

(外は非常に激しい雨)

**洪水警報**

**警戒レベル3 高齢者等避難 相当**

警戒Lv.2

5日 (土) 14時30分

**警戒レベル3 高齢者等避難発令**

警戒Lv.3

(外は非常に激しい雨)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる (ハイドロプレーニング現象)
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴォーと降り続く)			傘は全く役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる				

※気象台HP 雨の強さと降り方について



状況付与（警戒レベル3）

5日（土）15時00分頃

小高川が  
増水している



## 状況付与（警戒レベル3）



10月5日（土） 昼～

10月5日（土） 15:00

どのような対応をとるか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

外は、非常に激しい雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

【流れ】

10月5日（土）  
警戒Lv.1

警戒Lv.2

警戒Lv.3

# 10月5日（土）

5日（土） 15時30分

土砂災害警戒情報発令

5日（土） 15時35分

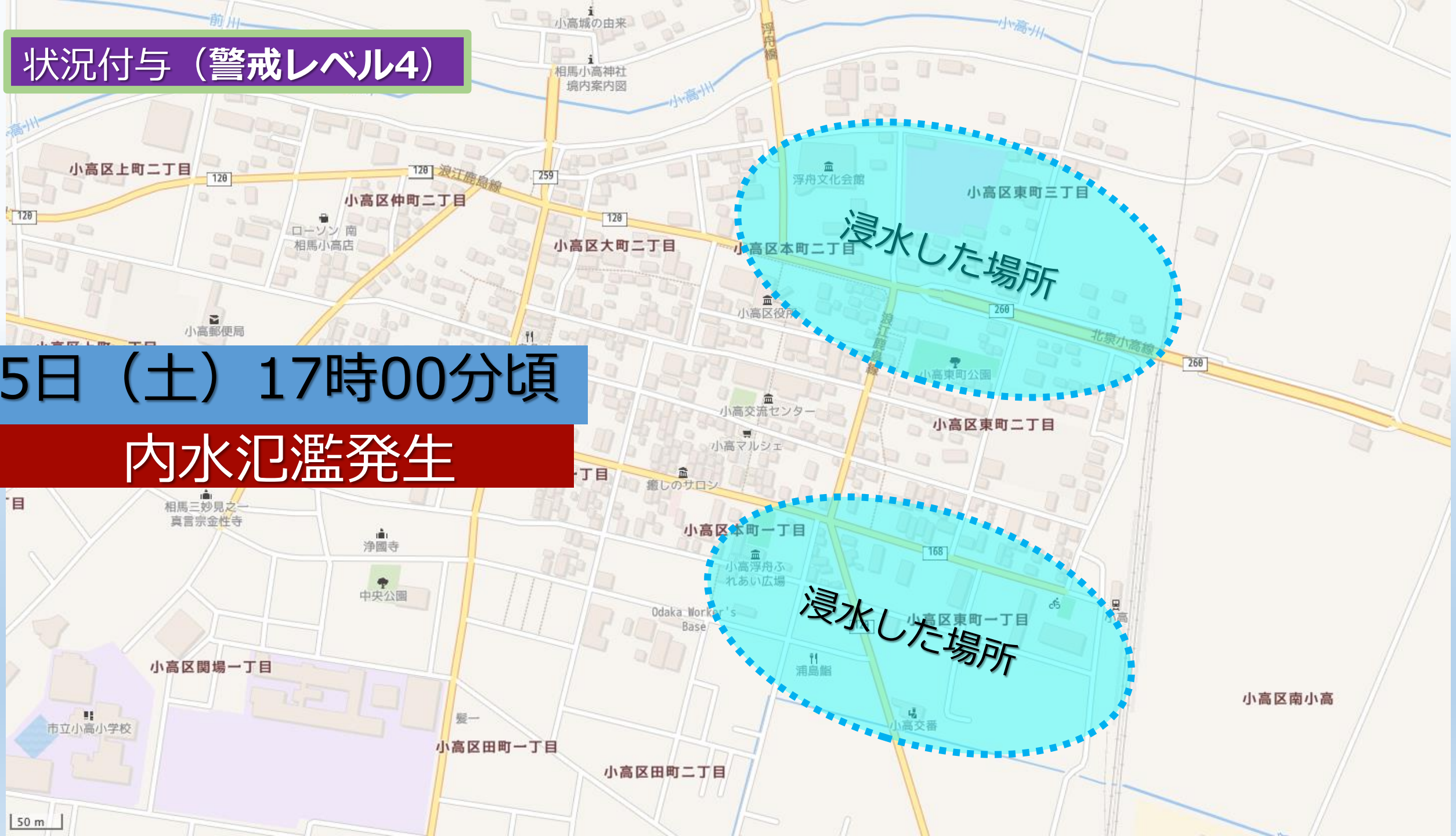
警戒レベル4 避難指示発令

外は猛烈な雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

# 状況付与（警戒レベル4）

5日（土）17時00分頃  
内水氾濫発生







10月5日（土） 15:00～  
10月5日（土） 17:00

どのような対応をとるか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

外は猛烈な雨です

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

10月5日（土）

警戒Lv.1

警戒Lv.2

土砂災害警戒情報

警戒Lv.4

大雨特別警報

状況付与 (警戒レベル5)

10月5日 (土)

5日 (土) 22時10分

大雨特別警報 (土砂災害)

警戒レベル5 緊急安全確保 相当

5日 (土) 22時30分

警戒レベル5 緊急安全確保発令

外は猛烈な雨です

【流れ】

10月5日 (土)

警戒Lv.1

警戒Lv.2

警戒Lv.3

土砂災害警戒情報

警戒Lv.4

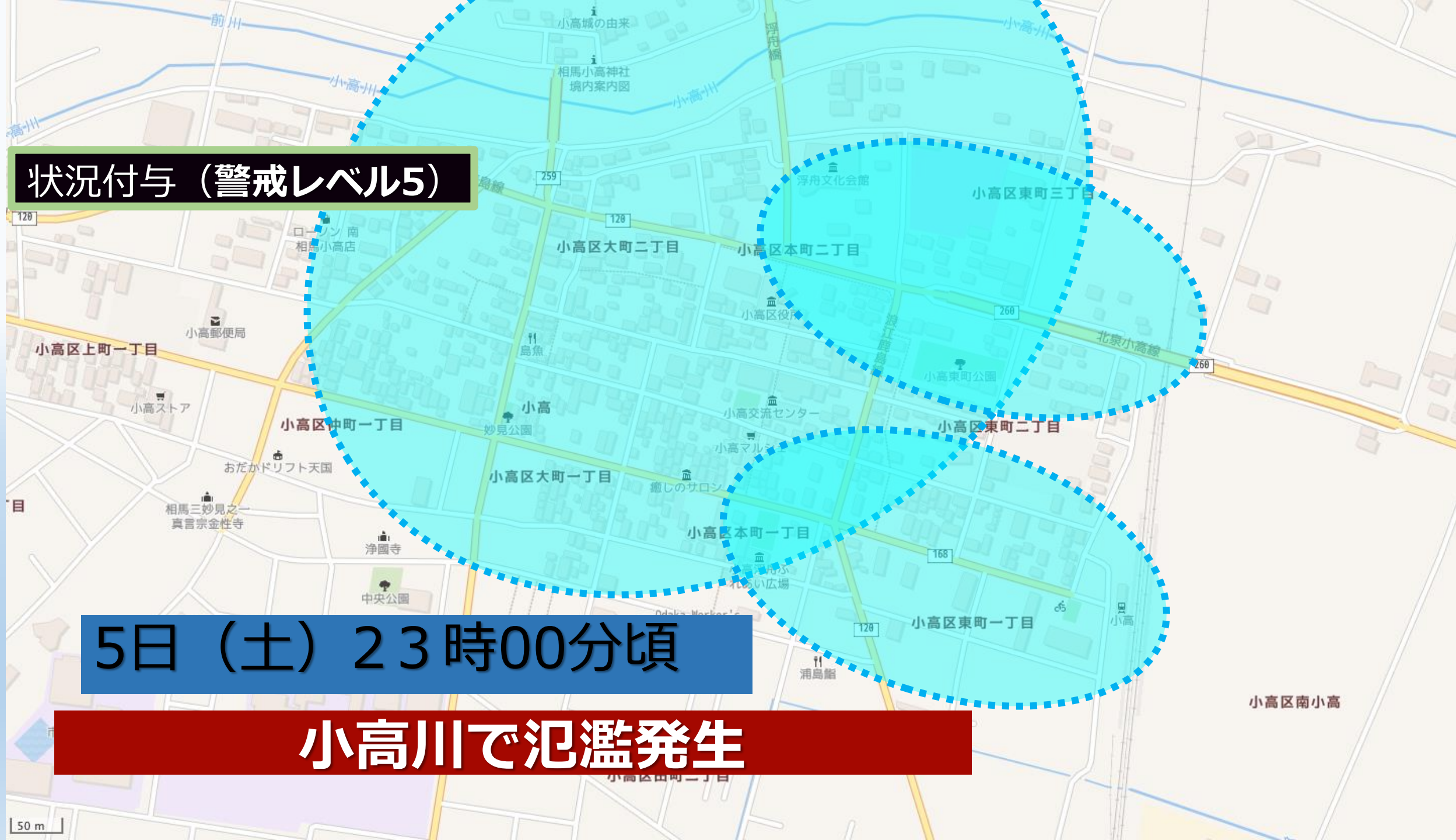
大雨特別警報

警戒Lv.5

状況付与（警戒レベル5）

5日（土）23時00分頃

小高川で氾濫発生



災害図上訓練

地震・原子力災害編

状況付与

5月 11日 (土) 11:03

# 福島県沖で最大震度6強の地震が発生 (南相馬市小高区で震度6強)

小高区では全戸停電が発生！



状況付与



5月11日（土） 11：03

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

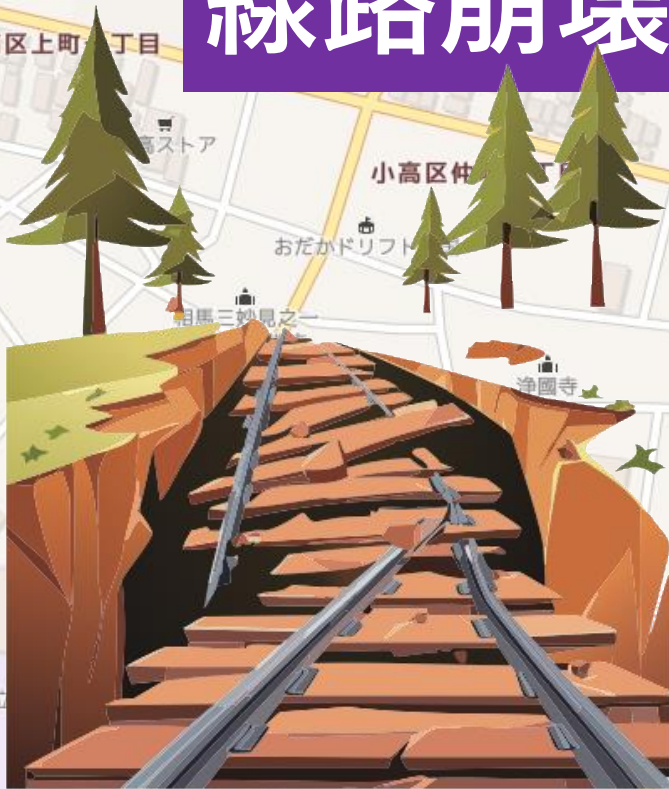
# 小高区で火災発生！



状況付与

5月 11日 (土) 11:10

福島県沿岸部で大津波警報が発表！  
町道等では電柱倒壊が多数発生！  
線路崩壊もあり通行止め多数。





状況付与



5月11日（土） 11：10

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

状況付与

5月 11日 (土) 11:40

津波第1波到達、5 m以上と推計！



状況付与

8月2日（金） 12:17

津波第2波到達、10m以下と推計！



状況付与



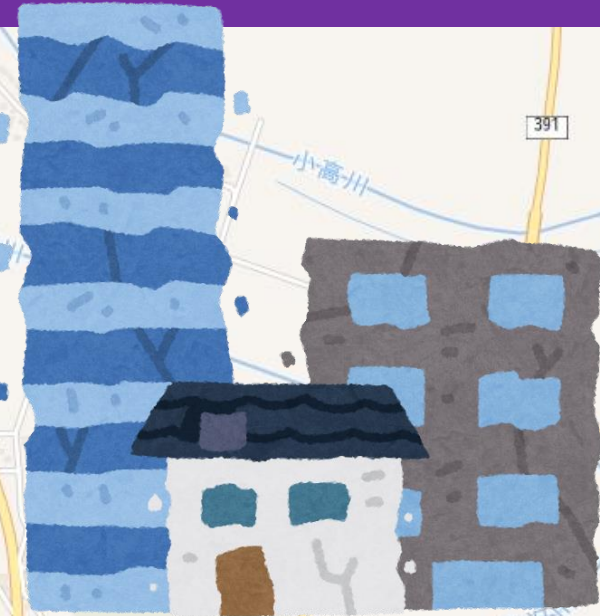
5月11日（土） 12：17

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、誰が、何を」

状況付与

5月 11日 (土) 12:44

再び福島県沖で最大震度 6 弱の地震が発生（小高区で震度 6 弱）  
小高区でほとんどの建物で外壁に亀裂及び窓ガラスが破損！



状況付与



5月11日（土） 12：44

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

状況付与

5月 11日 (土) 14:05

南相馬市より住民の安否及び所在確認  
の連絡あり！



状況付与



5月11日（土） 14：05

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」



状況付与

5月 11日 (土) 15 : 05

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所で全面緊急事態 (GE) が発令！住民の屋内退避指示発令！



状況付与



5月11日（土） 15：05

地震発生時  
どのような対応をするか  
皆で話し合ってください  
「いつ、**誰が**、**何を**」

## 災害への心構え

災害は「まさか」ではなく  
「いつか」起きるものと認識！

---

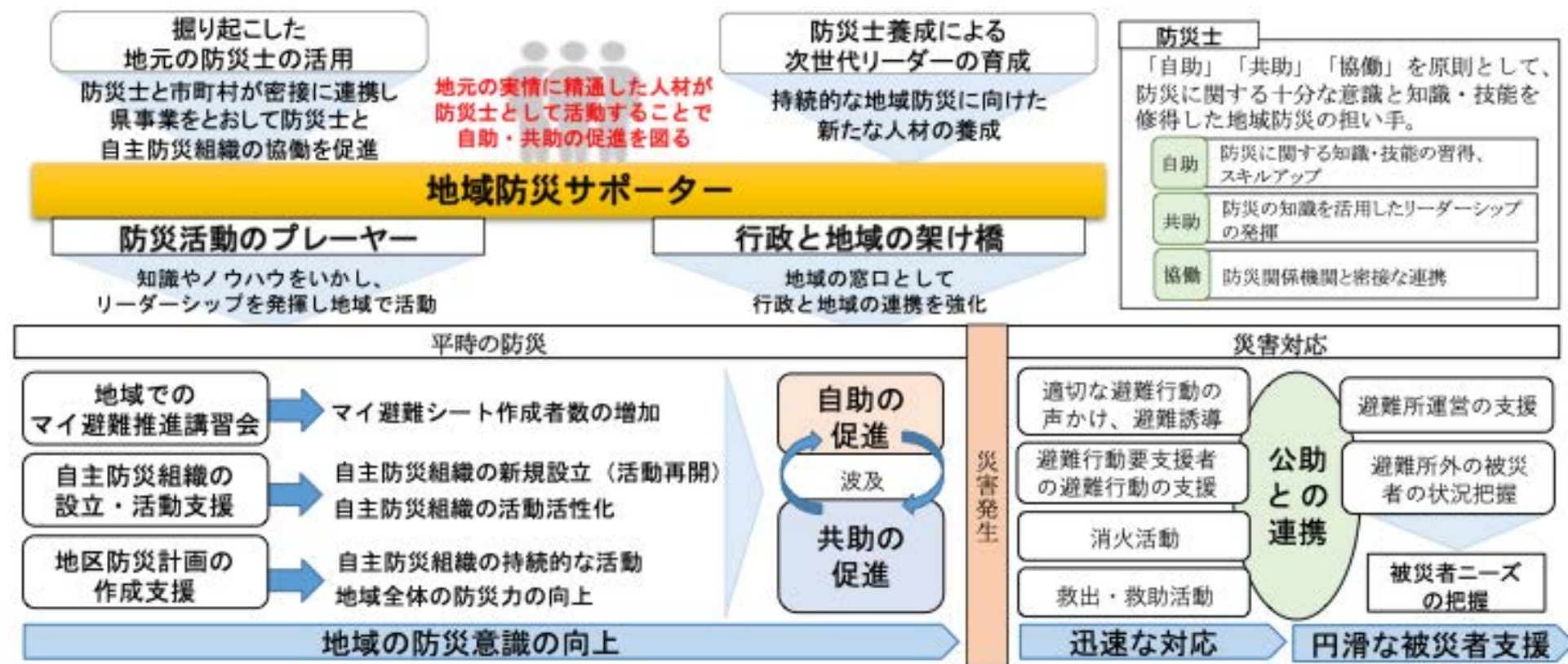
「自分は大丈夫」とは思わない！

---

「自らの身は自ら守る」「大切な  
人の命を守る」という意識を持つ。

---

# 地域防災サポーター事業



## 事業概要

### 地区防災計画作成促進事業

対象：地区防災計画を策定していない市町村の町内会等

・令和6年度 県内の30市町村

想定の実施地区数：30地区

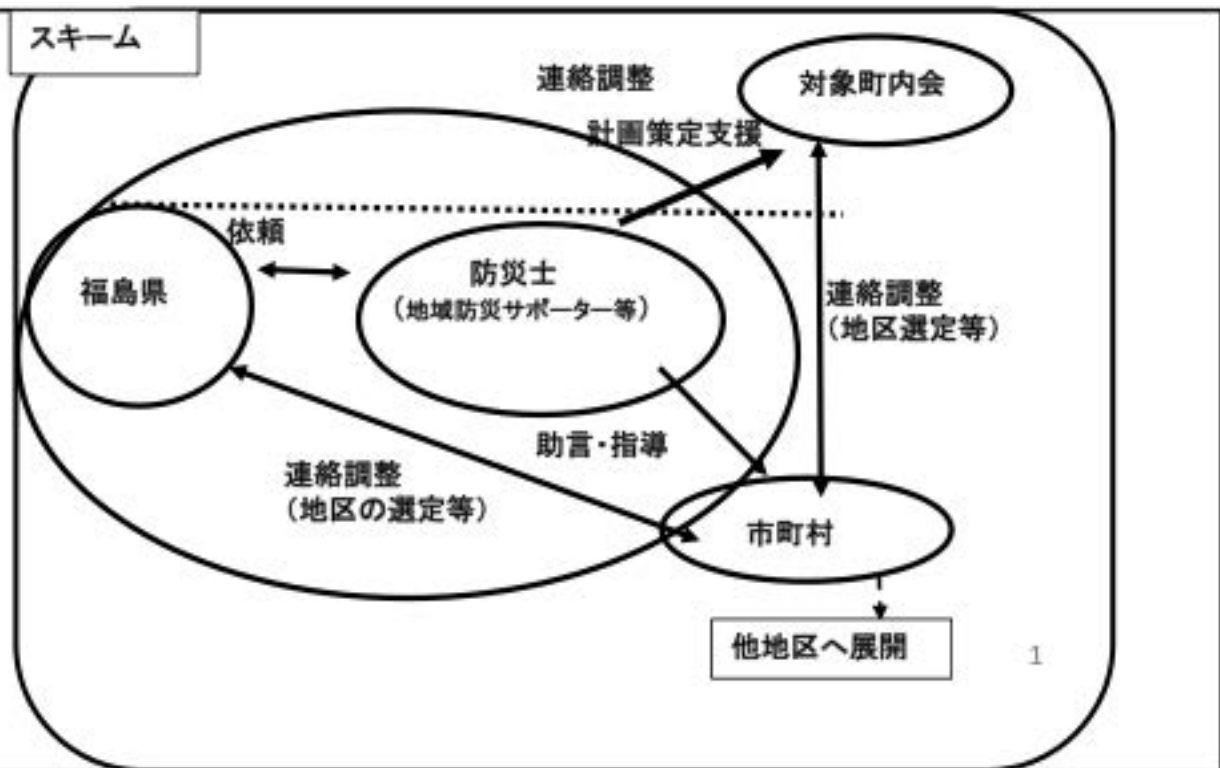
○共同ワークショップ取組内容（例）

- ①モデル地区住民との合同まち歩き
- ②地区防災マップを基に計画策定ワークショップ
- ③個別避難計画と要配慮者対策ワークショップ

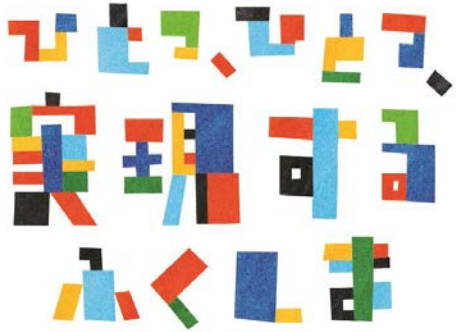
モデル地区選定予定の4地区（県中、県南、相双、いわき）

※上記4地区以外でも策定支援実施いたします。

## スキーム



※本年度、地区選定につきましても、御紹介いただければ県担当で交渉にも参りますので是非御紹介いただきますよう御願いたします。



# 災害に備えた 地域の「要支援者」 への支援について

福島県災害対策課 副主査 戸倉 毅

# ○目次

## 1 行政による要支援者対策について

(1) 個別避難計画の作成に至るまで

(2) 福島県の個別避難計画作成状況について

## 2 地域でできる要支援者支援について

(1) 本人・地域記入の個別避難計画

(2) 地区防災計画と個別避難計画の連携作成について

## 3 まとめ

# 1. 行政による要支援者対策について

## (1) 個別避難計画の作成に至るまで

きっかけは

H23 東日本大震災 → 多くの高齢者、及びその支援者が犠牲に



H25 災害対策基本法改正 → 避難行動要支援者名簿の作成が市町村の義務に

(個別計画は取組指針に位置づけ)



それでも要支援者の犠牲は多く・・・(H30 西日本豪雨、R1 東日本台風等)

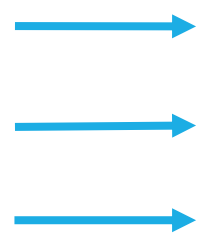
(令和元年東日本台風)  
福島県では死者6割  
以上が高齢者



R3.5 災害対策基本法改正 → 個別避難計画の作成が市町村の努力義務に

- ・要支援者をリスト化して把握
- ・地域に共有 (誰がどこにいるか)

避難行動要支援者名簿



- Aさんの避難計画
- Bさんの避難計画
- Cさんの避難計画

リスト化された要支援者個人個人の避難計画を作成・支援者に共有 (対象者が誰と何処にどうやって避難するか)





なんとなく、名簿に記載されている要支援者の避難計画を個別に作ることは分かったけど避難行動要支援者名簿と個別避難計画に書かれていることはどんなこと？

わたしの避難計画

*印は災害対策基本法で定められている必須項目

〇〇市「個別避難計画」様式（2023年3月1日版）

①本人情報

本人氏名*	ふりがな	性別*	年齢	生年月日*	地域・地区
福島花子	ふくしまはなこ	女性	63歳	1959/12/31	A地区
本人住所*		電話番号*	同居家族	住まい	自治会
福島県福島市A町●丁目●番地の●		090-1234-5678	独居	戸建	A自治会

②緊急連絡先

緊急連絡先氏名	続柄	電話番号	居住地	勤務地	備考
福島太郎	長男	090-1234-5678	福島市B町	福島市内	
福島次郎	次男	090-1234-5678	東京都豊島区	東京都内	

③避難支援等を必要とする理由*

要医療	要介護	障がい	その他	日常の移動	避難支援区分
人工透析	要介護4	身体障害者手帳2級	高齢独居	施設送迎車	区分A（要医療）

④自宅の被害想定

地震	津波	洪水	土砂災害	火山	原子力災害
●●地震（震度7）	浸水想定●m	●●川（浸水想定●m）	土砂災害警戒区域内	危険区域内	原子力災害対策重点区域（PAZ）

⑤本人・家族がすること（洪水や土砂崩れの恐れのあるとき）

大型台風接近などの予報が出たら	避難できるように準備	警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたら速やかに移動（避難）	警戒レベル4（避難指示）の発令	警戒レベル5（緊急安全確保）の発令
	避難準備	移動（誰とどうやって）	避難施設（どこへ）	命を守る行動
	(情報収集) □天気予報の確認 □キキクルの復習（避難準備） □外出予定見直し □家族の予定変更（休暇、テレワーク等） □持出品準備 □予約 □タクシー □ショートステイ □ペット対応 □早めの避難	早めに避難するとき 介護タクシー 避難支援等実施者* ふくしまタクシー 福島県福島市C町●丁目●番地の● 090-1234-5678	土砂災害のとき 避難施設* ふくしまホーム 福島県福島市F町●丁目●番地の● 090-1234-5678	ただちに移動（避難）
	緊急性が高いとき 近隣の運転 避難支援等実施者* ふくしま苑 福島県福島市D町●丁目●番地の● 090-1234-5678	洪水のとき 避難施設* ふくしま公民館 福島県福島市E町●丁目●番地の● 090-1234-5678	近隣の高い建物や崖から離れた2Fの部屋へ	

⑥地震のとき

自宅に住めない場合	避難施設（どこへ）
避難施設* ふくしま公民館 福島県福島市E町●丁目●番 090-1234-5678 ※安否確認後、避難所の開設を確認してから移動	避難支援等実施者* Aさん 福島県福島市E町●丁目●番 090-1234-5678

⑦持ち物

- 食料・水
- 薬・お薬手帳
- 携帯電話
- 充電器
- 寝具
- ペット用品
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

⑧管理情報

要支援者番号	要支援者名簿掲載日	本計画最終更新日	本計画本人共有日	作成・共有同意書受領日	本計画作成担当
sample1	2021/4/1	2023/2/1	2023/2/10	2023/2/10	●●（●●課）

避難行動要支援者名簿には、

- ①氏名
- ②生年月日
- ③性別
- ④住所又は居所
- ⑤電話番号その他連絡先
- ⑥避難支援等を必要とする事由
- ⑦その他、市町村長が必要と認める事項が記載されています。

個別避難計画には、これら避難行動要支援者名簿に記載されている事項に加え、

- ①避難支援等実施者の氏名又は名称、住所又は居所及び電話番号その他の連絡先
- ②避難施設その他の避難場所及び避難路その他の避難経路に関する事項
- ③その他、市町村長が必要と認める事項が記載されています。



## (2) 福島県の個別避難計画作成状況について

○避難行動要支援者名簿登録数における個別避難計画作成率(R6.4.1時点)

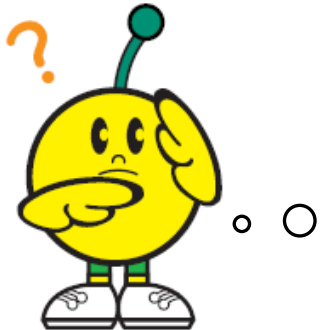
福島県平均:10.7%

(個別避難計画策定数:15,376件、避難行動要支援者名簿登録数143,092件)

○市町村の取組状況 (R6.4.1時点)

- ・全部作成済 4市町村
- ・一部作成済 55市町村
- ・未作成 0市町村

→県内全ての市町村で個別避難計画の作成に取り組んでいます。



県内全市町村で個別避難計画の作成を行っていることは分かったけど、地域でできることはあるのかな？

## 2. 地域でできる要支援者支援について

### (1) 本人・地域記入の個別避難計画

本人が記入、あるいは本人の状況によっては、本人の家族や町内会・自治会、自主防災組織等が記入を支援し、市町村に提出する。

#### 【ポイント】

- ①市町村の定める要支援者に該当するか否か。
- ②記載すべき内容は、何か。

(避難支援等実施者や避難先などの情報のほか市町村が地域防災計画で定める事項のため内容の確認が必要。)

→取り組む際は事前にお住まいの市町村に確認。



提出を受けた市町村は、市町村地域防災計画で定めた必要な情報が記載されているか、不備がないか等確認し、問題無い場合は、個別避難計画として取り扱うことができます。

## 2. 地域でできる要支援者支援について

### (2) 地区防災計画と個別避難計画の連携作成について

#### <取組のポイント>

- ①『地区防災計画』を作成する中で地域住民が直面する「**要支援者にどう避難してもらうか**」という問題について、ワークショップ等を通して解決を図る。
- ②地域で「**一人での避難が難しい住民**」をリスト化し、**住民間での避難支援が可能かを考える。⇒支援者は誰で、どこに、どうやって**
- ③地域でまとめた避難方法については、**市町村が個別避難計画を作成する際の有力な情報**となることから市町村担当課へ共有する。

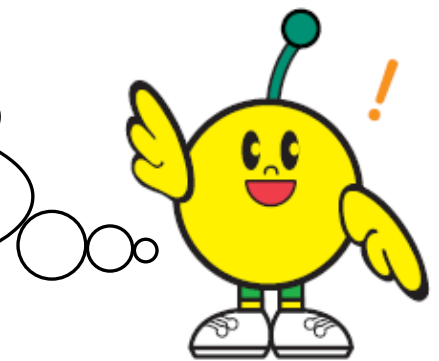
地域と市町村の連携・共有が重要！

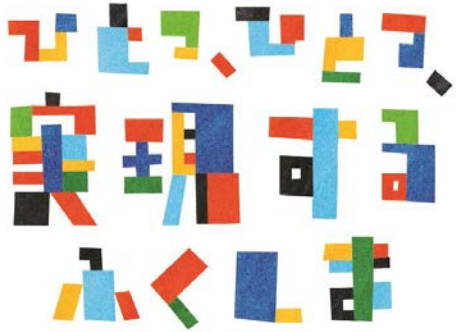


### 3. まとめ

- 災害時に要支援者の命を守るには、要支援者本人、地域のみなさん、行政の連携が重要です。
- 地域で避難訓練を行う際は「要支援者」の避難についても考えてみましょう！
- まずは地域内の高齢者や支援が必要な方への声かけから1歩ずつはじめてみませんか？

要支援者の命を皆で  
守りましょう！！





# 災害に備えた 地域の「要支援者」 への支援について

福島県災害対策課 副主査 戸倉 毅

# ○目次

## 1 現在の要支援者対策について

(1) 個別避難計画の作成に至るまで

(2) 福島県の個別避難計画作成状況について

## 2 地域でできる要支援者支援について

(1) 本人・地域記入の個別避難計画

(2) 地区防災計画と個別避難計画の連携作成について

## 3 まとめ

# 1. 現在の要支援者対策について

## (1) 個別避難計画の作成に至るまで

きっかけは

H23 東日本大震災 → 多くの高齢者、及びその支援者が犠牲に



H25 災害対策基本法改正 → 避難行動要支援者名簿の作成が市町村の義務に

(個別計画は取組指針に位置づけ)

それでも要支援者の犠牲は多く・・・(H30 西日本豪雨、R1 東日本台風等)

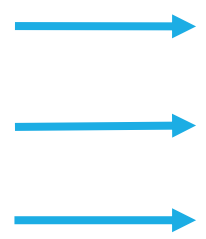
(令和元年東日本台風)  
福島県では死者6割  
以上が高齢者



R3.5 災害対策基本法改正 → 個別避難計画の作成が市町村の努力義務に

- ・要支援者をリスト化して把握
- ・地域に共有 (誰がどこにいるか)

避難行動要支援者名簿



- Aさんの避難計画
- Bさんの避難計画
- Cさんの避難計画

リスト化された要支援者個人個人の避難計画を作成・支援者に共有 (対象者が誰と何処にどうやって避難するか)





なんとなく、名簿に記載されている要支援者の避難計画を個別に作ることは分かったけど避難行動要支援者名簿と個別避難計画に書かれていることはどんなこと？

わたしの避難計画

*印は災害対策基本法で定められている必須項目

〇〇市「個別避難計画」様式（2023年3月1日版）

①本人情報

本人氏名*	ふりがな	性別*	年齢	生年月日*	地域・地区
福島花子	ふくしまはなこ	女性	63歳	1959/12/31	A地区
本人住所*		電話番号*	同居家族	住まい	自治会
福島県福島市A町●丁目●番地の●		090-1234-5678	独居	戸建	A自治会

②緊急連絡先

緊急連絡先氏名	続柄	電話番号	居住地	勤務地	備考
福島太郎	長男	090-1234-5678	福島市B町	福島市内	
福島次郎	次男	090-1234-5678	東京都豊島区	東京都内	

③避難支援等を必要とする理由*

要医療	要介護	障がい	その他	日常の移動	避難支援区分
人工透析	要介護4	身体障害者手帳2級	高齢独居	施設送迎車	区分A（要医療）

④自宅の被害想定

地震	津波	洪水	土砂災害	火山	原子力災害
●●地震（震度7）	浸水想定●m	●●川（浸水想定●m）	土砂災害警戒区域内	危険区域内	原子力災害対策重点区域（PAZ）

⑤本人・家族がすること（洪水や土砂崩れの恐れのあるとき）

警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたら速やかに移動（避難）	警戒レベル4（避難指示）の発令	警戒レベル5（緊急安全確保）の発令
移動（誰とどうやって）	避難施設（どこへ）	避難施設（どこへ）
早めに避難するとき 介護タクシー 避難支援等実施者*	土砂災害のとき 避難施設* ふくしまホーム 福島県福島市F町●丁目●番地の● 090-1234-5678	洪水のとき 避難施設* ふくしま公民館 福島県福島市E町●丁目●番地の● 090-1234-5678
緊急性が高いとき 近隣の運転 避難支援等実施者*		
ふくしま苑 福島県福島市D町●丁目●番地の● 090-1234-5678		

⑥地震のとき

自宅に住めない場合	避難施設（どこへ）
	避難施設* ふくしま公民館 福島県福島市E町●丁目●番 090-1234-5678 ※安否確認後、避難所の開設を確認してから移動
	避難支援等実施者* Aさん 福島県福島市E町●丁目●番 090-1234-5678

⑦持ち物

いつでも持ち出せるように準備
<input type="checkbox"/> 食料・水
<input type="checkbox"/> 薬・お薬手帳
<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/> 充電器
<input type="checkbox"/> 寝具
<input type="checkbox"/> ペット用品
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

⑧管理情報

要支援者番号	要支援者名簿掲載日	本計画最終更新日	本計画本人共有日	作成・共有同意書受領日	本計画作成担当
sample1	2021/4/1	2023/2/1	2023/2/10	2023/2/10	●●（●●課）

避難行動要支援者名簿には、

- ①氏名
- ②生年月日
- ③性別
- ④住所又は居所
- ⑤電話番号その他連絡先
- ⑥避難支援等を必要とする事由
- ⑦その他、市町村長が必要と認める事項が記載されています。

どこの誰  
なぜ必要



+

個別避難計画には、これら避難行動要支援者名簿に記載されている事項に加え、

- ①避難支援等実施者の氏名又は名称、住所又は居所及び電話番号その他の連絡先
- ②避難施設その他の避難場所及び避難路その他の避難経路に関する事項
- ③その他、市町村長が必要と認める事項が記載されています。

どこの誰が  
要支援者をどこに  
どうやって避難させる

## (2) 福島県の個別避難計画作成状況について

○避難行動要支援者名簿登録数における個別避難計画作成率(R6.4.1時点)

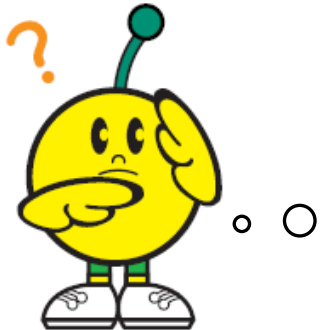
福島県平均:10.7%

(個別避難計画策定数:15,376件、避難行動要支援者名簿登録数143,092件)

○市町村の取組状況 (R6.4.1時点)

- ・全部作成済 4市町村
- ・一部作成済 55市町村
- ・未作成 0市町村

→県内全ての市町村で個別避難計画の作成に取り組んでいます。



県内全市町村で個別避難計画の作成を行っていることは分かったけど、地域でできることはあるのかな？

## 2. 地域でできる要支援者支援について

### (1) 本人・地域記入の個別避難計画作成(一部の市町村において実施中)

本人が記入、あるいは本人の状況によっては、**本人の家族や町内会・自治会、自主防災組織等が記入を支援し、市町村に提出する。**

提出を受けた市町村は、市町村地域防災計画で定めた必要な情報が記載されているか、不備がないか等確認し、問題無い場合は、個別避難計画として取り扱うことができます。

#### 【お願い】

- ①市町村より作成依頼があった際は協力願います。
- ②要支援者本人や家族から避難支援者の要請があった場合は、前向きにご検討いただくと幸いです。  
→皆さんの協力が早期の計画作成につながります。



## 2. 地域でできる要支援者支援について

### (2) 地区防災計画と個別避難計画の連携作成について

#### <取組のポイント>

- ①『地区防災計画』を作成する中で直面する「**要支援者にどう避難してもらうか**」という問題について、ワークショップ等を通して解決を図る。
- ②地域で「**一人での避難が難しい住民**」をリスト化し、住民間での避難支援が**可能かを考える。⇒支援者は誰で、どこに、どうやって**
- ③地域でまとめた避難方法については、**市町村が個別避難計画を作成する際の有力な情報**となることから市町村担当課へ共有する。

地域と市町村の連携・共有が重要！



# ○ワークショップ（互いに協力し合いみんなで考える会）の例

## 手順の一例

- (1) 避難が難しく、支援が必要な人はどんな方か考える
  - (2) 支援が必要と思われる方の洗い出し
  - (3) 名前が出た方についてグループで意見交換
  - (4) 意見交換結果に基づき支援が必要な方をリスト化
  - (5) 要支援者の避難先、避難支援者、避難支援方法について検討し、記載
  - (6) 避難方法検討シートの地区内での保持範囲の検討
- ワorkshop後 —————
- (7) 要支援者と避難支援者への同意確認

# (1) 避難が難しく、支援が必要な人はどんな方か考える

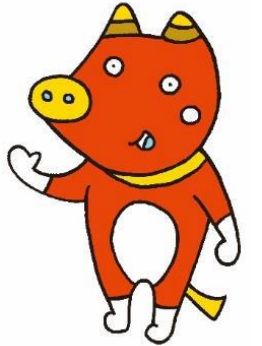
急に言われると  
思いつかないな。  
どんな人？



次のような方は**避難に時間を必要とし**  
**たり、自分自身での避難が難しい**よね。

- ・ ひとり暮らしの高齢者
- ・ 寝たきりの人や足が不自由な人
- ・ 身体障がい者や精神障がい者、知的障がい者
- ・ 臨月が近い妊産婦や幼児を複数抱えた人
- ・ 外国人

等



みんなで考え、答えがみつかります

→考えることで、日頃から要支援者への配慮が生まれます

## (2) 支援が必要と思われる方の洗い出し

〇〇〇〇地区で災害時に自分自身や同居家族との避難が難しく、地区での支援が必要と思われる方について整理しましょう。(まずはグループ内で付箋に書き出し)

△△集落の  
福島 花子さん

・寝たきりで避難が  
困難

□□集落の  
青森 太郎さん

・足腰が弱く一人で  
の避難が困難

・ピンクの付箋は、避難支援に時間や高度な技術を要する方

・黄色の付箋は、軽度な避難支援を要する方

### (3) 名前が出た方についてグループで意見交換



福島 花子さんは寝たきりだから避難難しいよね

キビタンもそう思う。  
僕もだよ。  
青森 太郎さんも足腰弱いから書いてみた。

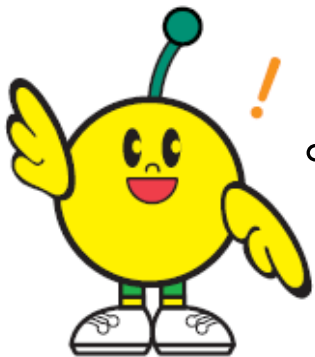
△△集落の

△△集落の  
福島 花子さん

・寝が  
・寝たきりで避難が困難

□□集落の  
青森 太郎さん

・足腰が弱く一人での避難が困難



僕とベコ太郎2人とも福島さんを書いてたね。  
青森さんもベコ太郎の言うとおりに避難がむずかしいね



# (4) 意見交換結果に基づき支援が必要な方をリスト化

皆さんが付箋で整理した方のうち、最寄りの避難所への避難が想定される方の名前を別紙「避難方法検討シート」に記載して下さい。

# (5) 要支援者の避難先、避難支援者、避難支援方法について検討し、記載

地区として、「誰が」、「何をできるか」について、グループで話し合い、記載しましょう。次に、想定される最寄りの避難所名を記載してください。

○避難方法検討シート(例)

地区番号	氏名	避難先	避難支援者(誰が)	避難支援方法(どうする)	備考(分かる範囲で記載)
1	北海道 花子	●●集会所	地区で支援困難	地区で支援困難	要介護5で寝たきり 早期の個別避難計画作成について〇〇市に相談
2	青森 太郎	●●集会所	愛媛 〇〇 徳島 〇〇	車に同乗	高齢独居

## (6) 避難方法検討シート内の地区内での保持範囲の検討

別紙「避難方法検討シート」の地区防災計画への掲載範囲(共有範囲)を考えましょう。

例えば、以下配付分のみ掲載 等

- ・区長＋避難支援者(避難支援する要支援者分のみ)
- ・区長＋地区役員＋避難支援者(避難支援する要支援者分のみ)
- ・区民全員

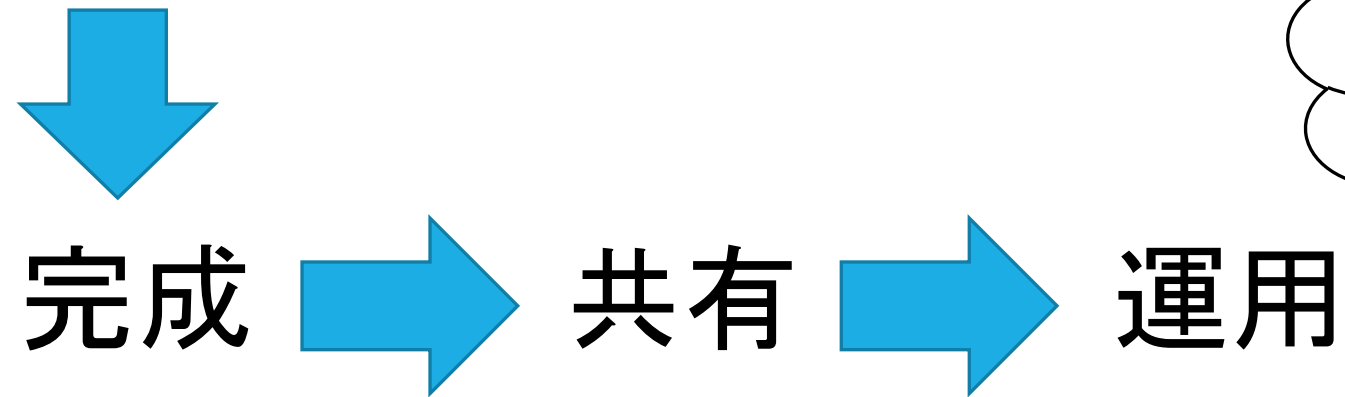
- ・共有範囲を広げることは、当初予定していた避難支援者が不在等で支援できない場合に他の住民の協力を得やすくなります。
- ・シートに掲載する要支援者及び避難支援者に対し、事前に共有範囲を示し、了承を得る必要があります。



## (7) 要支援者と避難支援者への同意確認

ワークショップが終わった後、地区として要支援者、避難支援者として想定した方に、避難方法検討シートの**保持範囲**と**記載**について説明し、**記載と保持範囲の同意**を取得します。

このとき、ワークショップの中で検討した**避難先や避難方法**について問題ないか、他に良い場所や方法がないか**要支援者本人と避難支援者の方に確認**します。



運用は、発災時以外  
に**避難訓練での活用**  
も**重要**です！



### 3. まとめ

- 災害時に要支援者の命を守るには、要支援者本人、地域のみなさん、行政の連携が重要です。
- 地域で避難訓練を行う際は「要支援者」の避難についても考えてみましょう！
- まずは地域内の高齢者や支援が必要な方への声かけから1歩ずつはじめてみませんか？

要支援者の命を皆で  
守りましょう！！

